

**住宅性能評価
申請支援ツール（共同住宅等）
2.0**

基本操作マニュアル

2020 年 5 月

CAPS-NET

目 次

1 取扱説明	1
1.1 プログラムの概要	2
1.2 プログラムの起動方法	3
1.3 メインメニュー(起動画面)	5
1.4 処理メニュー	9
1.5 ファイルの作成と保存	11
1.5.1 物件ファイルの新規作成	11
1.5.2 既存の物件を参照して新規作成	11
1.5.3 物件ファイルを開く	11
1.5.4 物件ファイルを保存する	13
1.6 オプション	14
1.6.1 全般	15
1.6.2 グループの描画設定	16
1.6.3 各種初期値	17
1.6.4 その他	18
1.7 バージョン情報	19
2 申請書の作成	20
2.1 申請者等の概要	21
2.1.1 性能表示項目の選択	23
2.1.2 代表者以外の申請者等の概要	25
2.1.3 申請者等の登録・参照	26
2.2 建築物に関する事項	28
2.3 確認申請ツールデータのインポート	30
3 住戸構成図の作成	31
3.1 住戸構成図の作成	32
3.1.1 階の作成	33
3.1.2 階の設定	33
3.1.3 住戸構成図セルの操作	35
3.1.4 セル幅の変更	36
3.1.5 セルの均等分割・結合	37
3.1.6 メゾネット住戸の設定	38
3.1.7 住戸以外のセルの設定	39
3.1.8 住戸以外の室名登録ツール	40
3.1.9 設計タイプ名の設定	41
3.1.10 設計タイプ名登録ツール	41
3.1.11 住戸番号の設定	42

3.1.12 評価対象外の住戸	43
3.1.13 住戸に関する事項一覧	44
3.1.14 住戸情報(セルのプロパティ)	46
3.1.15 エクспанション・ジョイントの設定	47
3.2 住戸ごとの性能表示項目選択	48

4 設計内容説明書(住棟)..... 50

4.1 構造の安定	51
4.2 火災時の安全(住棟)	56
4.3 劣化の軽減	58
4.3.1 鉄筋コンクリート造等	59
4.3.2 木造軸組・枠組壁工法	63
4.3.3 鉄骨造	65
4.4 維持管理対策等級(共用配管)(住棟)	66
4.5 更新対策(共用排水管)(住棟)	68
4.6 地盤の液状化に関する情報提供	70

5 設計内容説明書(住戸)..... 73

5.1 グループ分類	74
5.1.1 グループ分けの概要	74
5.1.2 グループ分けの手順	74
5.1.3 新しい設計内容の登録	76
5.1.4 設計内容の確認・変更	80
5.1.5 グループ割り当ての変更	81
5.2 火災時の安全(住戸)	83
5.2.1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)	84
5.2.2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)	86
5.2.3 避難安全対策(排煙形式)	87
5.2.4 避難安全対策(平面形状)	88
5.2.5 脱出対策	89
5.2.6 耐火等級(界壁及び界床)	90
5.3 維持管理対策等級(専用配管)	91
5.4 更新対策(住戸)	93
5.5 温熱環境	97
5.5.1 断熱等性能等級	98
5.5.2 一次エネルギー消費量等級	100
5.5.3 地域区分の参照	103
5.6 空気環境	104
5.6.1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)	105
5.6.2 換気対策	106
5.7 光・視環境	108
5.7.1 開口部の登録	112

5.7.2 室名の登録.....	113
5.7.3 低減値の設定.....	113
5.7.4 開口部リストの使用.....	114
5.8 高齢者等への配慮(専用部分).....	115
5.8.1 等級5.....	116
5.8.2 等級4.....	118
5.8.3 等級3.....	120
5.8.4 等級2.....	122
5.8.5 等級1.....	124
5.9 高齢者等への配慮(共用部分).....	125
5.9.1 等級5.....	126
5.9.2 等級4.....	128
5.9.3 等級3.....	130
5.9.4 等級2.....	132
5.9.5 等級1.....	133
5.10 防犯.....	134
5.11 音環境.....	136
5.11.1 重量床.....	137
5.11.2 軽量床.....	142
5.11.3 透過損失等級(界壁).....	145
5.11.4 透過損失等級(外壁開口部).....	146

6 結果確認および印刷 148

6.1 結果確認.....	149
6.1.1 自己評価一覧(住棟).....	150
6.1.2 自己評価一覧(住戸).....	151
6.2 印刷.....	152
6.2.1 データコードについて.....	154
6.2.2 申請データの流れ、修正履歴について.....	155
6.2.3 PDF出力.....	156
6.2.4 印刷プレビュー.....	157
6.2.5 印刷プレビュー(グループ分類図).....	158
6.2.6 印刷プレビュー(選択画面).....	158
6.2.7 印刷.....	159

7 物件情報 160

7.1 物件情報.....	161
7.2 修正履歴.....	162
7.2.1 変更内容確認用自己評価一覧表(住棟).....	163
7.2.2 変更内容確認用自己評価一覧表(住戸).....	164

8 変更設計評価 165

8.1 変更設計評価申請の流れ.....	166
8.2 変更設計評価申請データの作成	167
8.3 申請書の作成(変更申請).....	169
8.3.1 変更の概要.....	170
8.3.2 住戸番号、交付番号の入力	171
8.3.3 申請書の概要、建築物に関する事項.....	172
8.4 住戸構成図の作成(変更申請)	173
8.5 変更する表示事項の選択.....	174
8.5.1 設計内容を変更する表示事項を選択する	174
8.5.2 性能表示項目の追加・削除を行う	175
8.6 設計内容説明書の入力、印刷(変更申請)	177
8.6.1 設計内容説明書の入力(住棟、住戸)	177
8.6.2 印刷	178

9 建設評価 179

9.1 建設評価申請の流れ	180
9.2 建設評価申請用Excelデータ出力	181

1 取扱説明

基本的な操作方法について説明します。

プログラムの概要
プログラムの起動方法
メインメニュー（起動画面）
処理メニュー
ファイルの作成と保存
オプション
バージョン情報

1.1 プログラムの概要

本プログラムは、CAPS-NET に対応した評価機関に設計住宅性能評価を申請するための「設計住宅性能評価申請書」および「自己評価書および設計内容説明書」を作成するプログラムです。

設計内容説明書は、本来、全住戸についてそれぞれ別々に作成する必要がありますが、そのまま作業を行うと大変手間がかかります。

本プログラムでは、設計内容が同じ住戸について各評価の表示事項ごとにまとめて入力する方式(グループ分類入力)を採用していますので、効率的に書類作成を行うことができます。

グループの分類にはモデル化した立面図(住戸構成図)を利用し、処理対象を確認しながらグループ分け(色分け)をすることで、入力手間と入力ミスが削減されるように工夫しています。

グループ分けしたモデル図は「グループ分類図」として印刷できますので、申請者および評価機関がチェックを行いやすくなっています。



1.2 プログラムの起動方法

このシステムは、ハードディスクにインストールして運用します。

別紙「セットアップガイド」を参照して、ハードディスクにインストール後、以下の手順で起動して下さい。

Windows7 以前(画面は Windows7 のものです)

デスクトップ上のショートカットアイコン

一般用	管理者用
 CAPS-NET性能評価申請支援ツ...	 CAPS-NET性能評価申請支援ツ...

または Windows の「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」

[一般用]

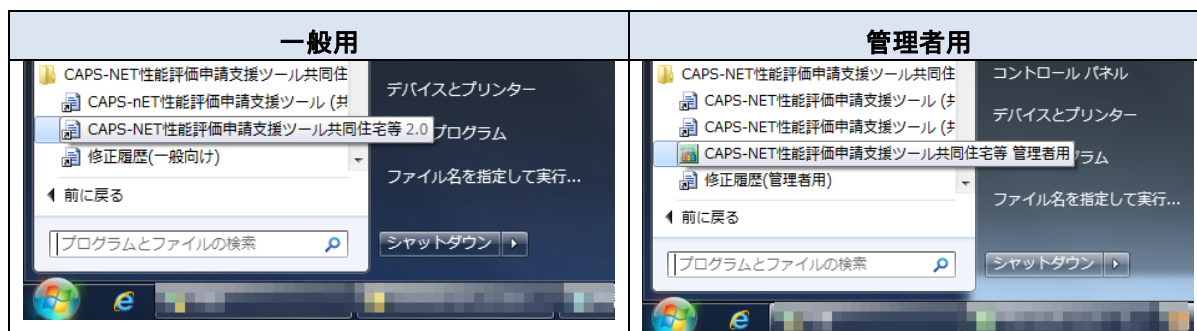
→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 2.0」

→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 2.0」から起動します。

[管理者用]

→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 管理者用 2.0」

→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 管理者用」から起動します。



Windows8以降(画面は Windows8 のものです)

デスクトップ上のショートカットアイコン(上記参照)またはスタート画面にピン留めされたアイコン



または

スタート画面上で右クリック→「全てのアプリ」(Windows 8)



スタート画面左下の「↓」アイコン(Windows 8.1)



から「アプリ」(一覧表示)を展開し、

[一般用]

→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 2.0」

→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 2.0」から起動します。

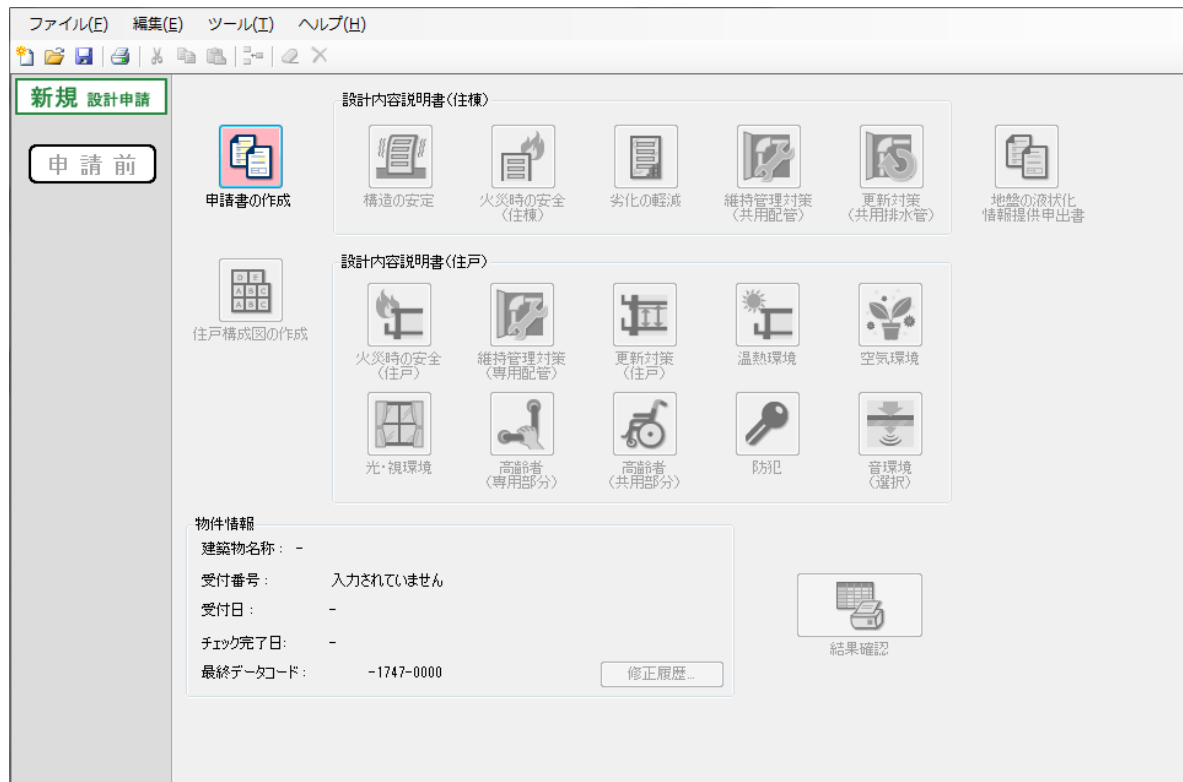
[管理者用]

→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 管理者用 2.0」

→「CAPS-NET 性能評価申請支援ツール共同住宅等 管理者用」から起動します。



1.3 メインメニュー(起動画面)



申請支援ツールの起動画面(メインメニュー)です。

この画面から各入力画面、結果確認・印刷画面等呼び出し、別の画面に移動する場合は一度メインメニューに戻ってから移動します。

メニューボタンは入力状態に応じて以下の色を表示します。

■ グレー 入力不可

■ 赤 入力可 未入力

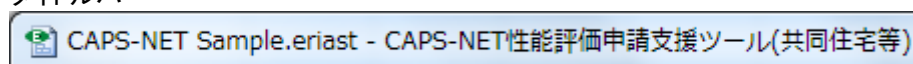
申請書の作成、住戸構成図の作成、設計内容説明書(住棟)は何も入力されていない状態、設計内容説明書(住戸)は未入力状態またはグループ割り当て未完了住戸あり

■ 緑 入力可 入力済

申請書の作成、住戸構成図の作成、設計内容説明書(住棟)は入力項目あり、設計内容説明書(住戸)は全ての住戸がグループ割り当て済み



タイトルバー



作業中の物件ファイル名と、本プログラムの名称が表示されます。

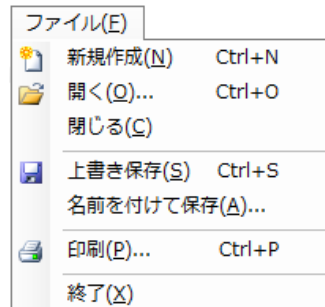
メニューバー

ファイル(E) 編集(E) ツール(T) ヘルプ(H)

各項目をクリックすると、以下のドロップダウンメニューが表示されます。

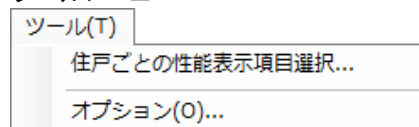
メニューは状況に応じて使用可能/不可能が変化し、対応するツールバー上のボタンと連動しています。

ファイルメニュー



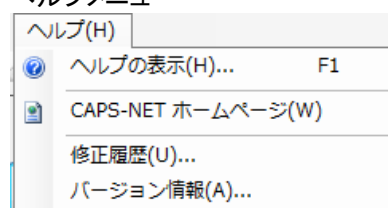
項目	説明
「新規作成」	新規に物件データを作成します。 (「 1.5.1 物件ファイルの新規作成」を参照)
「開く」	既存の物件データファイルを開きます。 (「 1.5.3 物件ファイルを開く」を参照)
「閉じる」	作業中の物件処理を終了し、起動画面に戻ります。
「上書き保存」	処理中の物件データを保存します。 (「 1.5.4 物件ファイルを保存する」を参照)
「名前を付けて保存」	処理中の物件データに別のファイル名を付けて保存します。 (「 1.5.4 物件ファイルを保存する」を参照)
「印刷」	帳票の印刷とエクセルファイルの出力を行います。 (「 6.2 印刷」を参照)
最近使ったファイルの一覧	最近使用したファイルが最大 10 個まで表示されます。
「終了」	このプログラムを終了します。

ツールメニュー



項目	説明
「住戸ごとの性能表示項目選択」	各住戸に対して性能表示項目を選択する画面を表示します。 (「3.2 住戸ごとの性能表示項目選択」を参照)
「オプション」	本ツール全体にかかわる設定を行います。 (「1.6 オプション」を参照)




ヘルプメニュー



項目	説明
「ヘルプの表示」	ヘルプを開きます。プログラムの操作説明が表示されます。
「CAPS-NET ホームページ」	CAPS-NET ホームページを開きます。 ※インターネットへのアクセス環境が必要です。
「修正履歴」	プログラムの修正履歴を確認できます。
「バージョン情報」	このプログラムのバージョン情報が表示されます。 (「1.7 バージョン情報」を参照)

ツールバー



項目	説明
 新規作成	([ファイル(F)]-[新規作成(N)...]メニュー)
 開く	([ファイル(F)]-[開く(O)...]メニュー)
 上書き保存	([ファイル(F)]-[上書き保存(S)]メニュー)

※カッコ内は対応するメニューの名前です。



物件ファイルの状態表示








項目	説明
新規 設計申請	<p>現在の申請内容が表示されます。</p> <p>(新規設計申請、変更設計申請、建設申請、変更建設)</p> <p>※建設申請および変更建設は管理者用プログラムでのみ表示されます。</p>
申請前	<p>現在の申請処理の状態が表示されます。</p> <p>(申請前、受付済、チェック?回目、評価済み)</p>

1.4 処理メニュー







「申請書」メニュー





項目	説明
 申請書の作成	申請者、建築物の概要、評価方法基準について入力します。 (「2.1 申請者等の概要」を参照)
 住戸構成図の作成	住戸構成図を作成し、住戸番号、タイプ名等について入力します。 (「3.1 住戸構成図の作成」を参照)

「設計内容説明書(住棟)」メニュー


項目	説明
 構造の安定	住棟の「構造の安定」について入力します。 (「4.1 構造の安定」を参照)
 火災時の安全(住棟)	住棟の「火災時の安全」について入力します。 (「4.2 火災時の安全(住棟)」を参照)
 劣化の軽減	住棟の「劣化の軽減」について入力します。 (「4.3 劣化の軽減」を参照)
 維持管理対策 (共用配管)	住棟の「維持管理への配慮」について入力します。 (「4.4 維持管理対策等級(共用配管)(住棟)」を参照)
 更新対策(共用排水管)	住棟の「更新への配慮」について入力します。 (「4.5 更新対策(共用排水管)(住棟)」を参照)

「設計内容説明書(住戸)」メニュー


項目	説明
 火災時の安全(住戸)	住戸の「火災時の安全」について入力します。 (「5.2 火災時の安全(住戸)」を参照)
 維持管理対策 (専用配管)	住戸の「維持管理への配慮」について入力します。 (「5.3 維持管理対策等級(専用配管)」を参照)
 更新対策(住戸)	住戸の「更新への配慮」について入力します。 (「5.4 更新対策(住戸)」を参照)
 温熱環境	住戸の「温熱環境」について入力します。 (「5.5 温熱環境」を参照)
 空気環境	住戸の「空気環境」について入力します。 (「5.6 空気環境」を参照)
 光・視環境	住戸の「光・視環境」について入力します。 (「5.7 光・視環境」を参照)

	高齢者等への配慮 (専用部分)	住戸の「高齢者等への配慮(専用部分)」について入力します。 (「 5.8 高齢者等への配慮(専用部分)」を参照)
	高齢者等への配慮 (共用部分)	住戸の「高齢者等への配慮(共用部分)」について入力します。 (「 5.9 高齢者等への配慮(共用部分)」を参照)
	防犯	住戸の「防犯」について入力します。 (「 5.10 防犯」を参照)
	音環境	住戸の「音環境」について入力します。 (「 5.11 音環境」を参照)

「地盤の液状化に関する情報提供申出書」メニュー

項目		説明
	地盤の液状化情報提供 申出書	地盤の液状化に関する情報について入力します。 (「4.6 地盤の液状化に関する情報提供」を参照)

「結果確認・印刷」メニュー

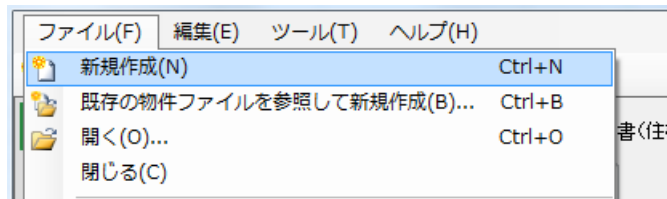
項目		説明
	結果確認	自己評価結果を確認し、必要な帳票を印刷します。 (「 6.1 結果確認」を参照)

「物件情報」

項目		説明
物件情報		受付番号や受付日などの物件情報を確認します。 (「 7.1 物件情報」を参照)

1.5 ファイルの作成と保存

1.5.1 物件ファイルの新規作成

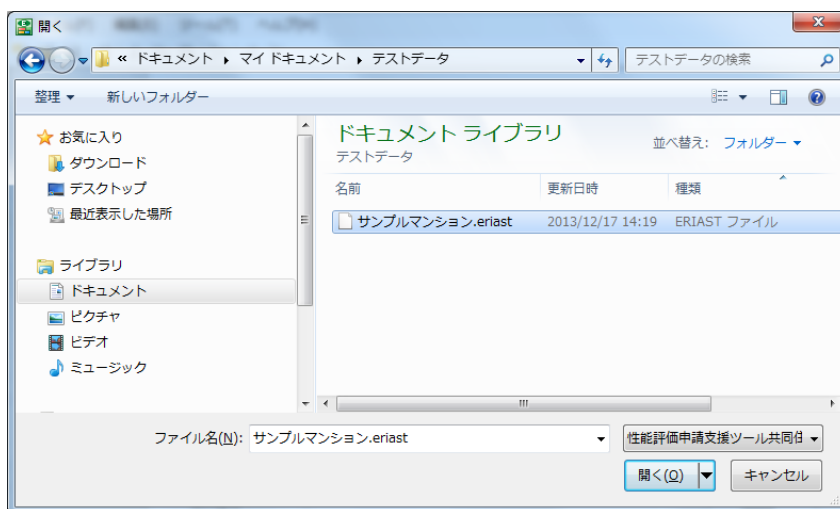
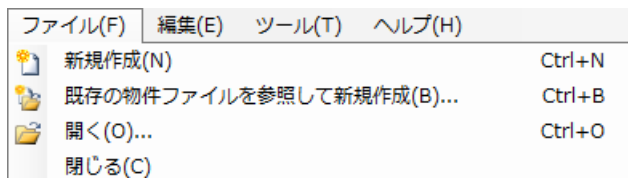


本システムの起動した後またはファイルメニューの「新規作成」を行うと表示されます。

「新規作成」後にボタンが有効な「申請書の作成」から入力を開始します。(「2.1 申請者等の概要」を参照)

1.5.2 既存の物件を参照して新規作成

1.5.3 物件ファイルを開く



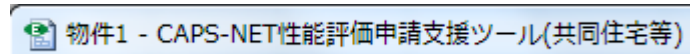
(画面は Windows 7 の場合)

ファイルメニューの「既存の物件を参照して新規作成」または「開く」を選択すると、表示されます。

拡張子が「.eriast」のファイルが表示されますので、ファイルを選択して [開く(O)] ボタンをクリックして下さい。

ファイルを開いた場合、タイトルバーに以下のように表示されます。

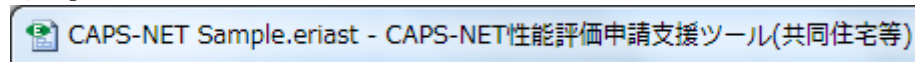
「既存物件を参照して新規作成」



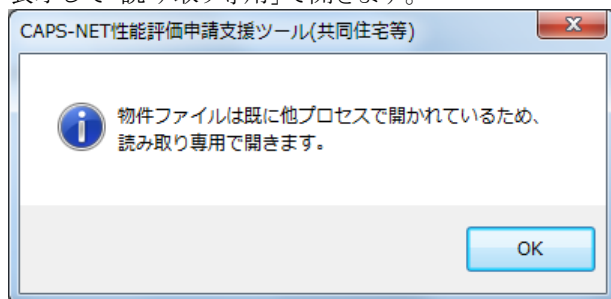
※このモードでは既存の物件ファイルの内容を取り込んで、「物件1」という新規ファイルとして開きます。

この時既存ファイルは、新規ファイルを「名前を付けて保存」から別名ファイルとして保存するまで「使用中」となり、他ユーザーが開こうとした場合「読み取り専用」となります。

「開く」

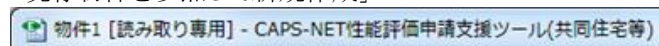


※共有フォルダ等に置かれた物件ファイルを参照、または開こうとした際に、すでに他のユーザー、または複数起動した本ツールでそのファイルが編集済だった場合、以下のメッセージを表示して「読み取り専用」で開きます。

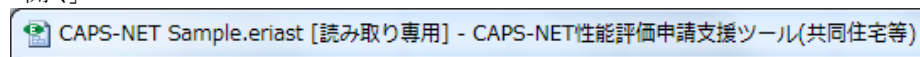


「読み取り専用」でファイルを開いた場合、タイトルバーに以下のように表示されます。

「既存物件を参照して新規作成」

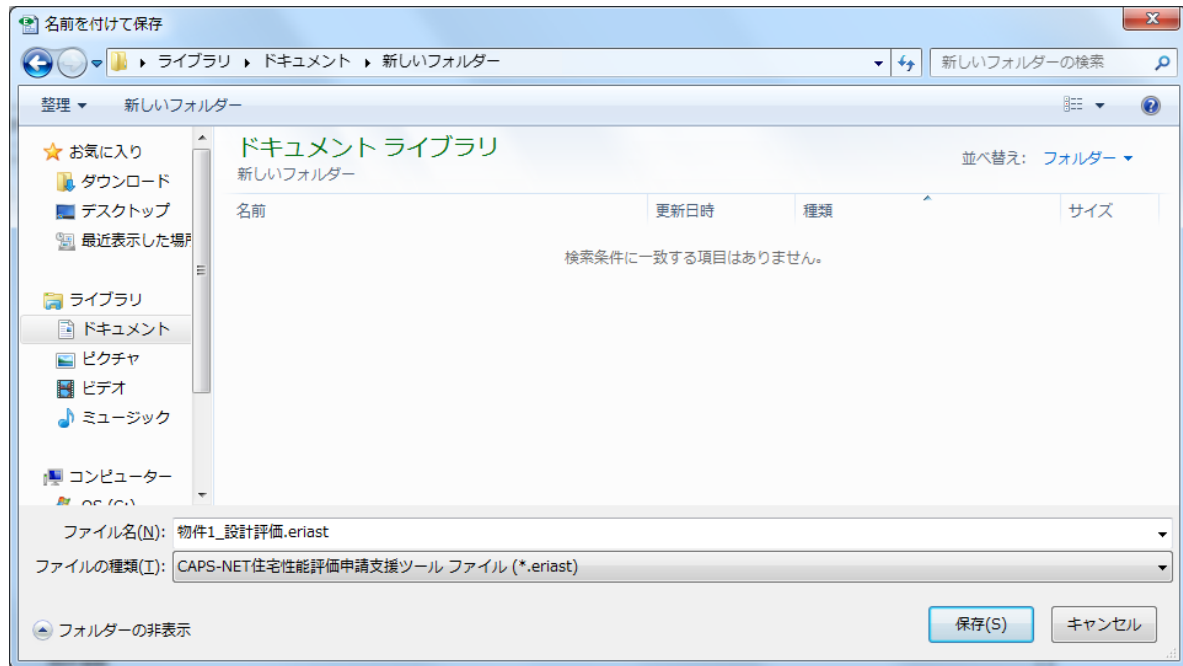


「開く」



この場合編集はできますが「上書き保存」はできません。
保存する際は「名前をつけて保存」から別名のファイルとして保存してください。
(上書き保存を実行しようすると、「名前をつけて保存」となります。)

1.5.4 物件ファイルを保存する



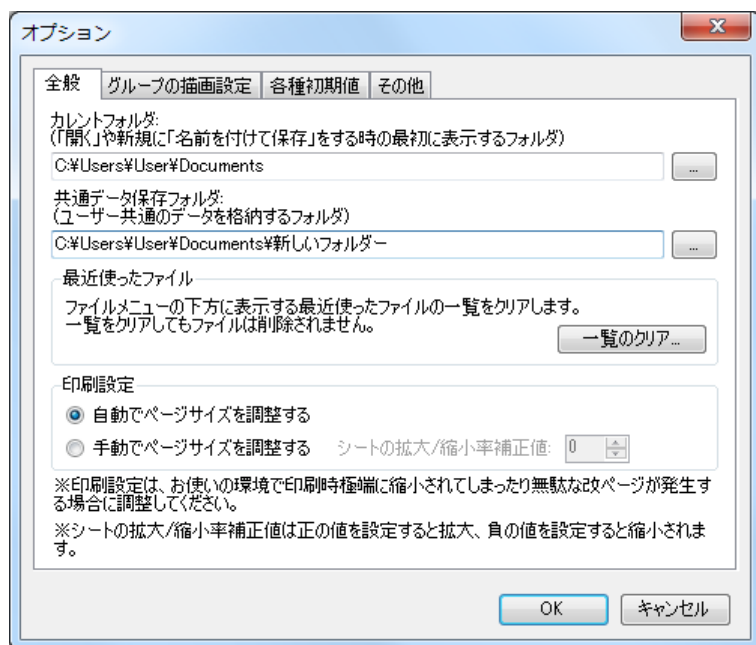
(画面は Windows 7 の場合)

ファイルメニューの「名前を付けて保存」、またはファイル名が決まっていない状態で上書き保存ボタンをクリック／プログラムを終了しようとした時 等に表示されます。

ファイル名 初期値として「物件1」、または建築物名称が入力済の場合はその名称が入力されていますので、必要に応じてファイル名を変更し、[保存(S)]ボタンをクリックして下さい。

ファイル名に拡張子を含めなくても、自動的に「.eriast」が末尾に付加されます。

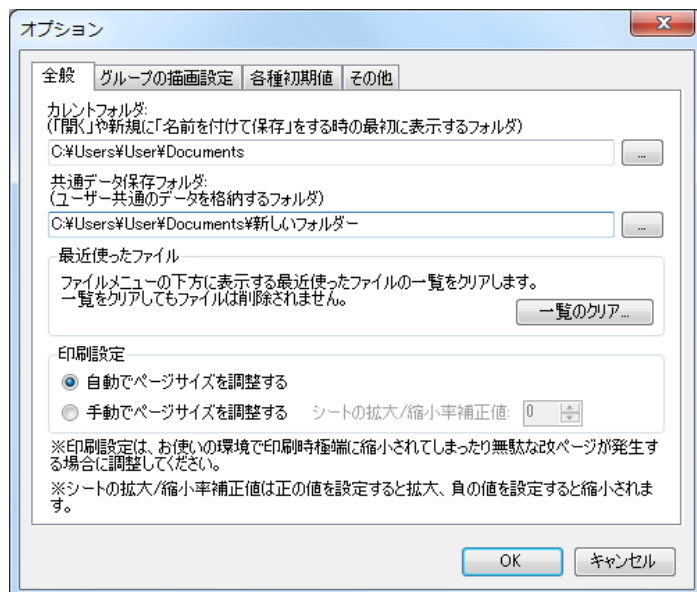
1.6 オプション



システム全体に関わる設定を行います。ここで設定した内容は、次回新規作成した物件データの初期値となります。

選択項目

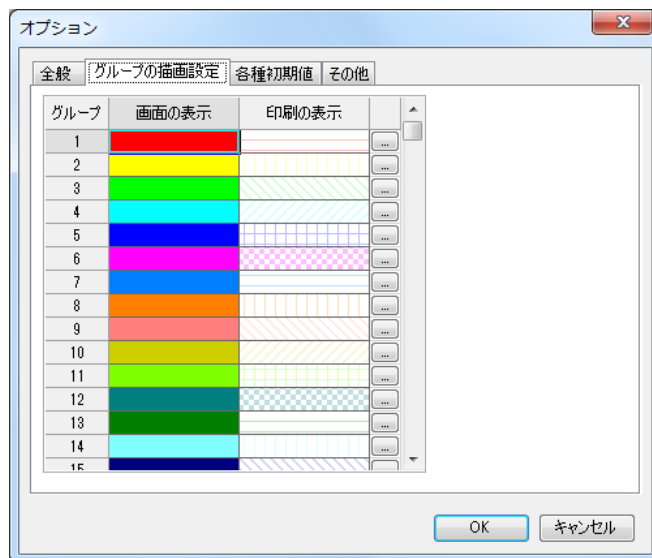
項目	説明
全般	物件ファイルを保存するフォルダの設定などを行います。（「 1.6.1 全般」を参照）
グループの描画設定	住戸構成図のグループ毎の色を設定します。 （「 1.6.2 グループの描画設定」を参照）
各種初期設定	更新対策、光・視環境の初期値を設定します。 （「 1.6.3 各種初期値」を参照）
その他	申請書の提出先機関名称を入力します。



選択項目


項目	説明
カレントフォルダ	<p>物件ファイルを保存するフォルダを指定します。</p> <p>物件ファイルを開く場合、最初に表示されるカレントフォルダとなります。(「 1.5.3 物件ファイルを開く」を参照)</p> <p>初期値は“マイドキュメント”が設定されています。</p>
共通データ保存フォルダ	<p>申請者登録データや光・視環境の室名、設計タイプ名、住宅以外の室名等のユーザー共通データを保存するフォルダを指定します。</p> <p>初期値はローカルフォルダ (C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\ERIAST) ですので、共通データとする場合はネットワーク上の共有フォルダ等を指定してください。</p>
最近使ったファイル	<p>[ファイル(F)]メニューの中の最近使用したファイルの一覧をクリアする場合、 <input type="button" value="一覧のクリア..."/> ボタンをクリックします。</p>
印刷設定	<p>帳票印刷時にページサイズを自動で調整するかどうかを指定できます。</p> <p>「自動でページサイズを調整する」(初期設定値)</p> <p>印刷時に最適な大きさに印刷されるように自動調整を行います。</p> <p>「手動でページサイズを調整する」</p> <p>選択すると印刷時のページサイズ自動調整を行わなくなります。</p> <p>自動調整を行う状態で印刷して、おかしい場所で改ページされてしまったり、過剰に縮小されてしまったりする場合には選択してください。</p> <p>「シートの拡大/縮小率補正值」</p> <p>シートの拡大/縮小率補正值は 0 のままでも効果があります。</p> <p>より細かく調整したい場合に変更してください。</p>

1.6.2 グループの描画設定

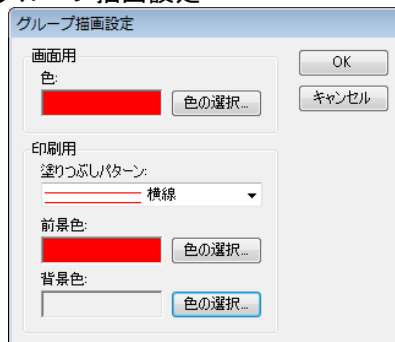


住戸構成図で使用するグループ描画色および印刷用の塗りつぶしパターンについて設定します。

選択項目

項目	説明
画面の表示、 印刷の表示	設計内容説明書(住戸)のグループ分類で使用する色を設定します。 ダブルクリックすると、編集ウィンドウが表示されます。
 (参照ボタン)	編集ウィンドウが表示されます。


グループ描画設定



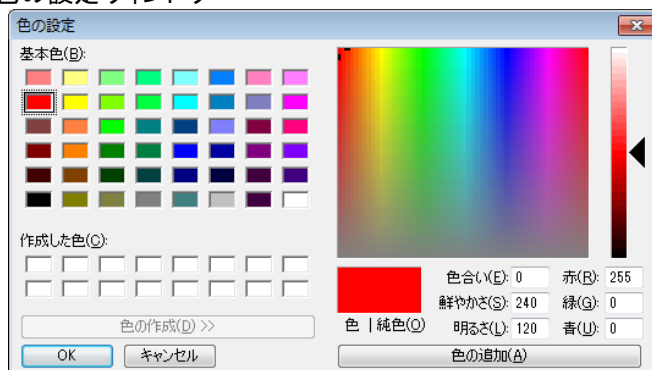
グループの画面表示用と印刷帳票用の色を設定します。

印刷用は、塗りつぶしパターンも併用します。



 ボタンをクリックすると、色設定ウィンドウを表示します。

色の設定ウィンドウ



[色の選択]ボタンをクリックすると、詳細に色を指定できます。

[OK]ボタンをクリックすると、色の変更が反映されます。

※詳しくは、Windows のヘルプをお読み下さい。

1.6.3 各種初期値

オプション

全般 グループの描画設定 **各種初期値** その他

更新対策
躯体天井高低減値: 50 mm

光・視環境
開口率低減値: 2 %

※この画面で設定した各種初期値は、物件新規作成時に適用されます。

OK キャンセル

新規物件作成時に適用される初期値を設定します。

選択項目

項目	説明
更新対策 躯体天井高低減値	更新対策(住戸)で使用する躯体天井高低減値の初期値を設定します。 (5.4 更新対策(住戸) 参照)
光・視環境 開口率低減値	光・視環境で使用する開口率低減値の初期値を設定します。 (5.7 光・視環境 参照)

1.6.4 その他

オプション

全般 グループの描画設定 各種初期値 その他

提出先評価機関情報

評価機関名称:

※申請先の評価機関名称を入力してください。

評価機関番号: 000

OK キャンセル

申請書を提出する評価機関の情報を入力します。

項目	説明
評価機関名称	申請書を提出する評価機関の名称を入力します。
評価機関番号	申請書を提出する評価機関の固有の番号を三桁の数字で入力します。 ※ここで入力した内容は、変更設計申請の開始時に評価機関番号の初期値として使用されます。

1.7 バージョン情報



メインメニュー画面で[ヘルプ(H)]-[バージョン情報(A)...]メニューを選択すると表示されます。
本プログラムのバージョン情報が表示されます。

項目

項目	説明
Version	プログラムのバージョン番号です。

2 申請書の作成

申請書を作成します。

申請者等の概要




建築物に関する事項

2.1 申請者等の概要



設計住宅性能評価の申請者等の概要について入力します。

ツールボタン

項目	説明
 保存してメインメニューへ	入力した申請書の内容を保存してメインメニューに戻ります。 (以降、各画面で共通)
 確認申請ツールのインポート	「確認申請ツール」で出力した物件情報(.erirct ファイル)をインポートします。 (申請情報画面で共通)
 操作方法的表示	この画面の「操作方法」(ヘルプ)が表示されます。 (以降、各画面で共通)

入力項目

項目	説明
申請者	
会社名のフリガナ(半角)	会社名のフリガナを半角カタカナで入力します。
会社名	会社名を入力します。
氏名のフリガナ(半角)	氏名のフリガナを半角カタカナで入力します。
氏名	氏名を入力します。

郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。 ※住所は一つの欄にまとめず、都道府県、市区郡、区町村、番地それぞれの欄に入力してください。
電話番号	電話番号を入力します。

代理人、建築主	申請者ブロック(会社名のフリガナ～電話番号)と同様です。
---------	------------------------------

設計者	
資格	建築士資格名称と登録番号を入力します。
氏名	氏名を入力します。
建築士事務所名	建築士事務所名称と登録番号を入力します。
郵便番号	建築士事務所の郵便番号を入力します。
住所	建築士事務所の住所を入力します。
電話番号	建築士事務所の電話番号を入力します。
性能表示項目	建築物全体の性能表示項目を選択します。 (2. 1. 1 「性能表示項目の選択」を参照)
備考	必要に応じて入力します。

<input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="登録..."/>	申請者～設計者の各入力情報をプログラムに記録しておき、別物件作成時に再利用することができます。(「2.1.3 申請者等の登録・参照」を参照)
<input type="button" value="申請者を建築主へコピー"/>	申請者として入力した内容を、建築主へコピーします。
<input type="button" value="代理人を設計者へコピー"/>	代理人として入力した内容を、設計者へコピーします。

～ Windows 8 でご利用の場合 ～

一部の入力項目において入力時に日本語入力システムの変換モードを設定しておりますが、Windows8 以降でご利用の場合、**変換モードが設定されない場合**があります。
これは Windows8 の仕様によるものですので、変換モードを手動で切り替えて頂くか、または Windows 8 で「コントロールパネル」→「時計、言語、および地域」中の「入力方法の設定」を開き、左列の「詳細設定」項目を選択→「入力方法の切り替え」:「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」をチェックして頂くと改善されます。

2.1.1 性能表示項目の選択

平成 27 年 4 月より施工される、「必須／選択項目の見直し」に伴い、評価項目を任意選択します。

5. 設計住宅性能評価を希望する性能表示項目

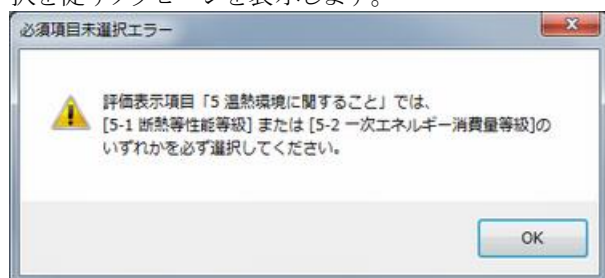
☐ は選択必須項目です。 ☐ 5-1又は5-2のいずれか選択必須項目です。

評価表示項目	選択
2-6 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))	<input type="checkbox"/>
2-7 耐火等級(界壁及び界床)	<input type="checkbox"/>
劣化の軽減に関する事	3-1 劣化対策等級(構造躯体等) <input checked="" type="checkbox"/>
維持管理・更新への配慮に関する事	4-1 維持管理対策等級(専用配管) <input checked="" type="checkbox"/>
	4-2 維持管理対策等級(共用配管) <input checked="" type="checkbox"/>
	4-3 更新対策(共用排水管) <input checked="" type="checkbox"/>
	4-4 更新対策(住戸専用部) <input type="checkbox"/>
温熱環境に関する事 ※5-1及び5-2を選択することも可能です	5-1 断熱等性能等級 <input checked="" type="checkbox"/>
	5-2 一次エネルギー消費量等級 <input type="checkbox"/>
空気環境に関する事	6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等) <input type="checkbox"/>
	6-2 換気対策 <input type="checkbox"/>
光視環境に関する事	7-1 単純開口率、7-2 方位別開口比 <input type="checkbox"/>

全選択
全解除

本画面では、建物全体の性能表示項目を選択します。新規物件では初期値として、必須項目のみ選択されています。必須項目に関しては ☒ 表示となり、チェックを外す(未選択にする)ことはできません。

また、☐ 表示の「温熱環境に関する事」では、「5-1 断熱等性能等級」「5-2 一次エネルギー消費量等級」のいずれか、または双方を選択する事が必須となります。いずれも未選択で他画面へ移動しようとした場合、選択を促すメッセージを表示します。



- ・住棟部分は、本画面でのみ設定が可能です。
- ・住戸部分については、本画面でチェック(選択)すると全ての住戸で選択となり、チェックを外す(未選択)と全ての住戸で未選択となります。→住戸個別の設定は「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」で行います。

全選択 ...全ての項目を選択します。

全解除 ...必須項目を除く全ての項目を未選択とします。「温熱環境に関する事」の項目も未選択になりますので、改めていずれかを選択してください。

※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」で住戸ごとの項目を設定後に本画面を表示した場合、住戸ごとの選択状態によって以下のように表示されます。



・・・全ての住戸で該当項目が選択されていません。

前もって本画面で選択していても、「住戸ごとの性能表示項目選択」で全住戸を未選択にした場合、再度本画面を表示した際にはこの表示になります。



・・・全ての住戸で該当項目が選択されています。

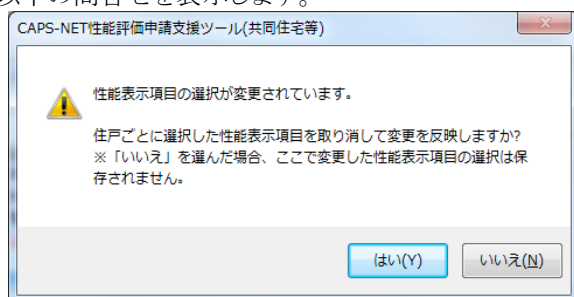
前もって本画面で選択していなくても、「住戸ごとの性能表示項目選択」で全住戸を選択にした場合、再度本画面を表示した際にはこの表示になります。



・・・一部の住戸で該当項目が選択されています。

※本画面でこの表示セルを変更する場合、チェック／未チェック(＝全住戸で選択／未選択)だけが設定可能で、元の「一部選択」には戻せませんのでご注意ください。

本画面から他画面へ移動する際、住戸部分の選択状態が「住戸ごとの性能表示項目選択」と異なる場合、以下の問合せを表示します。



この問合せ画面で「はい」をクリックすると、住戸ごとの性能表示項目選択はクリアされ、全ての住戸に対して性能表示項目を選択した状態になります。

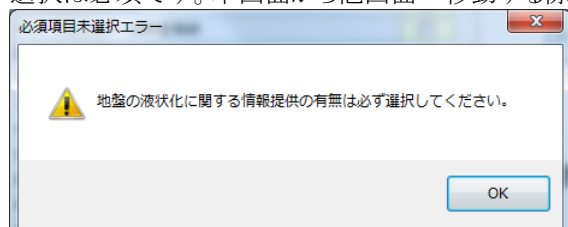
地盤の状況に関する情報提供について

「必須／選択項目の見直し」と同様に平成 27 年 4 月より施行される「液状化に関する参考情報の提供」に伴い、情報提供の有無を選択します。

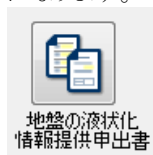
地盤の液状化に関する情報提供

☒ 情報提供を行う ☐ 情報提供を行わない

選択は必須です。本画面から他画面へ移動する際、いずれも未選択の場合以下のメッセージを表示します。



「情報提供を行う」を選択した場合、メニュー画面のアイコンが有効になり、液状化に関する情報の入力を行えるようになります。（「 4.6 」を参照）



2.1.2 代表者以外の申請者等の概要

申請者や建築主が複数の場合に入力します。申請書第二面(別紙)として印刷します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ 確認申請ツールのインポート 操作方法的表示

申請情報

申請者等の概要

建築物に関する事項

申請者等 代表以外の申請者 代表以外の建築主 代表以外の設計者

代表者以外の申請者1

会社名のフリガナ(半角)

会社名

氏名のフリガナ(半角)

氏名

郵便番号

住所 都道府県 市区郡 区町村 番地

電話番号

※住所は都道府県、市区郡、区町村、番地それぞれの欄に入力してください。

参照...

登録...

☐ 申請書第一面に表記する

※相互にコピー＆ペースト可能

代表者以外の申請者2

会社名のフリガナ(半角)

会社名

氏名のフリガナ(半角)

氏名

郵便番号

住所 都道府県 市区郡 区町村 番地

電話番号

※住所は都道府県、市区郡、区町村、番地それぞれの欄に入力してください。

参照...

登録...

☐ 申請書第一面に表記する

代表者以外の申請者3

代表者以外の「申請者」「建築主」「設計者」をそれぞれ5名まで記入することができます。

入力内容は前画面と同様です。(「2.1 申請者等の概要」を参照)

項目	説明
申請書第一面に表記する	申請書の第一面に表示したい申請者がある場合に選択します。 ※複数選択はできません。

2.1.3 申請者等の登録・参照

申請者等で入力した内容を、次回以降で再利用するためのメモ機能です。

申請者等の登録情報

氏名又は会社名:

- 株式会社四角建設工業
- 株式会社△△工業
- 〇〇建設株式会社
-
-

会社名のフリガナ(半角) カツキガイシャカサノカワキョウ

会社名 株式会社△△工業

氏名のフリガナ(半角) ヨハマ イ知ウ

氏名 横浜 一郎

郵便番号 241-****

住所 都道府県 神奈川県 市区郡 横浜市

区町村 旭区

番地 *-*

電話番号 045-959-****

登録情報の修正 登録情報の削除 選択 キャンセル

申請者、代理者、建築主、設計者、代表以外の申請者、代表以外の建築主、代表以外の設計者で、それぞれ最大 20 件までの情報を登録できます。

項目

項目	説明
登録	再利用したい入力情報をプログラムに登録します。
選択	登録済みの情報を呼び出します。
キャンセル	登録または選択をキャンセルして、申請者等の登録へ戻ります。
登録情報の修正	登録済みの情報を修正します。
登録情報の削除	登録済みの情報を削除します。 ※削除後にキャンセルしても元には戻りませんのでご注意ください。

登録の手順

会社名のフリガナ(半角) カツキガイシャカサノカワキョウ

会社名 株式会社△△工業

氏名のフリガナ(半角) ヨハマ イ知ウ

氏名 横浜 一郎

郵便番号 241-****

住所 都道府県 神奈川県 市区郡 横浜市

区町村 旭区

番地 *-*

電話番号 045-959-****

参照... 登録...

※相互にコピー&ペースト可能

申請者等の入力完了したら、入力欄右側の登録ボタンをクリックします。

申請者等の登録情報ダイアログが表示されます。

必要に応じて内容を訂正した後、登録ボタンをクリックします。

20 件登録されている場合は、どの情報を上書きするかを選択してから登録します。

参照の手順

会社名のフリガナ(半角)			<div>参照...</div> <div>登録...</div> <div>※相互にコピー&ペースト可能</div>
会社名			
氏名のフリガナ(半角)			
氏名			
郵便番号			
住所	都道府県	市区郡	
	区町村	番地	
電話番号			

登録済みの情報を呼び出すには、参照ボタンをクリックします。

申請者等の登録情報			
氏名又は会社名:		会社名のフリガナ(半角)	
1	株式会社四角建設工業	マルマルケンセツカツキガイシャ	会社名
2	株式会社△△工業	〇〇建設株式会社	氏名のフリガナ(半角)
3	〇〇建設株式会社	マルイ マルオ	氏名
4		丸井 周男	郵便番号
5		110-****	住所
			都道府県
			東京都
			市区郡
			台東区
			区町村
			上野公園
			番地
			X-X
			電話番号
			03-3828-****
登録情報の修正		選択	キャンセル

登録済みの情報が表示されますので、リストから選択し、詳細を確認してよろしければ選択をクリックします。

会社名のフリガナ(半角)		マルマルケンセツカツキガイシャ		<div>参照...</div> <div>登録...</div> <div>※相互にコピー&ペースト可能</div>
会社名		〇〇建設株式会社		
氏名のフリガナ(半角)		マルイ マルオ		
氏名		丸井 周男		
郵便番号		110-****		
住所	都道府県	東京都	市区郡	
	台東区			
	区町村	上野公園		
	番地	X-X		
電話番号		03-3828-****		

申請者等の概要に、情報が呼び出されます。

2.2 建築物に関する事項

建築物に関する事項について入力します。

メインメニューの住戸構成図の入力ボタンを有効にするためには、評価対象住戸数、階数、構造を入力して下さい。

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ 確認申請ツールのインポート 操作方法の表示

申請情報

申請者等の概要

建築物に関する事項

建築物名称:

1. 地名地番: 都道府県 市区郡
 区町村
 番地
 ※住所は都道府県、市区郡、区町村、番地それぞれの欄に入力してください。

〈住居表示〉 都道府県 市区郡
 ※未決定の場合は空欄とする 区町村
 番地
 ※住所は都道府県、市区郡、区町村、番地それぞれの欄に入力してください。

2. 都市計画区域: ☐ 都市計画区域内
 (☐ 市街化区域 ☐ 市街化調整区域 ☐ 区域区分未設定)
☐ 準都市計画区域内
☐ 都市計画区域及び準都市計画区域外

3. 防火地域: ☒ 複数選択可 ☐ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☐ 指定なし

4. 敷地面積: m²

5. 建て方: ☐ 共同住宅 ☐ 長屋

6. 建築面積: m²

7. 延べ面積: m²

入力項目

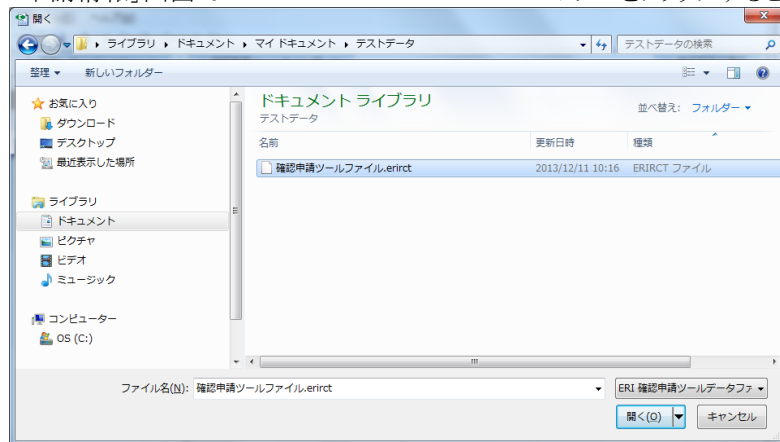
項目	説明
建築物名称	建築物の名称を入力します。
地名地番	都道府県、市区郡、区町村、番地に分けて入力します。
(住居表示)	入力内容は地名地番と同様です。
都市計画区域	都市計画区域を選択します。 都市計画区域内の市街化区域と市街化調整区域は同時に選択することが可能です。
防火地域	防火地域を選択します。 防火地域と準防火地域は同時に選択することが可能です。
敷地面積	敷地面積を入力します。
建て方	建て方を選択します。
建築面積	建築面積を入力します。
延べ面積	延べ面積を入力します。
住戸の数	建物全体および評価対象住戸について戸数を入力します。 ※住戸構成図の入力を有効にするための入力必須項目です。

最高の高さ、最高の軒の高さ	高さを入力します。
階数	地上、地下の階数を入力します。 ※住戸構成図の入力を有効にするための入力必須項目です。
構造	<p>項目をプルダウンリストから選択します。</p> <p>一部構造が異なる場合は、右側の項目もプルダウンリストから選択します。</p> <div data-bbox="454 425 657 600"> 木造 在来工法 木造 2×4 木造 プレハブ RC造 一般 RC造 プレハブ S造 一般 S造 プレハブ SRC造 </div> <p>※住戸構成図の入力を有効にするための入力必須項目です。</p>
利用関係	利用関係を選択します。(複数選択可)
その他必要な事項	必要に応じて入力します。
備考	必要に応じて入力します。

2.3 確認申請ツールデータのインポート

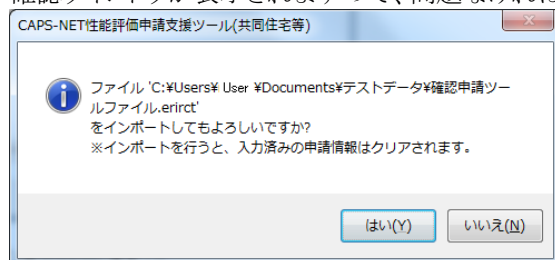
「確認申請ツール」で出力した物件情報(.erirct ファイル)をインポートします。

「申請情報」画面で **確認申請ツールのインポート** ボタンをクリックすると、ファイル選択ウィンドウが開きます。



インポートする.erirct ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

確認ウィンドウが表示されますので、問題なければ「はい」をクリックするとファイルをインポートします。



インポートされる情報は以下の通りです。

- ・建築物の名称又は工事名
 - ・申請者会社名、氏名 / その他の申請者最大 5 名
 - ・設計者会社名、氏名、所在地、電話番号
 - ・建築主会社名、氏名、所在地、電話番号 / その他の建築主最大 5 名
 - ・代理者会社名、氏名、所在地、電話番号
 - ・設計者/事務所資格、建築業許可、登録番号、事務所名、所在地、電話番号 / その他の設計者最大 5 名
 - ・建築物地名地番、住居表示所在地、都市計画区域区分、防火区域区分
 - ・建築物の主要用途、敷地面積、建築面積、延べ面積、最高の高さ、最高の軒の高さ、地上階数、地下階数
- ※「建築物の構造(一部含む)」はクリアされますがインポートされませんのでご注意ください。

＜ 建設申請の場合は以下もインポートされます。 ＞

- ・工事監理者/事務所資格、建築業許可、登録番号、事務所名、所在地、電話番号 / その他の監理者最大 5 名
- ・工事施工者/事務所資格、建築業許可、登録番号、事務所名、所在地、電話番号 / その他の施工者最大 5 名
- ・工事着手予定年月日、工事完了予定年月日、特定工程工事終了予定年月日(最大 30 件)

※変更申請の場合、構造(一部含む)はインポート前のデータが保持されます。

※確認申請ツールデータのインポート機能で取り込めるデータは、「確認申請ツール」の「申請ファイル作成」ボタンで出力したファイルです。「申請書エクスポート」ボタンから出力したファイルは取り込めませんのでご注意ください。

3 住戸構成図の作成

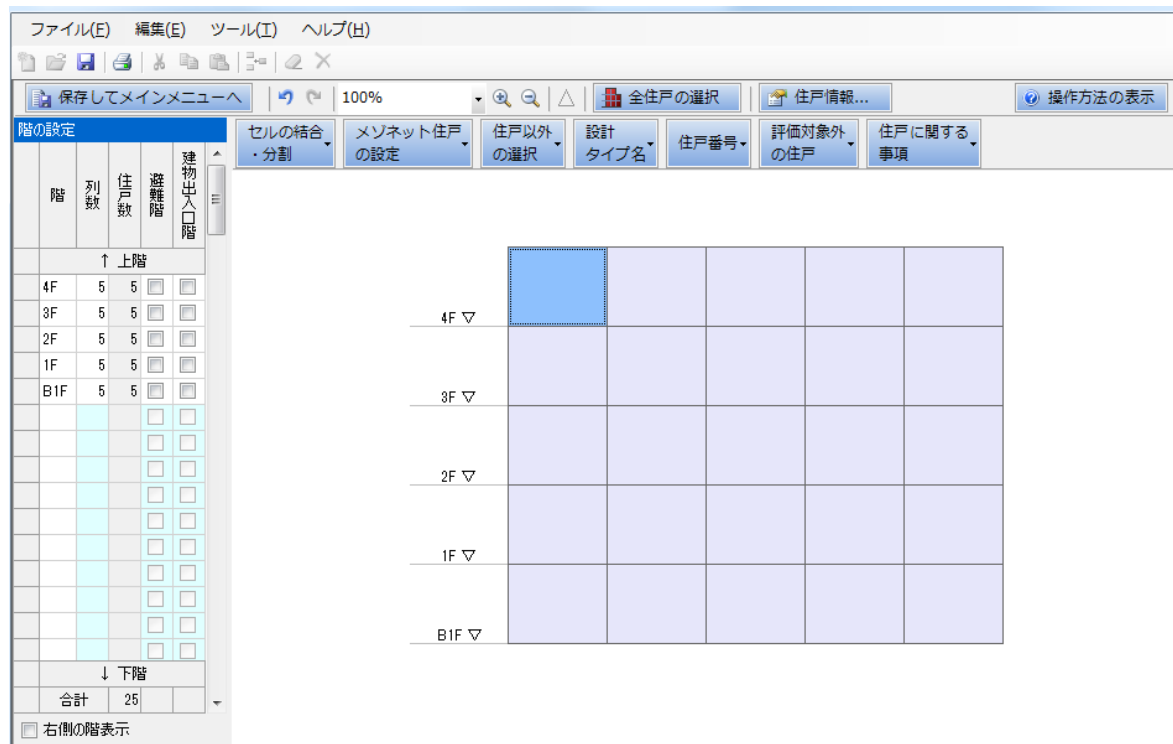
住戸構成図を作成します。

住戸構成図







3.1 住戸構成図の作成



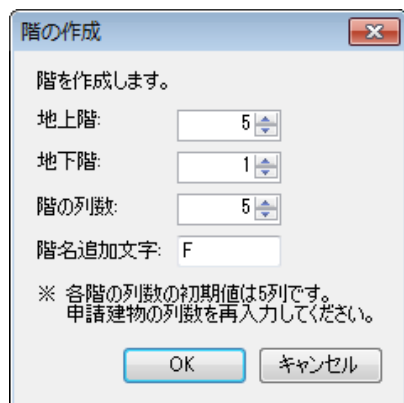
対象住戸の配置図の作成およびタイプ名・住戸番号を設定して、後の住戸に関する設計内容の入力で使用します。（住棟の処理には使用しません。）



ツールバー

項目	説明
 元に戻す	直前の操作をキャンセルして、一つ前の状態に戻します。
 やり直し	戻しすぎた操作を一つ後の状態にします。
100% 表示倍率	住戸構成図の表示倍率を指定します。
 ズームイン	表示中の住戸構成図を拡大表示します。
 ズームアウト	表示中の住戸構成図を縮小表示します。
 EXP ジョイント	エクспанションジョイント部を設定します。 (「 3.1.15 エクспанション・ジョイントの設定」を参照)
 住戸情報... セルのプロパティ	住戸などに設定されているセルの情報を確認・編集します。 (「 3.1.14 住戸情報(セルのプロパティ)」を参照)

3.1.1 階の作成



階を作成します。

地上階: 5

地下階: 1

階の列数: 5

階名追加文字: F

※ 各階の列数の初期値は5列です。
申請建物の列数を再入力してください。

OK キャンセル

階数と各階の列(セル)数を設定します。

入力項目

項目	説明
地上階 地下階	「申請書の作成」-「建築物に関する事項」画面で入力した階数が初期値として表示されます。(「2.2 建築物に関する事項」を参照)
階の列数	各階の列数を入力します。 基本的に列数は各階の住戸数を入力します。初期値は5列となっています。
階名追加文字	階名追加文字を入力します。「1F ▽」 初期値として“F”が設定されていますが、“FL”等への変更が可能です。

3.1.2 階の設定



階	列数	住戸数	避難階	建物出入口階
↑ 上階				
5F	2	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4F	3	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3F	5	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2F	5	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1F	5	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B1F	5	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

各階の列(セル)数等を設定します。入力した値により住戸構成図が表示されます。

入力項目

項目	説明
階	階名を入力します。
右階、左階	「右側の階表示」をチェックすると、「右階、左階」と表示が変わります。

列数	各階の列(セル)数を入力します。	<table border="1"> <tr> <td>5F ▾</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr> <tr> <td>4F ▾</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr> <tr> <td>3F ▾</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	5F ▾					4F ▾					3F ▾																																					
5F ▾																																																		
4F ▾																																																		
3F ▾																																																		
住戸数	評価対象の住戸セルの合計が、階ごとに表示されます。 (「 3.1.14 住戸情報(セルのプロパティ)」を参照)																																																	
避難階	避難階に該当する場合は選択します。避難階マークが、該当階の左側に表示されます。 避難階に属する住戸は、火災時の安全に関すること(住戸)の2-2 感知警報(他住戸等)、2-3 避難安全対策(排煙形式、平面形状)、2-4 脱出対策で「該当なし」にグループ分類されます。 (「 5.2.2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)」、「 5.2.3 避難安全対策(排煙形式)」、「 5.2.4 避難安全対策(平面形状)」、「 5.2.5 脱出対策」を参照)	<table border="1"> <tr> <td>2F ▾</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td></td></tr> <tr> <td>避難階</td><td colspan="2">店舗</td><td>101</td><td>102</td><td>エント</td></tr> <tr> <td>1F ▾</td><td colspan="2"></td><td>C</td><td>D</td><td></td></tr> </table>	2F ▾	A	B	C	D		避難階	店舗		101	102	エント	1F ▾			C	D																															
2F ▾	A	B	C	D																																														
避難階	店舗		101	102	エント																																													
1F ▾			C	D																																														
建物出入口階	建物出入口階に該当する場合は選択します。 建物出入口階のマークが、該当階の左側に表示されます。 建物出入口階に属する住戸は、防犯に関するもののグループ分類時に影響します。 (「 5.10 防犯」を参照)	<table border="1"> <tr> <td>2F ▾</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td></td></tr> <tr> <td>出入口階</td><td colspan="2">店舗</td><td>101</td><td>102</td><td>エント</td></tr> <tr> <td>1F ▾</td><td colspan="2"></td><td>C</td><td>D</td><td></td></tr> </table>	2F ▾	A	B	C	D		出入口階	店舗		101	102	エント	1F ▾			C	D																															
2F ▾	A	B	C	D																																														
出入口階	店舗		101	102	エント																																													
1F ▾			C	D																																														
<input type="checkbox"/> 右側の階表示	右側の階表示をチェックすると、右側に階表示されます。	<table border="1"> <tr> <td>5FL ▾</td><td colspan="2">501 G</td><td colspan="2">502 D</td><td>▽ 5FL</td></tr> <tr> <td>4FL ▾</td><td>401 F</td><td>402 B</td><td>403 C</td><td>404 D</td><td>405 E</td><td>▽ 4FL</td></tr> <tr> <td>3FL ▾</td><td>301 A</td><td>302 B</td><td>303 C</td><td>304 D</td><td>305 E</td><td>▽ 3FL</td></tr> <tr> <td>2FL ▾</td><td>201 A</td><td>202 B</td><td>203 C</td><td>204 D</td><td>205 E</td><td>▽ 2FL</td></tr> <tr> <td>避難階</td><td colspan="2">店舗</td><td>101 C</td><td>102 D</td><td>エントランス</td><td>避難階</td></tr> <tr> <td>出入口階</td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td>出入口階</td></tr> <tr> <td>1FL ▾</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td><td>▽ 1FL</td></tr> </table>	5FL ▾	501 G		502 D		▽ 5FL	4FL ▾	401 F	402 B	403 C	404 D	405 E	▽ 4FL	3FL ▾	301 A	302 B	303 C	304 D	305 E	▽ 3FL	2FL ▾	201 A	202 B	203 C	204 D	205 E	▽ 2FL	避難階	店舗		101 C	102 D	エントランス	避難階	出入口階						出入口階	1FL ▾						▽ 1FL
5FL ▾	501 G		502 D		▽ 5FL																																													
4FL ▾	401 F	402 B	403 C	404 D	405 E	▽ 4FL																																												
3FL ▾	301 A	302 B	303 C	304 D	305 E	▽ 3FL																																												
2FL ▾	201 A	202 B	203 C	204 D	205 E	▽ 2FL																																												
避難階	店舗		101 C	102 D	エントランス	避難階																																												
出入口階						出入口階																																												
1FL ▾						▽ 1FL																																												

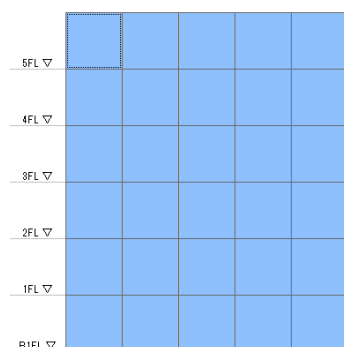
3.1.3 住戸構成図セルの操作

住戸構成図セルの操作ツール

セルの結合・分割	メゾネット住戸の設定	住戸以外の選択	設計タイプ名	住戸番号	評価対象外の住戸	住戸に関する事項
----------	------------	---------	--------	------	----------	----------

項目	説明
セルの結合・分割	作成したセルは分割したり、複数のセルを結合することが可能です。 (「 3.1.5 セルの均等分割・結合」を参照)
メゾネット住戸の設定	「セルの均等分割・結合」機能を用いて、上下階の 2 層または 3 層を 1 住戸として結合したセルを選択した後、玄関階を指定します。 (「 3.1.6 メゾネット住戸の設定」を参照)
住戸以外の選択	‘住戸以外’を設定すると、セルに住戸番号やタイプ名が設定されなくなり、設計内容説明書のグループ分類からも除外されます。 室名を選択または編集します。(「 3.1.7 住戸以外のセルの設定」を参照)
設計タイプ名	住戸セルにタイプ名を設定します。 (「 3.1.9 設計タイプ名の設定」を参照)
住戸番号	住戸セルに住戸番号を設定します。 (「 3.1.11 住戸番号の設定」を参照)
評価対象外の住戸	評価対象外の住戸がある場合に設定します。 (「 3.1.12 評価対象外の住戸」を参照)
住戸に関する事項	申請書第四面別紙に記入する項目を一覧形式で登録します。 (「 3.1.13 住戸に関する事項一覧」を参照)

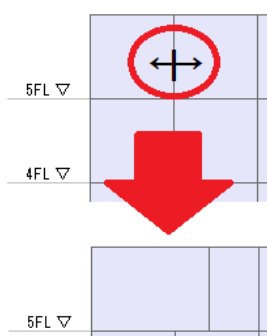
3.1.4 セル幅の変更



作成した直後のセルの区分は全て”住戸”となっています。

必要に応じて区分の変更を行って下さい。

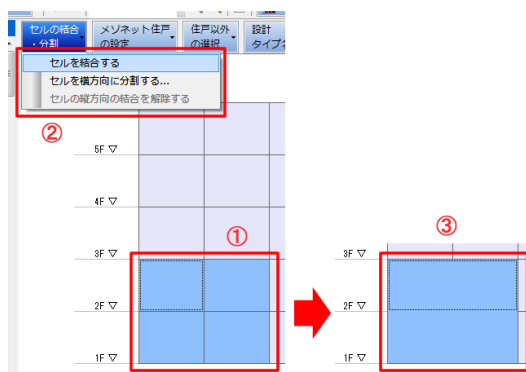
(「3.1.7 住戸以外のセルの設定」を参照)



1)セルの縦罫線にマウスカーソルを近づけると、カーソル形状が「両矢印」に変わります。

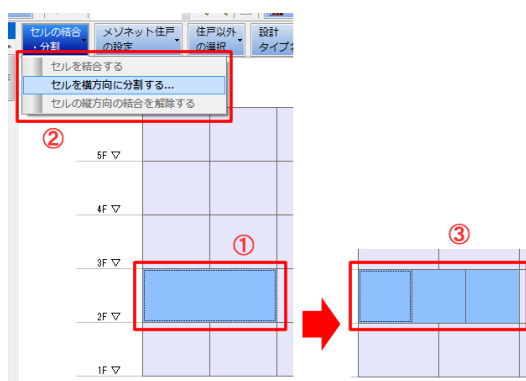
2)ドラッグして左右に移動すると、セル幅を変更することができます。

※各階の高さは、建物の最大高さを均等分割したものになりますので、変更できません。



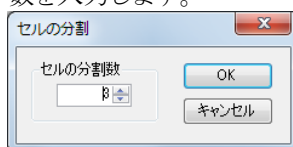
■セルを結合

- 1) 結合するセルを範囲選択します。
- 2) 「セルの結合・分割▼」コマンドをクリックして、表示されるメニューの「セルを結合する」を選択します。
- 3) 左図では、4つのセルが1つに結合されました。

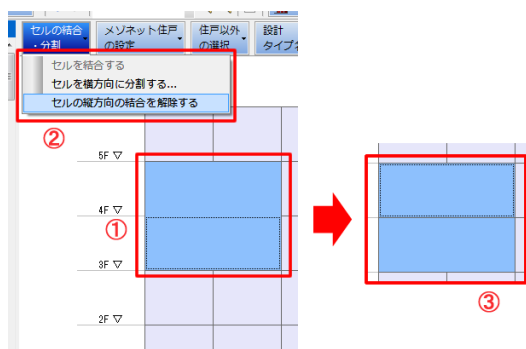


■セルを横方向に分割する

- 1) 分割するセルを選択します。
- 2) 「セルの結合・分割▼」コマンドをクリックして、表示されるメニューの「セルを分割する...」を選択します。
- 3) 「セルの分割」ウィンドウが表示されますので、分割したい数を入力します。



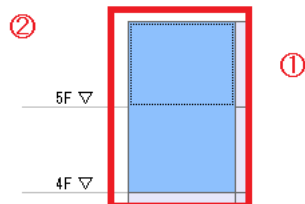
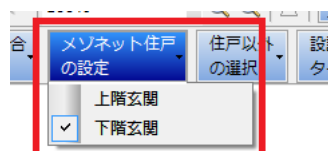
- 4) 左図では3つにされました。
- ※セルの幅は入力された値でセルを均等分割されます。
- ※設計タイプ名や住戸番号が設定されているセルでも、分割・結合の操作は可能です。



■セルの縦方向の結合を解除する

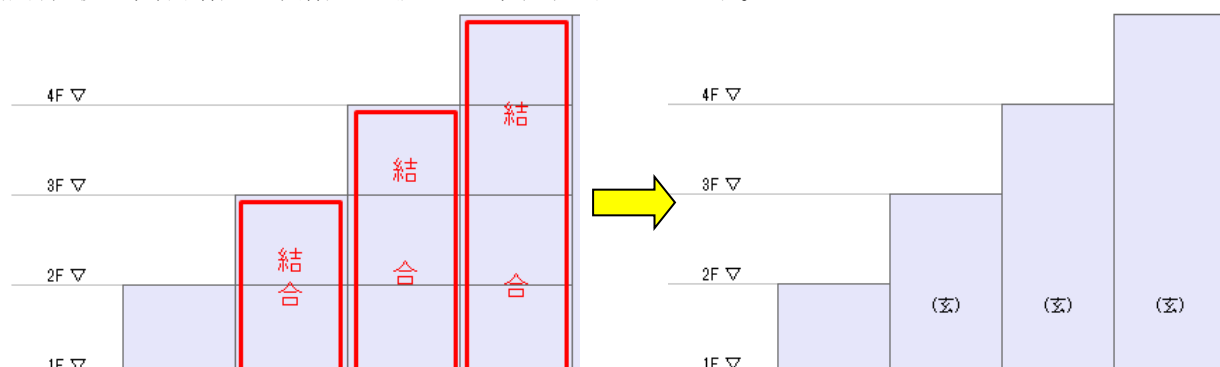
- 1) 解除したい縦方向の結合セルを選択します。
- 2) 「セルの結合・分割▼」コマンドをクリックして、表示されるメニューの「セルの縦方向の結合を解除する...」を選択します。
- 3) 左図では縦方向の結合が解除されました。

3.1.6 メゾネット住戸の設定

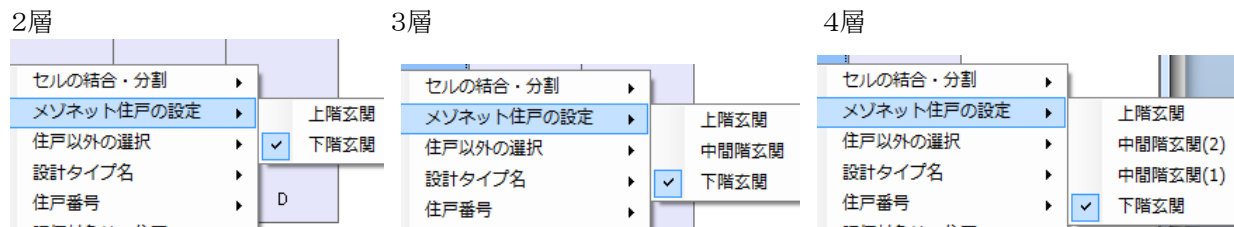


- 1) 縦方向に結合されたセルを選択します。
 - 2) 「メゾネット住宅の設定▼」をクリックして、表示されるメニューの「上階玄関」、「下階玄関」のいずれかを選択します。
- ※3層を結合した住戸を選択した場合は、「上階玄関」、「中間階玄関」、「下階玄関」から選択します。

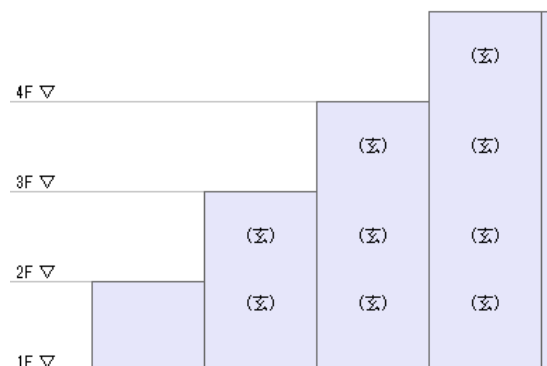
メゾネット住戸として結合可能な層数は4F までとなります。
結合直後は、最下階が玄関階として設定され、(玄)が表示されます。



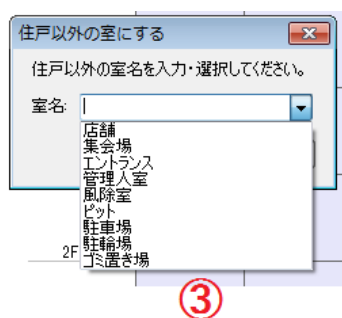
コンテキストメニューからの設定例



玄関階は複数の指定が可能です。



3.1.7 住戸以外のセルの設定



■住戸以外の室にする

- 1) セルを選択します。(1つでも複数でも可)
- 2) 「住戸以外の選択▼」をクリックして、「住戸以外の室にする」を選択します。
- 3) 「住戸以外の室にする」ウィンドウが表示されますので入力するか、登録済みの室名から選択します。
- 4) セルに室名が表示され、セルの背景色も空白になります。

※「住戸に戻す」を選択すると、セルのプロパティが住戸に戻され、現在の室名は削除されます。

■空間(屋外)にする

- 1) セルを選択します。(1つでも複数でも可)
- 2) 「住戸以外の選択▼」をクリックして、「空間(屋外)」を選択します。
- 3) セルの背景色および枠線が空白になります。
セルに室名がある場合は、室名は削除されます。
(「 3.1.14 住戸情報(セルのプロパティ)」を参照)

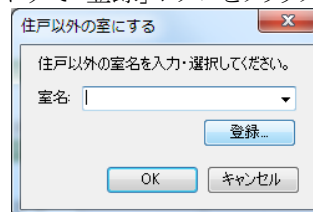
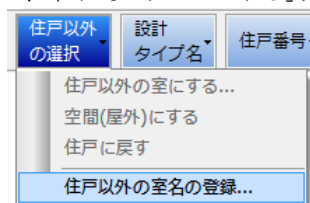
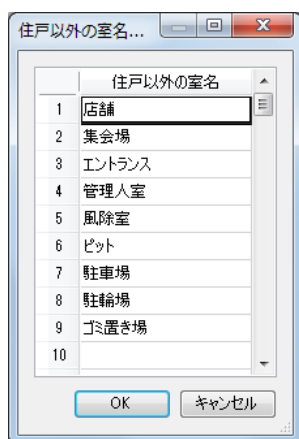
※「住戸に戻す」を選択すると、セルのプロパティが住戸に戻されます。

※枠線を表示させたい場合は、「住戸以外の室にする...」で室名を空白に設定して下さい。

3.1.8 住戸以外の室名登録ツール

使用頻度の高い住戸以外の室名を登録しておき、別物件で再利用することができます。

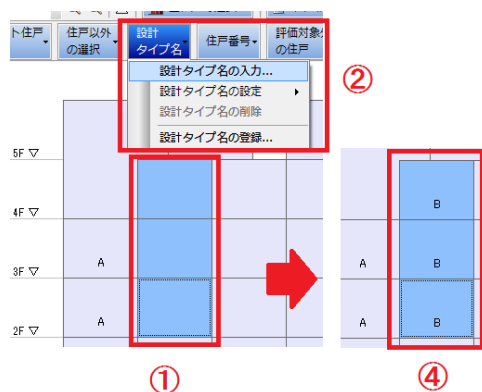
- 「住戸以外の選択▼」をクリックして、「住戸以外の室名の登録...」を選択するか、「住戸以外の室にする」ウインドウで「登録」ボタンをクリックします。



- 2) 「住戸以外の室名の登録」ウインドウが表示されますので、変更や追加を行います。
- 3) 編集を終了して「OK」ボタンをクリックすると登録されます。

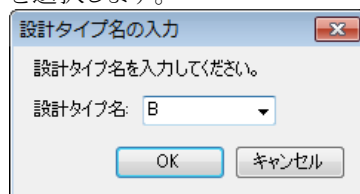
※最大100種類の室名が登録できます。

3.1.9 設計タイプ名の設定



設計タイプ名の入力・選択ツールを用い、各住戸のセルに設計タイプ名を設定します。

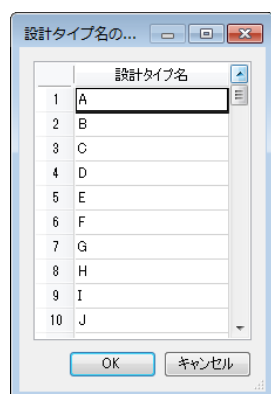
- 1) セルを範囲選択します。(1つでも複数でも可)
- 2) 「設計タイプ名 ▼」をクリックして、「設計タイプ名の入力...」を選択します。



※「設計タイプ名 ▼」をクリックして、「設計タイプ名の設定」を選択すると、登録済みの設計タイプから選択できます。

- 3) 設計タイプ名を入力またはリストから選択して「OK」ボタンをクリックします。
- 4) セルに入力した設計タイプ名が表示されます。

3.1.10 設計タイプ名登録ツール

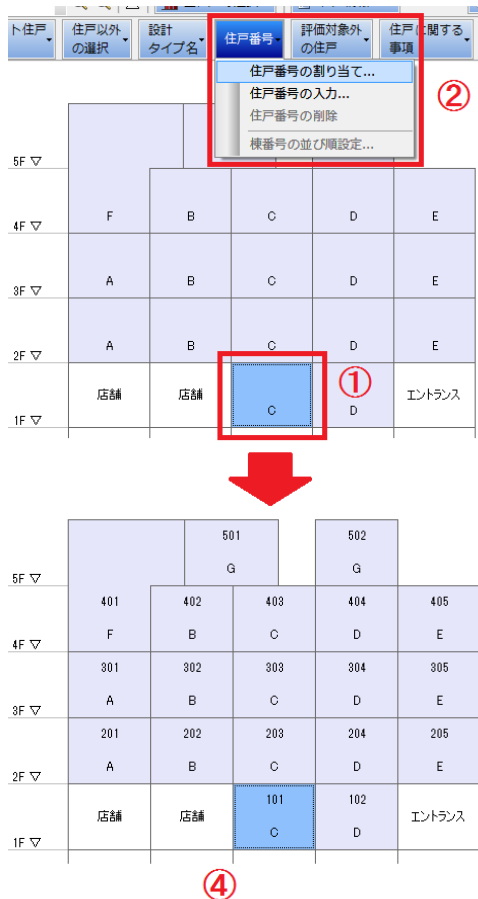


使用頻度の高い設計タイプ名を登録しておき、別物件で再利用することができます。

- 1) 「設計タイプ名 ▼」をクリックして、「設計タイプ名の登録...」を選択します。
- 2) 「設計タイプ名の登録」ウィンドウが表示されますので、変更や追加を行います。
- 3) 編集を終了して「OK」ボタンをクリックすると、この物件で使用する設計タイプ名が登録されます。

※最大100種類の設計タイプ名が登録できます。

3.1.11 住戸番号の設定



住戸に住戸番号を一括で割り当てます。

- 1) 住戸番号の割り当ての開始位置となるセルを選択します。
- 2) 「住戸番号▼」をクリックして、「住戸番号の割り当て...」を選択すると、「住戸番号の割り当て」ウィンドウが表示されます。

住戸番号の割り当て

割り当て範囲
☒ 選択セルから最上階 ☐ 選択セル範囲

開始住戸番号
番号: 101
棟番号: ☐ 棟番号を付ける

欠番指定(下1桁): ☐ 4 ☐ 9

階の割り当て方向: ☒ → ☐ ←

プレビュー
101, 102, 201, 202, 203, 204, 205, 301, 302, 303, 304, 305,
401, 402, 403, 404, 405, 501, 502

OK キャンセル

- 3) このウィンドウで割り当て範囲、開始住戸番号、欠番指定、階の割り当て方向について設定して、「OK」をクリックします。
- 4) 住戸に番号が表示されます。

- ・ 複数住戸を選択して、その範囲内の住戸への割り当てでも可能です。
- ・ 同じ住戸番号が発生する場合は、住戸番号の割り当てウィンドウの「棟番号」を使用します。

棟番号: ☒ 棟番号を付ける

N-
E-
S-
W-

- ・ 「棟番号の並び順設定...」は、棟番号が入力されている場合のみメニューが有効になります。

ここで設定した並び順が、申請書の第四面「住戸に関する事項」の並び順に反映されます。

棟番号の並び順設定

棟番号の並び順を設定します。
ボタンで順番を移動してください。

棟番号
N-
E-
S-
W-

OK キャンセル

- ・ 「住戸番号の入力...」をクリックすると、直接入力用のウィンドウが表示されます。

住戸番号の入力

住戸番号を入力してください。

住戸番号:

☐ 棟番号を付ける

OK キャンセル

※「住戸以外の室」には番号を割り当てません。

3.1.12 評価対象外の住戸



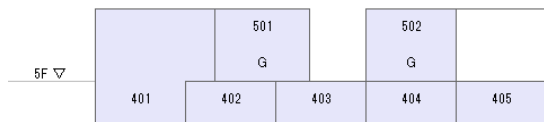
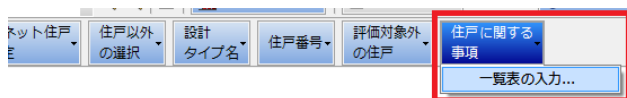
地権者住戸がある場合等に、評価対象外の住戸として設定することにより、評価事項のグループ分類から除外できます。

- 1) セルを範囲選択します。(1つでも複数でも可)
- 2) 「評価対象外の住戸▼」をクリックして、「住戸を評価対象外にする」を選択します。
- 3) セルの背景色が空白になります。

※「評価対象外の解除」を選択すると、評価対象住戸に戻されます。

3.1.13 住戸に関する事項一覧

住戸に関する事項を一覧形式で入力します。



1) 「住戸に関する事項▼」をクリックして、「一覧表で入力...」を選択します。

2) 住戸構成図の評価対象住戸が、一覧表形式で表示されますので、住戸に関する事項を入力して「保存して閉じる」ボタンをクリックします。

ツールバー

☒ タイプ名順
 ☐ 住戸番号順

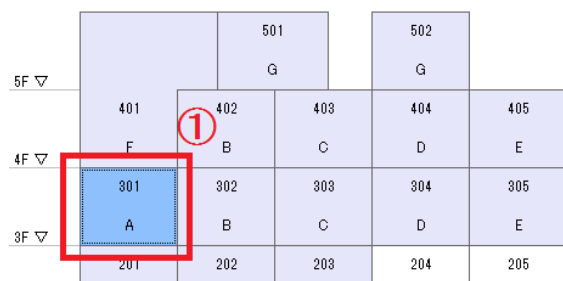
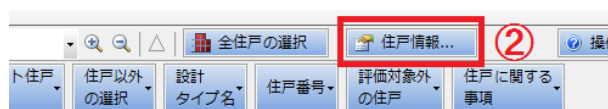
項目	説明
タイプ名順	住戸の並び順を、設計タイプ名順に表示します。
住戸番号順	住戸の並び順を、住戸番号順に表示します。

入力項目

項目	説明
タイプ名	住戸のタイプ名を表示します。
住戸番号	住戸番号を表示します。
階	住戸がある階を表示します。
住戸の床面積	住戸の専有部分床面積を入力します。
住戸の居室面積	対象住戸の性能表示項目「7-1、2 光視環境」が選択されている場合 →本項目は編集不可となり、光視環境で設定された面積値が表示されます。 未選択の場合 →本項目が編集可能となりますので、住戸の居室面積を入力します。

バルコニー等の面積	<p>バルコニー等の専用使用部分床面積を入力します。</p> <p>バルコニー等が複数ある場合は、(1)(2)(3)に分けて入力すると合計値が表示され、第四面には合計値が表示されます。</p>
当該住戸への経路	
共用階段(無し)	<p>自住戸から建物出入口までの経路上に「共用階段」が該当しない場合は選択します。</p>
共用廊下(無し)	<p>自住戸から建物出入口までの経路上に「共用廊下」が存在しない場合は選択します。</p>
エレベーター(無し)	<p>自住戸から建物出入口までの経路上に「エレベーター」が存在しない場合は選択します。</p>
界壁・界床の有無	
界壁(無し)	<p>隣室に他住戸等が該当しない場合に選択します。</p> <p>チェックすると、火災時の安全に関することの2-7 耐火等級(界壁及び界床)で該当なしが連動して選択されます。(「 5.2.6 耐火等級(界壁及び界床)」を参照)</p>
界床(無し) 上階、下階	<p>上階、下階に他住戸等が該当しない場合に選択します。</p> <p>チェックすると、火災時の安全に関することの2-7 耐火等級(界壁及び界床)で該当なしが連動して選択されます。(「 5.2.6 耐火等級(界壁及び界床)」を参照)</p>

3.1.14 住戸情報(セルのプロパティ)



セルの設定内容の表示および編集を行います。一連の住戸構成図編集コマンドと同様の設定を行うことが可能です。

- 1) セルを範囲選択します。(1つでも複数でも可)
- 2) ツールバー上の「セルのプロパティ..」をクリックすると、「セルのプロパティ」ウィンドウが表示されます
※コンテキスト(右クリック)メニューからも表示できます。

項目を設定して、「OK」ボタンをクリックします。

※複数のセルを選択した場合は、同じ値が設定されていればその値が表示され、複数の値が混在する場合は空白になります。

「住戸の居室面積」項目は、複数セルのうち全てで性能表示項目の光・視環境が未選択なら編集可能、1戸でも選択されているなら編集不可となります。

フラット(1層)住戸とメゾネット住戸では、「住戸の位置設定」部分の表示が変わります。

フラット住戸

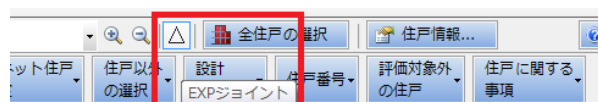
メゾネット住戸(例:4層)

メゾネット住戸では、階層ごとに「玄関位置」、「避難階」、「出入口階」の指定が可能です。各々複数階に設定もできます。
(※避難階は、玄関階として指定した場合に設定できます。)

3.1.15 エクспанション・ジョイントの設定

住戸構成図に処理中の目印として、エクспанション等の位置を表示することができます。

※単なる目印ですので、他の処理には影響しません。




1) セルを範囲選択します。

②

		501		502	
		G		G	
5F ▾					
	401	402	403	404	405
	F	B	C	D	E
4F ▾					
	301	302	303	304	305
	A	B	C	D	E
3F ▾					
	201	202	203	204	205
	A	B	C	D	E
2F ▾					
避難階	店舗	店舗	101	102	エントランス
出入口階			C	D	
1F ▾					
	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
B1F ▾					

2) ツールバー上の  ボタンをクリックします。

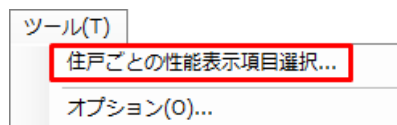
2F ▾	A	B	C	D	E
避難階	店舗	店舗	101	102	エントランス
出入口階			C	D	
1F ▾					
	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
B1F ▾					

3) 最下階の下に、 のマークが表示されます。



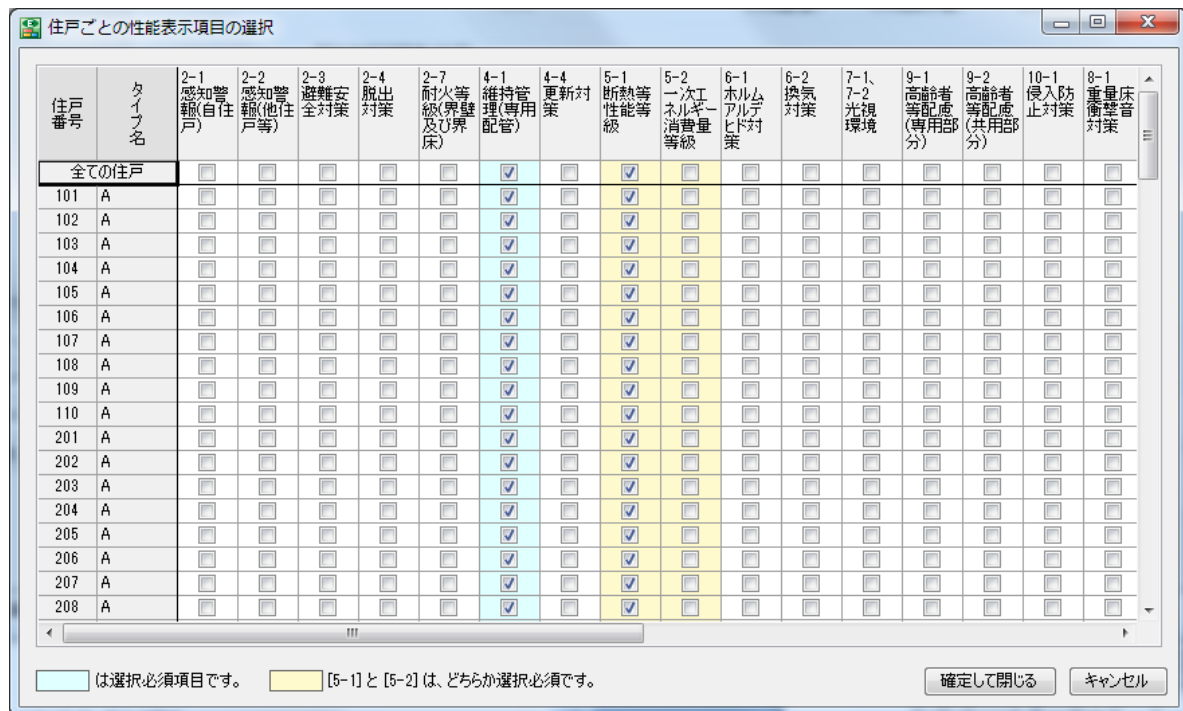
3.2 住戸ごとの性能表示項目選択

平成 27 年 4 月より施工される、「必須／選択項目の見直し」に伴い、評価項目を任意選択します。



「ツールメニュー」→「住戸ごとの性能表示項目選択」から呼び出します。

(本機能は、3.1 住戸構成図が入力された後に有効になります。)



新規物件の初回呼出しでは、初期値として「2. 1. 1 性能表示項目の選択」で入力した、建物全体の選択状態を表示します。

※ここで表示されるのは住戸で選択可能な項目のみです。住棟部分の選択項目は表示されません。

また、必須項目に関しては ☒ 表示となり、チェックを外す(未選択にする)ことはできません。

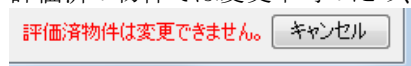
※ ☐ 表示の 5-1/5-2 項は、いずれかまたは双方の選択が必須となります。

全ての住戸 行のチェックは、該当列全住戸のチェックに反映されます。

各住戸に対し、設計内容を入力する項目についてチェックを入れ、**確定して閉じる** ボタンをクリックすると設定が完了します。

建物を「評価済み」とするまで、本項目はいつでも変更・修正が可能です。

評価済の物件では変更不可のため、**確定して閉じる** ボタンは表示されません。



設定した住戸ごとの性能表示項目選択は、住戸の設計内容登録に反映されます。

「6. 空気環境に関すること」 6-1 ホルムアルデヒド対策、6-2 換気対策 を例に以下に表します。

1: 全ての住戸で選択しなかった場合

設計内容説明書(住戸)の「空気環境」メニューボタンが無効になり、設計内容登録はできません。

住戸番号	タイプ名	6-1 ホルムアルデヒド対策	6-2 換気対策
101	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
102	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
103	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
202	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
203	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
301	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
302	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
303	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2: 全ての住戸で選択した場合

設計内容説明書(住戸)の「空気環境」メニューボタンから、全ての住戸に対して設計内容登録が可能です、

住戸番号	タイプ名	6-1 ホルムアルデヒド対策	6-2 換気対策
101	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
102	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
103	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
201	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
202	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
203	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
301	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
302	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
303	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

3: 一部の住戸で選択した場合

設計内容説明書(住戸)の「空気環境」メニューボタンから、選択した住戸に対して設計内容登録が可能です。
未選択の住戸はグレーで塗り潰されます。

住戸番号	タイプ名	6-1 ホルムアルデヒド対策	6-2 換気対策
101	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
102	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
103	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
202	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
203	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
301	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
302	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
303	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4: 区分中、いずれかの項目を選択した場合

設計内容説明書(住戸)の「空気環境」メニューボタンから、選択項目に対してのみ設計内容登録が可能です。
未選択項目は、左メニューのボタンが無効になり、設計内容登録画面が呼び出せません。

住戸番号	タイプ名	6-1 ホルムアルデヒド対策	6-2 換気対策
101	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
102	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
103	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
201	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
202	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
203	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
301	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
302	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
303	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4 設計内容説明書(住棟)

住棟についての設計内容説明書および自己評価書を作成します。

構造の安定

火災時の安全(住棟)

劣化の軽減

維持管理対策等級(共用配管)(住棟)

更新対策(共用排水管)(住棟)

4.1 構造の安定



住棟の構造の安定について、設計内容説明書および自己評価書を作成します。

ツールボタン

項目	説明
保存してメインメニューへ	設計内容説明書の入力内容を保存し、メインメニューに戻ります。
操作方法の表示	この画面の「操作方法」(ヘルプ)を表示します。

表示事項

住棟の設計内容説明書の表示事項を選択するメニューです。

性能表示項目選択で未選択の項目については、

メニューが無効になります。

入力項目

① 記載図書(1-1～1-7 構造の安定)

項目	説明
構造躯体	提出する図面や書類を選択します。
1-6 地盤	その他の記載図書は3つまで入力可能です。
1-7 基礎	

② 構造躯体

項目	説明
構造躯体	構造躯体を選択します。

構造躯体が「免震建築」の場合

項目	説明
1-3 免震建築物	
免震建築物	免震建築物で申請する場合は選択します。
方法	「大臣認定書の活用」、「その他」から申請方法を選択します。
維持管理に関する図書	免震層および免震材料の維持管理に関する図書を作成している場合は選択します。
1-4 耐風等級、1-5 耐積雪等級	
1-4 耐風等級	自己評価等級を選択します。
1-5 耐積雪等級	自己評価等級を選択します。
認定書等(品確法)の活用 1-4 耐風等級、1-5 耐積雪等級	
認定書等の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。

構造躯体が「その他」の場合

項目	説明
等級	
1-1 耐震等級(倒壊等防止)	自己評価等級を選択します。
1-2 耐震等級(損傷防止)	
1-4 耐風等級	
1-5 耐積雪等級	
認定書等(品確法)の活用	
1-1 耐震等級(倒壊等防止)、1-2 耐震等級(損傷防止)、1-4 耐風等級、1-5 耐積雪等級	
認定書等(品確法)の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。

認定方法	認定書等を活用する場合に、認定方法を選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
構造計算方法	構造の計算方法を選択します。

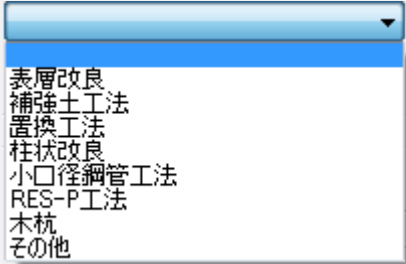
※「2. 1. 1 性能表示項目選択」において未選択の項目は、無効表示となり入力できません。

③ 地盤・基礎

入力項目

項目	説明
地盤の調査方法等(1-6)(1-7)	
<div> <div>構造躯体</div> <div>地盤、基礎</div> </div> <div> <div>地盤の調査方法等 (1-6) (1-7)</div> <div> 1. <input type="text"/> 2. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> </div> </div>	<p>調査方法をプルダウンリストから選択します。</p> <div> <input type="text"/> <ul style="list-style-type: none"> 標準貫入試験 スウェーデン式サウンディング試験 平板載荷試験 オートマチック・ラム・サウンディング試験 レーリー波探査 スクリーウエイト貫入試験 その他 </div> <p>“その他”を選択の場合、2行目にその他の内容を入力します。</p>

項目	説明
地盤の許容応力度(1-6)(1-7)	
<div> <div>地盤の許容応力度 (1-6) (1-7)</div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 地盤の許容応力度 </div> <div> <div>地盤の許容応力度</div> <div> 地盤の許容応力度: <input type="text"/> [kN/m²] ※整数未満切り捨て 地盤改良方法: 1. <input type="text"/> 2. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> </div> </div> <div> <div>直接基礎</div> <div> 基礎の構造方法: <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> 基礎の形式: <input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> 独立基礎 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> </div> </div> </div>	
地盤の許容応力度	地盤について設定する場合は選択します。
地盤の許容応力度	地盤の許容応力度を入力します。 [kN/m ²]

地盤改良方法	<p>地盤改良方法をプルダウンリストから選択します。</p>  <p>“その他”を選択の場合、2行目にその他の内容を入力します。</p>
直接基礎	
基礎の構造方法	<p>構造方法を選択します。</p> <p>“その他”を選択の場合、その他の内容を入力します。</p>
基礎の形式	<p>基礎の形式を選択します。</p> <p>“その他”を選択の場合、その他の内容を入力します。</p>

項目	説明
杭状改良地盤の許容支持力度又は許容支持力(1-6)(1-7)	
<div> <div>杭状改良地盤の許容支持力度又は許容支持力 (1-6)(1-7)</div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 杭状改良地盤 </div> <div> <div>杭状改良地盤</div> <div> <input type="checkbox"/> 許容支持力度: <input type="text"/> [kN/m²] ※整数未満切り捨て <input type="checkbox"/> 許容支持力: <input type="text"/> [kN/本] ※整数未満切り捨て <div> <div>地盤改良方法:</div> <div> 1. <input type="text"/> 2. <input type="text"/> </div> </div> </div> </div> <div> <div>直接基礎</div> <div> <div>基礎の構造方法:</div> <div> <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> </div> </div> <div> <div>基礎の形式:</div> <div> <input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> 独立基礎 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> </div> </div> </div> </div>	
杭状改良地盤	杭状改良地盤である場合は選択します。
許容支持力度	許容支持力度を入力する場合選択し、杭の許容支持力度を入力します。[kN/m ²]
許容支持力	許容支持力を入力する場合選択し、杭の許容支持力を入力します。[kN/本]
地盤改良方法	<p>地盤改良方法をプルダウンリストから選択します。</p>  <p>“その他”を選択の場合、2行目にその他の内容を入力します。</p>
直接基礎	

基礎の構造方法	構造方法を選択します。 “その他”を選択の場合、その他の内容を入力します。
基礎の形式	基礎の形式を選択します。 “その他”を選択の場合、その他の内容を入力します。

項目	説明
----	----

杭の許容支持力(1-6)(1-7)

杭の許容支持力 (1-6) (1-7)

☒ 杭の許容支持力

杭の許容支持力

杭の許容支持力:

最低値

最高値

※全ての支持力が同じ場合は、最低値欄に入力してください。
[kN/本] ※整数未満切り捨て

杭基礎

杭種:

☐ 支持杭
☐ 摩擦杭

工法:

☐ 場所打ち杭
☐ 既製杭

杭径・杭長:

	最小値	最大値
杭径 [cm]	杭頭部	
	軸部(節部)	
	先端部	
杭長 [m]		

※杭頭部、軸部(節部)、先端部すべて入力してください。(直杭についても同様です)
※整数未満切り捨て
※杭径および杭長の最小値と最大値が同じ場合、最小値欄だけに入力してください。

杭の許容支持力	杭について設定する場合は選択します。
杭の許容支持力	杭の許容支持力を入力します。[kN/本]
杭基礎	
杭種	杭基礎種類を選択します。
工法	杭基礎工法を選択します。
杭径 (杭頭部、軸部(節部)、 先端部)	杭径を入力します。[cm] ※杭径は、「最小耐力の杭径～最大耐力の杭径」とします。また、拡頭、拡底杭のある場合は、「拡頭径-軸径-拡底径」とし、拡底径は有効設計径とします。
杭長	杭長を入力します。[m]

※地盤の調査方法等、地盤改良方法、地盤調査方法等が3種類以上ある場合は、その他欄にまとめて記入します。

※「地盤の許容応力度」と「杭状改良地盤の許容支持力度」の双方が入力されている場合、設計内容説明書印刷等では「地盤の許容応力度」が優先されます。

4.2 火災時の安全（住棟）



※「2. 1. 1 性能表示項目選択」において「2. 火災時の安全に関すること」の住棟部分（2-5、2-6）とも未選択の場合はボタンが無効になり、本画面は呼出しできません。

住棟の火災時の延焼対策について、設計内容説明書および自己評価書を作成します。

入力項目

項目	説明
2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分・開口部）	
「2. 1. 1 性能表示項目選択」で2-5が未選択の場合は本項目は表示されません。	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	開口部の耐火等級を選択します。
開口部の耐火性能（耐火性能が最も低いもの）	
開口部の耐火時間	耐火時間を選択します。2 時間耐火の場合も 60 分以上を選択します。

項目	説明
2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分・開口部以外）	
「2. 1. 1 性能表示項目選択」で2-5が未選択の場合は本項目は表示されません。	
該当無し	該当なしの場合は選択します。
認定書等	
認定書等の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。

認定方法	認定書等を活用する場合に、認定方法を選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
外壁・軒裏の構造(耐火性能が最も低いもの)	
外壁及び軒裏の等級	外壁及び軒裏の耐火等級を選択します。
外壁及び軒裏の耐火時間	外壁及び軒裏の耐火時間を選択します。2 時間耐火の場合も 60 分以上を選択します。

項目	説明
2-5、2-6 耐火等級 記載図書	
開口部	提出する図面や書類を選択します。
開口部以外	その他の記載図書は3つまで入力可能です。

4.3 劣化の軽減



住棟の劣化対策について、設計内容説明書および自己評価書を作成します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ 操作方法の表示

表示事項

- 1-1~1-7 構造の安定
- 2-5、2-6 耐火等級
- 3-1 劣化対策等級(構造躯体等)**
- 4-2 維持管理対策等級(共用配管)
- 4-3 更新対策(共用排水管)

3-1 劣化対策等級(構造躯体等) 記載図書

☐ 仕様書 ☐ 構造図

その他 1.
2.
3.

鉄筋コンクリート造等 鉄骨造

3-1 劣化対策等級(構造躯体等) 鉄筋コンクリート造等

認定書等

☐ 認定書等(品確法)の活用

認定方法: ☐ 製造者認証 ☐ 型式認定 ☐ 特別評価方法認定

認定番号:

等級

☐ 等級3 ☒ 等級2 ☐ 等級1

コンクリート・セメント

コンクリート種類 複数選択可

☐ 普通コンクリート
☐ 軽量コンクリート

セメント種類 複数選択可

☐ 普通ポルトランドセメント
☐ フライアッシュセメント
☐ 中熱・低熱ポルトランドセメント
☐ 高炉セメント
☐ その他のポルトランドセメント

水セメント比・最小かぶり厚さ

水セメント比: ☐ 50%以下 ☒ 55%以下 ☐ 60%以下

構造が「RC 造」の場合は、「鉄筋コンクリート造等」と「鉄骨造」が表示されます。(「2.2 建築物に関する事項」を参照)

4.3.1 鉄筋コンクリート造等

① 鉄筋コンクリート造等

RC 造の場合は、「鉄筋コンクリート造等」についてこの画面で入力します。

入力項目

項目	説明
認定書等	
認定書等の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。
認定方法	認定書等を活用する場合に、認定方法を選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
等級	劣化対策等級を選択します。
コンクリート・セメント	
コンクリート種類	コンクリート種類を選択します。(複数選択可)
セメント種類	セメント種類を選択します。(複数選択可)
水セメント比	水セメント比率を選択します。
最小かぶり厚さ	水セメント比に応じたかぶり厚さがある場合は選択します。

最小かぶり厚さ基準値

クリックすると、水セメント比と最小かぶり厚さの入力参考資料として、下記の画面が表示されます。

等級3・等級2の場合に設定すべき「水セメント比、最小かぶり厚さ」の組み合わせ		等級3	
		✗ 5.0%以下	✗ 5.5%以下
		等級2	
		✗ 5.5%以下	✗ 6.0%以下
直接土に接しない部分	耐力壁以外の壁又は床	屋内 2 cm	屋外 3 cm
		屋外 3 cm*	4 cm*
	耐力壁、柱又ははり	屋内 3 cm	4 cm
		屋外 4 cm*	5 cm*
直接土に接する部分	壁、柱、床、はり又は基礎の立ち上がり部分	4 cm	5 cm
	基礎（立ち上がり部分及び捨てコン部分を除く）	6 cm	7 cm

*1 外壁の屋外に面する部位に耐久性上有効な仕上げがある場合、屋外側の部分に限り1cm減することができる。

部材の設計・配筋

設計かぶり厚さ

施工誤差を考慮した最小かぶり厚さがある場合は選択します。

コンクリートの品質

スランプ

強度と寸法を選択します。（複数選択可）

単位水量

コンクリートに使用した単位水量を選択します。

空気量

コンクリートに含まれる空気量を選択します。

施工計画

コンクリートの充填方法等

コンクリートの充填方法等を選択します。

その他の構造部材

構造部材が記載の建築基準法施行令に該当する場合は選択します。

記載図書

提出する図面や書類を選択します。
その他の記載図書は3つまで入力可能です。

② 鉄骨造

RC 造の場合は、「鉄骨造」についてこの画面で入力します。

入力項目

項目	説明
認定書等	
認定書等の活用	認定書等(品確法)の活用して申請する場合は選択します。
認定方法	認定書等を活用する場合に、認定方法を選択します。
認定番号	認定番号を入力します。
等級	劣化対策等級を選択します。
構造躯体	
一般部の鋼材の厚さ	項目を選択します。
柱脚部の鋼材の厚さ	項目を選択します。
その他の鋼材の厚さ	項目を選択します。
床下防湿措置等	
床下地盤面の防湿措置 防湿方法	防湿方法を選択します。
床下換気措置	換気措置を選択します。
基礎断熱工法	基礎断熱工法の場合は選択します。

小屋裏換気	
小屋裏換気の措置	換気措置を選択します。
その他の構造部材	構造部材が記載の建築基準法施行令に該当する場合は選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

4.3.2 木造軸組・枠組壁工法

木造軸組・枠組壁工法の場合は、この画面で入力します。

入力項目

項目	説明
認定書等	
認定書等の活用	認定書等(品確法)の活用して申請する場合は選択します。
認定方法	認定書等を活用する場合に、認定方法を選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
等級	劣化対策等級を選択します。
外壁の軸組等	
外壁の構造等	項目を選択します。
「外壁通気構造等」を選択した場合	
柱	柱の材質を選択します。
軸材下地材	軸材の下地材を選択します。
合板	合板の種類を選択します。
土台	
防腐・防蟻処理	防腐・防蟻処理を選択します。

浴室・脱衣室の防水	
浴室	防水上の措置を選択します。
脱衣室	防水上の措置を選択します。
地盤	
防蟻措置	防蟻措置を選択します。
基礎高さ	
地面からの高さ	地面から基礎上端までが 400mm 以上である場合は選択します。
床下防湿措置等	
床下地盤面の防湿措置 防湿方法	防湿方法を選択します。
床下換気措置 換気措置	換気措置を選択します。
基礎断熱工法	基礎断熱工法の場合は選択します。
小屋裏換気	
小屋裏換気の措置	換気措置を選択します。
その他の構造部材	構造部材が記載の建築基準法施行令に該当する場合は選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

4.3.3 鉄骨造

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ 操作方法の表示

表示事項

- 1-1～1-7 構造の安定
- 2-5、2-6 耐火等級
- 3-1 劣化対策等級(構造躯体等)**
- 4-2 維持管理対策等級(共用配管)
- 4-3 更新対策(共用排水管)

3-1 劣化対策等級(構造躯体等)

記載図書

- ☐ 仕様書 ☐ 矩計図
- ☐ 立面図 ☐ 構造図

その他 1.

2.

3.

鉄骨造

3-1 劣化対策等級(構造躯体等) 鉄骨造

認定書等

☐ 認定書等(品確法)の活用

認定方法: ☐ 製造者認証 ☐ 型式認定 ☐ 特別評価方法認定

認定番号:

等級

☒ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

構造躯体

鋼材の厚さ(最小)

- ・一般部:
 - ☐ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている
 - ☐ その他
- ・柱脚部: ※地階を除く最下階の柱脚部が対象
 - ☐ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている
 - ☐ その他
- ・その他: ※柱・梁・筋かい以外の部分に使用されている鋼材
 - ☐ 鋼材の厚さに応じた防錆措置が講じられている
 - ☐ その他

床下防湿措置等

床下地盤面の防湿措置

防湿方法: ☐ コンクリート ☐ 防湿フィルム ☐ その他

鉄骨造の場合は、この画面で入力します。

入力項目は「鉄筋コンクリート造等」の鉄骨造と同様です。(「4.3.1 ②鉄骨造」を参照)

4.4 維持管理対策等級(共用配管)(住棟)



住棟の共用配管の維持管理対策について、設計内容説明書および自己評価書を作成します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ

操作方法的表示

表示事項

1-1～1-7 構造の安定

2-5、2-6 耐火等級

3-1 劣化対策等級(構造躯体等)

4-2 維持管理対策等級(共用配管)

4-3 更新対策(共用排水管)

4-2 維持管理対策等級(共用配管)

記載図書

仕様書

配置図

平面図

矩計図

構造図

設備図

その他

1.

2.

3.

4-2 維持管理対策等級(共用配管)

☐ 該当なし

等級

☒ 等級3
☐ 等級2
☐ 等級1

共用配管

☐ コンクリート内への埋め込み無し(モルタル、コンクリートブロックを含む)

地中埋設管

☐ 配管上のコンクリート打設無し

共用排水管

排水管の清掃措置

共用立管の清掃口:

☐ 屋上階又は最上階、最下階及び8階以内おきの中間階又は15m以内毎に設置

横主管の清掃口:

☐ 15m以内毎に設置(清掃に支障が生じる場合を除く)

配管点検口

主要接合部等の点検措置:

☐ 給水管、排水管、給湯管及びガス管の主要接合部等の点検措置等の確保

排水管の性状等

内面の仕様:

☐ 排水管の内面が平滑である

設置状態:

☐ たわみ、抜け等が生じないように設置

横主管の設置位置

入力項目

項目	説明
4-2 維持管理対策等級(共用配管)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	維持管理対策の自己評価等級を選択します。
共用配管	
コンクリート内への埋め込み無し	給水管などのコンクリート内へ埋め込みが無い場合は選択します。
地中埋設管	
コンクリート打設無し	給水管などの上にコンクリート打設が無い場合は選択します。
共用排水管 排水管の清掃措置	
共用立管の清掃口	清掃口が適切に設置されている場合は選択します。
横主管の清掃口	清掃口が適切に設置されている場合は選択します。
配管点検口	

主要接合部等の点検措置	給水管などの主要接合部の点検措置が確保されている場合は選択します。
排水管の性状等	
内面の仕様	排水管の内面が平滑な場合は選択します。
設置状態	排水管にたわみ、抜け等生じない状態の場合は選択します。
横主管の設置位置	
設置位置	給水管などの横主管が共用部に設けられている場合は選択します。
到達経路	人通孔などによる到達経路が設けられている場合は選択します。
配管補修の措置	
設置位置	専用部に立ち入らずに補修できる措置が設けられている場合は選択します。
補修措置	構造躯体や仕上げ材に影響なく補修できる措置が設けられている場合は選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

4.5 更新対策(共用排水管)(住棟)



住棟の共用排水管の更新対策について、設計内容説明書および自己評価書を作成します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ

操作方法的表示

表示事項

1-1~1-7 構造の安定

2-5、2-6 耐火等級

3-1 劣化対策等級(構造躯体等)

4-2 維持管理対策等級(共用配管)

4-3 更新対策(共用排水管)

4-3 更新対策(共用排水管)

記載図書

☐ 仕様書

☐ 配置図

☐ 平面図

☐ 矩計図

☐ 構造図

☐ 設備図

その他

1.

2.

3.

4-3 更新対策(共用排水管)

☐ 該当なし

等級

☒ 等級3

☐ 等級2

☐ 等級1

共用排水管

☐ コンクリート内への埋め込み無し(モルタル、コンクリートブロックを含む)

地中埋設管

☐ 配管上のコンクリート打設無し

横主管の設置位置等

☐ 排水横主管が共用部に設けられている

☐ 人通孔その他人が到達できる経路が設けられている(仕上材等の軽微な除去により到達可能なものを含む)

排水管の設置位置

☐ 専用部分に立ち入らないで更新できる位置に露出又は更新が行える開口を持つPSに設置(仕上材等の軽微な除去により更新可能なものを含む)

更新のための措置

更新措置

☐ 切断工事等軽減措置

☐ 増設更新対応措置

複数選択可

共用排水立管の位置

入力項目

項目	説明
4-3 更新対策(共用排水管)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	更新対策の自己評価等級を選択します。
共用排水管	
コンクリート内への埋め込み無し	排水管のコンクリート内へ埋め込み無しの場合は選択します。
地中埋設管	
コンクリート打設なし	排水管上にコンクリート打設無しの場合は選択します。
横主管の設置位置等	
排水横主管が共用部に設けられている	該当する場合は選択します。

人通孔その他人が到達できる経路が設けられている	該当する場合は選択します。
排水管の設置位置	該当する場合は選択します。
更新のための措置	
切断工事等軽減措置	切断工事等に軽減措置が設けられている場合は選択します。
増設更新対策対応措置	増設更新に対応措置が設けられている場合は選択します。
共用排水立管の位置	
共用排水立管の位置	該当する項目を選択します。(複数選択可)。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

4.6 地盤の液状化に関する情報提供



地盤の液状化に関する情報について提供する情報内容を入力し、申出書を作成します。

入力項目

項目	説明
(イ)広域的情報	
液状化マップ	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
液状化に関する表記	「液状化マップ」情報に関する表記事項を入力します。
備考・出典	表題情報に関する添付資料の有無を選択します。
	表題情報に関する備考、および添付資料の出典等をを入力します。
液状化履歴に関する情報	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
住宅敷地周辺の 液状化履歴	住宅敷地周辺の液状化履歴の有無を選択します。
備考・出典	表題情報に関する添付資料の有無を選択します。
	表題情報に関する備考、および添付資料の出典等をを入力します

地形分類	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
該当する地形名称	対象地盤の地形分類名称を入力します。
備考・出典	表題情報に関する添付資料の有無を選択します。
	表題情報に関する備考、および添付資料の出典等をを入力します。
その他土地利用履歴に関する資料	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
旧土地利用	土地が利用されていた形態を「水田」「池沼・川」「海」「その他」から選択します。 ※「その他」の場合は内容を記入します。
備考・出典	表題情報に関する添付資料の有無を選択します。
	表題情報に関する備考、および添付資料の出典等をを入力します。
(ロ)個別の住宅敷地の情報	
敷地の地盤調査の記録	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
地盤調査 方法	実施した地盤調査の方法を記入します。
地盤調査 仕様	実施した地盤調査の仕様を記入します。
試料採取	試料採取の有無を選択します。
備考	表題情報に関する備考を記入します。
地下水位の情報	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
地下水位	地下水位の測定値を記入します。
測定方法	実施した地下水位の測定方法を記入します。
備考	表題情報に関する備考を記入します。
地盤調査から得た液状化に関する指標	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」から選択します。
指標・備考	液状化に関する指標、および備考を記入します。
宅地造成工事の記録	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
造成図面	造成図面の有無を選択します。
備考	表題情報に関する備考を記入します。
液状化に関連して行う地盤に関する工事の記録・計画	
情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。

工法分類	表題工事の工法分類名を記入します。
工法名称	表題工事の工法名称を記入します。
施工時期	表題工事の施工時期を記入します。
工事内容	表題工事の内容を記入します。
工事報告書	表題工事の報告書の有無を選択します。
備考	表題工事に関する備考を記入します。

その他地盤に関する工事の記録・計画

情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「不明」から選択します。
工法分類	表題工事の工法分類名を記入します。
工法名称	表題工事の工法名称を記入します。
施工時期	表題工事の施工時期を記入します。
工事内容	表題工事の内容を記入します。
工事報告書	表題工事の報告書の有無を選択します。
備考	表題工事に関する備考を記入します。

(ハ)液状化に関する当該住宅基礎等における工事の情報

液状化に関連して行う住宅基礎等に関する工事の記録・計画

情報の有無	表題情報の有無を「有」「無」「未定」から選択します。
工法分類	表題工事の工法分類名を記入します。
工法名称	表題工事の工法名称を記入します。
施工時期	表題工事の施工時期を記入します。
工事内容	表題工事の内容を記入します。
備考	表題工事に関する備考を記入します。

5 設計内容説明書(住戸)

住戸グループごとに設計内容説明書および自己評価書を作成します。

グループ分類

火災時の安全(住戸)

維持管理対策等級(専用配管)

更新対策(住戸)

温熱環境

空気環境

光・視環境

高齢者等への配慮(専用部分)

高齢者等への配慮(共用部分)

防犯

音環境

5.1 グループ分類

5.1.1 グループ分けの概要

本プログラムでは、各評価の表示事項ごとに設計内容が同じ住戸についてまとめて入力を行っていきます。(グループ分類入力)

ある住戸の設計内容について入力後、同じ内容の住戸を住戸構成図上で選択して色分けすることでグループ分けを進めていきます。

グループ分け(色分け)された住戸構成図を、「グループ分類図」と呼びます。

5.1.2 グループ分けの手順

	601	602	603	604	EVホール	605
6F ▽	A	B	BB	C		D
5F ▽	501	502	503	504	EVホール	505
	A	B	BB	C		D
4F ▽	401	402	403	404	EVホール	405
	A	B	BB	C		D
3F ▽	301	302	303	304	EVホール	305
	A	B	BB	C		D
2F ▽	201	202	203	204	EVホール	吹抜け
	A	B	BB	C		
1F ▽	駐車場	駐車場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

住戸の設計内容の入力は各評価の表示事項ごとに行います。

※上の画面イメージでは、「火災時の安全に関すること」の表示事項「避難安全対策(排煙形式)」と「避難安全対策(平面形状)」で入力項目が分かれています。

入力手順

- 1) 表示事項の設計内容について入力
- 2) グループ No.と設計内容の要約の確認・編集
- 3) 住戸構成図上で該当する住戸を選択

2-3 避難安全対策(平面形状)

新しい設計内容を入力してください。

該当なし

平面形状

☒ 通常の
☐ 直通避難
☐ その他

耐火等級(避難)

等級
☐ 等級3
☐ 令第1
☐ 建築物
☐ その他

避難安全対策(平面形状) 図書(全グループ共通)
地上表
F面図
器具表
色の記載図書

選択してください。

新規グループの割り当て

以下の内容で登録します。

グループNo: 1

設計内容の要約: 2方向避難

このグループに属する住戸

全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

※住戸の割り当ては後からでも行えます。

OK キャンセル

グループ分類図

全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

設計内容の要約
登録されていません

グループ分類図

全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

グループ 設計内容の要約

1	2方向避難
---	-------

グループの並び替え

異なる設計内容を続けて登録するには、1)～3)を繰り返します。

2-3 避難安全対策(平面形状)

新しい設計内容を入力してください。

該当なし

平面形状

☐ 通常の
☒ 直通避難
☐ その他

耐火等級(避難)

等級
☐ 等級3
☐ 令第1
☐ 建築物
☐ その他

避難安全対策(平面形状) 図書(全グループ共通)
地上表
F面図
器具表
色の記載図書

選択してください。

新規グループの割り当て

以下の内容で登録します。

グループNo: 2

設計内容の要約: 他住戸等なし

このグループに属する住戸

全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

※住戸の割り当ては後からでも行えます。

OK キャンセル

グループ分類図

全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

設計内容の要約
登録されていません

グループ分類図

全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

グループ 設計内容の要約

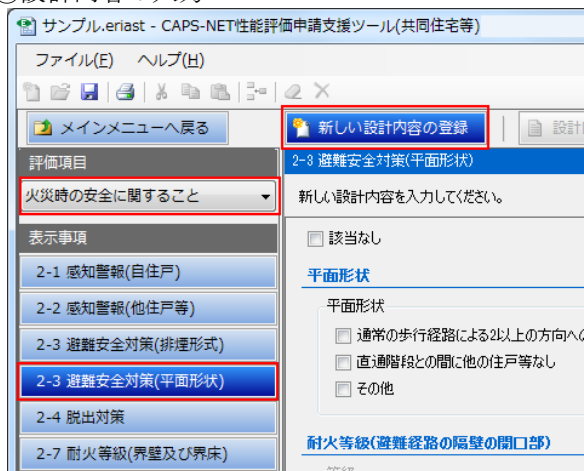
1	2方向避難
2	他住戸等なし

グループの並び替え

5.1.3 新しい設計内容の登録

「火災時の安全」-「2-3 避難安全(平面形状)」を例に挙げ、新しい設計内容の登録について詳しく説明します。

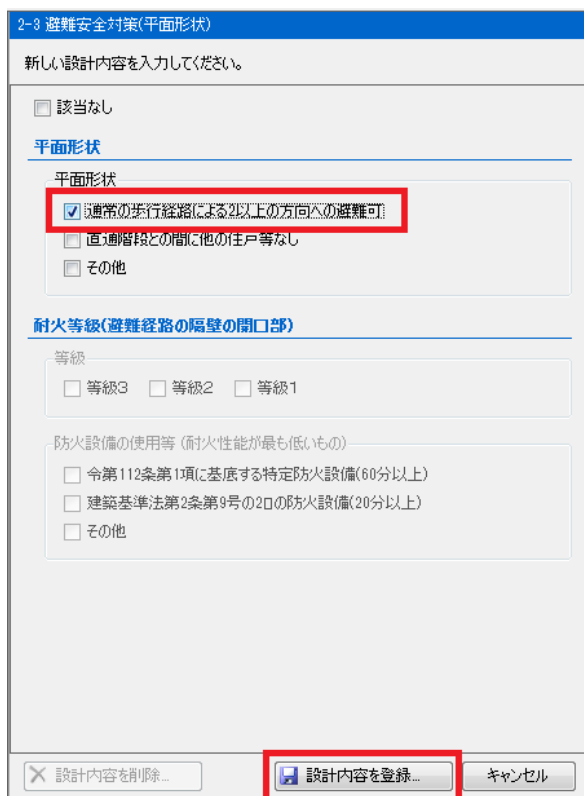
①設計内容の入力



- 1) メインメニューで設計内容説明書(住戸)の「火災時の安全」を選択します。
※評価項目選択プルダウンリストからも選択することができます。

- 2) 設計内容説明書入力画面の表示事項で「2-3 避難安全(平面形状)」を選択します。

- 3) 「新しい設計内容の登録」を選択します。



- 4) 平面形状で「通常の歩行経路による2以上の方向へ避難可」を選択します。

- 5)  ボタンをクリックします。

②グループ No.の登録

新規グループの割り当て

以下の内容で登録します。

グループNo.: **1**

設計内容の要約:

このグループに属する住戸

全体表示

6F ▾	601 C	602 C	603 C	604 C	605 C
	501 B	502 B	503 B	504 B	505 B
5F ▾	401 B	402 B	403 B	404 B	405 B
4F ▾	301 B	302 B	303 B	304 B	305 B
3F ▾	201 B	202 B	203 B	204 B	205 B
2F ▾	101 A	102 A	103 A	104 A	105 A
1F ▾					
B1F ▾	駐車場				

※住戸の割り当ては後からでも行えます。

OK キャンセル

6) [新規グループの割り当て]ウィンドウが表示されます。

この時、「3.2 住戸ごとの性能表示項目選択」で「2-3 避難安全対策」をチェックした住戸のみに設計内容を割り当てる事ができます。

(右図では 101～105、301、305 号室)

割り当てできない住戸は、グレーで塗り潰されています。

7) グループ No.は「1」、設計内容の要約は「2 方向避難」と表示されます。

※項目により要約の初期値が表示されますが、変更することも可能です。

8) 住戸構成図で、この設計内容に合致する住戸セルをドラッグして選択します。

9) **OK** をクリックすると、住戸構成図に「グループ1」が色分けされ、設計内容の要約もリストに追加されます。

10) 住戸構成図に「グループ1」が色分けされ、設計内容の要約もリストに追加されました。

グループ分類図

全体表示

6F ▾	601 C	602 C	603 C	604 C	605 C
	501 B	502 B	503 B	504 B	505 B
5F ▾	401 B	402 B	403 B	404 B	405 B
4F ▾	301 B	302 B	303 B	304 B	305 B
3F ▾	201 B	202 B	203 B	204 B	205 B
2F ▾	101 A	102 A	103 A	104 A	105 A
1F ▾					
B1F ▾	駐車場				

グループ	設計内容の要約
1	2方向避難

③続けて入力する場合

2-8 避難安全対策(平面形状)

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

平面形状

平面形状

☐ 通常の歩行経路による2以上の方向への避難可

☒ 直通階段との間に他の住戸等なし

☐ その他

耐火等級(避難経路の隔壁の開口部)

等級

☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

防火設備の使用等(耐火性能が最も低いもの)

☐ 令第112条第1項に基底する特定防火設備(60分以上)

☐ 建築基準法第2条第9号の2口の防火設備(20分以上)

☐ その他

1) 平面形状で「直通階段との間に他の住戸等なし」を選択します。

2) ボタンをクリックします。

新規グループの割り当て

以下の内容で登録します。

グループNo:

設計内容の要約:

このグループに属する住戸

全体表示

6F ▾	601 C	602 C	603 C	604 C	605 C
5F ▾	501 B	502 B	503 B	504 B	505 B
4F ▾	401 B	402 B	403 B	404 B	405 B
3F ▾	301 B	302 B	303 B	304 B	305 B
2F ▾	201 B	202 B	203 B	204 B	205 B
1F ▾	101 A	102 A	103 A	104 A	105 A
B1F ▾	駐車場				

※住戸の割り当ては後からでも行えます。

3) [新規グループの割り当て]ウィンドウが表示されます。

4) グループ No.は「2」、設計内容の要約は「他住戸なし」と表示されます。

5) をクリックすると、住戸構成図に「グループ2」が追加されます。

グループ分類図

全体表示

	601	602	603	604	605
6F ▾	C	C	C	C	C
	501	502	503	504	505
5F ▾	B	B	B	B	B
	401	402	403	404	405
4F ▾	B	B	B	B	B
	301	302	303	304	305
3F ▾	B	B	B	B	B
	201	202	203	204	205
2F ▾	B	B	B	B	B
	101	102	103	104	105
1F ▾	A	A	A	A	A
B1F ▾	駐車場				

グループ 設計内容の要約

1	2方向避難
2	他住戸等なし

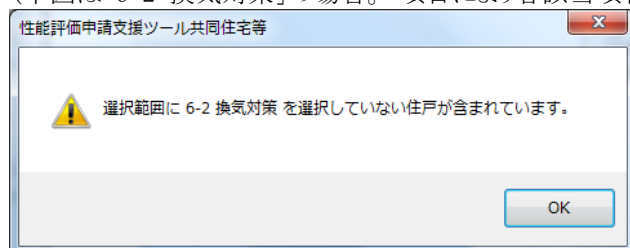
6) 住戸構成図に「グループ 2」が色分けされ、設計内容の要約もリストに追加されます。

参考:

上記設定時の「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」:「2-3 避難安全対策」の選択状態

住戸番号	タイプ名	2-1 感知警報(住戸)	2-2 感知警報(他住戸等)	2-3 避難安全対策	2-4 脱出対策	2-5 耐震及床
101	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
102	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
103	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
104	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
105	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
202	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
203	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
204	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
205	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
301	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
302	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
303	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
304	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
305	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
401	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
402	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
403	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
404	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
405	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
501	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
502	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

また、項目未選択の住戸に対して設計内容を割り当てようとした場合、以下のエラーを表示します。
(下図は「6-2 換気対策」の場合。項目により各該当項目名を表示します。)



5.1.4 設計内容の確認・変更

新しい設計内容の登録 | **設計内容の確認・変更** | グループ割り当ての変更 | 分類図 | 操作方法の表示

2-3 避難安全対策(平面形状)

グループ: 1 | 設計内容の要約: 2方向避難

☐ 該当なし

平面形状

☒ 通常の歩行経路による2以上の方向への避難可
☐ 直通階段との間に他の住戸等なし
☐ その他

耐火等級(避難経路の隔壁の開口部)

等級
☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

防火設備の使用等(耐火性能が最も低いもの)
☐ 令第112条第1項に基拠する特定防火設備(60分以上)
☐ 建築基準法第2条第9号の2の防火設備(20分以上)
☐ その他

グループ分類図

	601	602	603	604	605
6F ▾	A	B	BB	C	D
5F ▾	A	B	BB	C	D
4F ▾	A	B	BB	C	D
3F ▾	A	B	BB	C	D
2F ▾	A	B	BB	C	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール

グループ 設計内容の要約

グループ	設計内容の要約
1	2方向避難
2	他住戸等なし

設計内容を削除... | 変更内容を保存... | キャンセル | グループの並び替え...

[設計内容の確認・変更]ボタンをクリックすると、登録済みの設計内容が表示され、変更や削除を行うことができます。

- 1) 先頭行に「グループ: 1」が表示されますので、変更したいグループ番号を選択します。
- 2) 選択したグループの設計内容が表示されますので、内容を変更します。
- 3) ボタンをクリックすると、「新しい設計内容の登録」と同様に[上書き保存の確認]ウィンドウが表示されますので、 ボタンをクリックすると上書き登録が完了します。
要約や選択住戸の変更の他、追加で住戸を割り当てることもできます。

また、評価機関で受付番号を設定して返却された物件ファイルでは、修正履歴(7. 2. 2参照)に表示する「変更理由」の入力ウィンドウが表示されますので、項目を選択(その他の場合は任意入力)して「OK」ボタンをクリックすると上書き登録が完了します。

変更理由の確認

修正履歴に表示する変更理由を選択してください。

☒ 入力ミスの修正
☐ 設計変更による修正
☐ その他

OK | キャンセル

上書き保存の確認

以下の内容で上書き保存します。

グループNo: 1

設計内容の要約: (変更前) 2方向避難
(変更後) 2方向避難

このグループに属する住戸

	601	602	603	604	605
6F ▾	A	B	BB	C	D
5F ▾	A	B	BB	C	D
4F ▾	A	B	BB	C	D
3F ▾	A	B	BB	C	D
2F ▾	A	B	BB	C	吹抜け
1F ▾	駐輪場	駐輪場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール

※住戸の割り当ては後からでも行えます。

OK | キャンセル

- 4) ボタンをクリックすると、表示されているグループを削除することができます。

5.1.5 グループ割り当ての変更



[グループ割り当ての変更]ボタンをクリックすると、グループ分類図が画面中央に、グループの設計内容の要約が右側に大きく表示されます。

住戸構成図を画面中央に大きく表示しながら、グループ分類のみを行うことができます。

※設計内容の登録、確認・変更はできません。

※4-4更新対策(住戸)、7-1・7-2(光・視環境)では選択できません。

グループ分類図操作ツール

項目		説明
	表示倍率	住戸構成図の表示倍率を指定します。リストから選択するか、直接数値を入力することができます。
	拡大	表示中の住戸構成図を1段階拡大表示します。
	縮小	表示中の住戸構成図を1段階縮小表示します。
	全住戸を選択	全住戸を選択します。
	選択したグループを住戸に割り当てる	住戸構成図で選択されている住戸に対し、表示されているグループ番号を割り当てます。
	グループ割当を解除	住戸構成図で選択されている住戸について、グループ番号(の色塗り)を解除します。

グループの設計内容ウィンドウ操作ツール

項目	説明
----	----

グループの並び替え...

グループの並び替え

設計内容リストに表示されているグループの表示順を変更します。

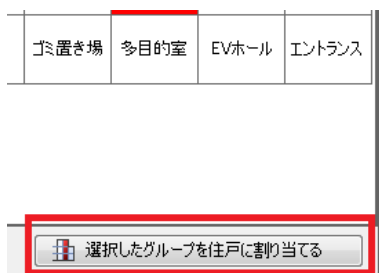
グループ割り当ての変更手順



- 1) グループ1と同一の設計内容(2 方向避難)の住戸セルをドラッグして選択します。



- 2) グループの設計内容の要約を確認しながら、グループ No.1を選択します。



- 3) [選択したグループを住戸の割り当てる]ボタンをクリックします。



- 4) 選択した住戸のセルが、グループ1の色で塗りつぶされます。

5.2 火災時の安全（住戸）



※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」において[2-1 感知警報...]～[2-4 脱出対策]、[2-7 耐火等級...]全ての項目を全住戸で未選択とした場合はボタンが無効になり、本画面が呼び出せません。

住戸の火災時の安全対策について、住戸グループごとに設計内容を入力します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

メインメニューへ戻る 新しい設計内容の登録 設計内容の確認・変更 グループ割り当ての変更 分類図 操作方法的表示

評価項目
火災時の安全に関すること

表示事項
2-1 感知警報(住戸)
2-2 感知警報(他住戸等)
2-3 避難安全対策(排煙形式)
2-3 避難安全対策(平面形状)
2-4 脱出対策
2-7 耐火等級(界壁及び界床)

2-3 避難安全対策(平面形状)
記載図書(全グループ共通)
☐ 仕上表
☐ 平面図
☐ 建具表
その他の記載図書
1.
2.
3.

2-3 避難安全対策(平面形状)
新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

平面形状
☐ 通常の歩行経路による2以上の方向への避難可
☐ 直通階段との間に他の住戸等なし
☐ その他

耐火等級(避難経路の隔壁の開口部)
等級
☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1
防火設備の使用等(耐火性能が最も低いもの)
☐ 令第112条第1項に基座する特定防火設備(60分以上)
☐ 建築基準法第2条第9号の2口の防火設備(20分以上)
☐ その他

グループ分類図
全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐車場	駐車場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

グループ 設計内容の要約
設計内容が登録されていません

設計内容を削除... 設計内容を登録... キャンセル

ツールボタン

項目	説明
メインメニューへ戻る	設計内容説明書の入力を終了し、メインメニューに戻ります。
新しい設計内容の登録	新しい設計内容を登録する時に選択します。 初期値としてこのボタンが選択されていて、新しい設計内容のグループを登録するモードになっています。
設計内容の確認・変更	登録済みのグループの設計内容を変更します。
グループ割り当ての変更	登録済みのグループに住戸セルを追加したり、住戸の所属グループを変更します。
分類図	登録済みのグループ分類図を「表示から非表示へ」、または「非表示から表示へ」と画面切り替えます。
操作方法的表示	この画面の「操作方法」(ヘルプ)を表示します。

項目選択メニュー

設計内容説明書の「火災時の安全に関すること」について、必要な入力項目が表示されます。

※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」で全住戸が未選択の項目はメニューボタンが無効になり、設計内容登録画面は呼び出せません。

5.2.1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)

入力項目

項目	説明
2-1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)	
等級	感知警報装置設置等級を選択します。
感知部分	
種類	感知警報装置の種類を選択します。

設置場所	感知器の設置場所を選択します。
種別・感度	消防法に定める基準に適合している場合は選択します。
取付け位置	消防法に定める基準に適合している場合は選択します。
警報部分	
設置場所	設置場所の場合は選択します。
音響性能	音響性能を選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.2.2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)

評価項目 火災時の安全に関すること 表示事項 2-1 感知警報(自住戸) 2-2 感知警報(他住戸等) 2-3 避難安全対策(排煙形式) 2-3 避難安全対策(平面形状) 2-4 脱出対策 2-7 耐火等級(界壁及び界床) 2-2 感知警報(他住戸等) 記載図書(全グループ共通) <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 設備図 その他の記載図書 1. <input type="text"/> 2. <input type="text"/> 3. <input type="text"/>	2-2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時) 新しい設計内容を入力してください。 <input type="checkbox"/> 該当なし ※同一階等(評価対象住戸と同一階及び直下の階)に他住戸等がない場 等級 <input checked="" type="checkbox"/> 等級4 <input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 感知警報装置 種類 <input type="checkbox"/> 共同住宅用自動火災報知設備又は同等品(自動火災報知設備) <input type="checkbox"/> 住宅用自動火災報知設備 + 共同住宅用非常警報設備(自動鳴動) 設置場所 <input type="checkbox"/> 当該階及び直下の階 <input type="checkbox"/> その他(階段室型住戸等) <input type="button" value="設計内容を削除..."/> <input type="button" value="設計内容を登録..."/> <input type="button" value="キャンセル"/>
--	--

入力項目

項目	説明
2-2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。 3.1 住戸構成図の作成の階の設定で、避難階と設定した階にある住戸は、自動で該当なしグループに分類されます。グループ割り当てを解除することもできます。
等級	感知警報装置設置等級を選択します。
感知警報装置	
種類	感知警報装置の種類を選択します。
設置場所	感知警報装置の設置場所を選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.2.3 避難安全対策(排煙形式)

評価項目

火災時の安全に関すること

表示事項

2-1 感知警報(自住戸)

2-2 感知警報(他住戸等)

2-3 避難安全対策(排煙形式)

2-3 避難安全対策(平面形状)

2-4 脱出対策

2-7 耐火等級(界壁及び界床)

2-3 避難安全対策(排煙形式)

記載図書(全グループ共通)

☐ 仕上表
☐ 平面図
 その他の記載図書
 1.
 2.
 3.

2-3 避難安全対策(排煙形式)

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし ※同一階等(評価対象住戸と同一階及び直下の階)に他住戸等がない場

排煙形式

☐ 開放型廊下
☐ 自然排煙(令第126条の3第1項各号)
☐ 機械排煙(一般)
☐ 機械排煙(加圧式)
☐ その他

入力項目

項目	説明
2-3 避難安全対策(排煙形式)	
該当なし	<p>該当なしの場合は選択します。</p> <p>3.1 住戸構成図の作成の階の設定で、避難階と設定した階にある住戸は、自動で該当なしグループに分類されます。グループ割り当てを解除することもできます。</p>
排煙形式	
排煙形式	排煙形式を選択します。
記載図書	<p>提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。</p> <p>その他の記載図書は3つまで入力可能です。</p>

5.2.4 避難安全対策(平面形状)

<div>評価項目</div> <div>火災時の安全に関すること</div> <div>表示事項</div> <div>2-1 感知警報(自住戸)</div> <div>2-2 感知警報(他住戸等)</div> <div>2-3 避難安全対策(排煙形式)</div> <div>2-3 避難安全対策(平面形状)</div> <div>2-4 脱出対策</div> <div>2-7 耐火等級(界壁及び界床)</div> <div>2-3 避難安全対策(平面形状)</div> <div>記載図書(全グループ共通)</div> <div> <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 建具表 その他の記載図書 1. <input type="text"/> 2. <input type="text"/> 3. <input type="text"/> </div>	<div>2-3 避難安全対策(平面形状)</div> <div>新しい設計内容を入力してください。</div> <div> <input type="checkbox"/> 該当なし </div> <div>平面形状</div> <div> <input type="checkbox"/> 通常の歩行経路による2以上の方向への避難可 <input type="checkbox"/> 直通階段との間に他の住戸等なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 </div> <div>耐火等級(避難経路の隔壁の開口部)</div> <div> 等級 <input checked="" type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 </div> <div> 防火設備の使用等(耐火性能が最も低いもの) <input type="checkbox"/> 令第112条第1項に基底する特定防火設備(60分以上) <input type="checkbox"/> 建築基準法第2条第9号の2の防火設備(20分以上) <input type="checkbox"/> その他 </div> <div> <input type="button" value="設計内容を削除..."/> <input type="button" value="設計内容を登録..."/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div>
---	---

入力項目

項目	説明
2-3 避難安全対策(平面形状)	
該当なし	<p>該当なしの場合は選択します。</p> <p>3.1 住戸構成図の作成の階の設定で、避難階と設定した階にある住戸は、自動で該当なしグループに分類されます。グループ割り当てを解除することもできます。</p>
平面形状	
平面形状	平面形状を選択します。
耐火等級(避難経路の隔離の開口部)	
※「平面形状」で”その他”を選択した場合のみ入力します。	
等級	耐火等級を選択します。
防火設備の使用等	防火設備を選択します。
記載図書	<p>提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。</p> <p>その他の記載図書は3つまで入力可能です。</p>

5.2.5 脱出対策

評価項目

火災時の安全に関すること

表示事項

2-1 感知警報(自住戸)

2-2 感知警報(他住戸等)

2-3 避難安全対策(排煙形式)

2-3 避難安全対策(平面形状)

2-4 脱出対策

2-7 耐火等級(界壁及び界床)

2-4 脱出対策

記載図書(全グループ共通)

☐ 仕上表
☐ 平面図

その他の記載図書

1.

2.

3.

2-4 脱出対策

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

脱出対策

バルコニー

☐ 直通階段に直接通ずるバルコニー
☐ 隣戸に通ずるバルコニー

避難器具:

☐ 複数選択可
☐ 滑り棒
☐ 滑り台
☐ 緩降機
☐ 避難用タラップ
☐ 避難ロープ
☐ 避難はしご
☐ 避難橋
☐ 救助袋

☐ その他

1.

2.

3.

4.

5.

入力項目

項目	説明
2-4 脱出対策	
該当なし	<p>該当なしの場合は選択します。</p> <p>3.1 住戸構成図の作成の階の設定で、避難階と設定した階にある住戸は、自動で該当なしグループに分類されます。グループ割り当てを解除することもできます。</p>
脱出対策	
バルコニー	バルコニーを選択します。
避難器具	避難器具を選択します。(複数選択可)
その他	<p>その他の避難器具を入力します。</p> <p>避難器具をプルダウンリストからも選択することができます。</p> <div> 設置なし 地上へ通ずる専用庭 地上へ通ずるバルコニー 地上へ通ずるテラス </div>
記載図書	<p>提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。</p> <p>その他の記載図書は3つまで入力可能です。</p>

5.2.6 耐火等級(界壁及び界床)

評価項目	2-7 耐火等級(界壁及び界床)
火災時の安全に関すること	新しい設計内容を入力してください。
表示事項	<p>界壁の構造等</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし ※界壁、下階界床の有無の修正は「住戸に関する事項」で行います</p> <p>等級</p> <p><input type="checkbox"/> 等級4 <input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1</p> <p>界壁の耐火時間</p> <p><input type="checkbox"/> 60分以上 <input type="checkbox"/> 45分以上 <input type="checkbox"/> 20分以上 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>界床の構造等</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p> <p>等級</p> <p><input type="checkbox"/> 等級4 <input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1</p> <p>界床の耐火時間</p> <p><input type="checkbox"/> 60分以上 <input type="checkbox"/> 45分以上 <input type="checkbox"/> 20分以上 <input type="checkbox"/> その他</p>
2-7 耐火等級(界壁及び界床) 記載図書(全グループ共通)	<p><input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩形図 <input type="checkbox"/> 認定書(基準法)</p> <p>その他の記載図書</p> <p>1. <input type="text"/> 2. <input type="text"/> 3. <input type="text"/></p>
<input type="button" value="設計内容を削除..."/> <input type="button" value="設計内容を登録..."/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

入力項目

項目	説明
2-7 耐火等級(界壁及び界床)	
界壁の構造等	
該当なし	<p>該当なしの場合は選択します。</p> <p>3.1 住戸構成図の作成の住戸に関する事項一覧で、界壁(無)を選択した住戸は、自動で該当なしグループに分類されます。グループ割り当てを解除することもできます。</p>
等級	界壁の耐火等級を選択します。
界壁の耐火時間	耐火時間を選択します。
界床の構造等	
該当なし	<p>該当なしの場合は選択します。</p> <p>3.1 住戸構成図の作成の住戸に関する事項一覧で、界床 下階(無)を選択した住戸は、自動で該当なしグループに分類されます。グループ割り当てを解除することもできます。</p>
等級	下階界床の耐火等級を選択します。
界床の耐火時間	耐火時間を選択します。
記載図書	<p>提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。</p> <p>その他の記載図書は3つまで入力可能です。</p>

5.3 維持管理対策等級(専用配管)



住戸の維持管理対策等級(専用配管)について、住戸グループごとに設計内容説明書および自己評価書を作成します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

メインメニューへ戻る | 新しい設計内容の登録 | 設計内容の確認・変更 | グループ割り当ての変更 | 分類図 | 操作方法の表示

評価項目
維持管理への配慮に関すること

表示事項
4-1 維持管理(専用配管)

4-1 維持管理(専用配管)
記載図書(全グループ共通)

☐ 仕様書
☐ 平面図
☐ 構造図
☐ 設備図
その他の記載図書
1.
2.
3.

4-1 維持管理対策等級(専用配管)
新しい設計内容を入力してください。

等級
☒ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

専用配管
コンクリート内埋込み配管:
☐ 給水管、排水管、給湯管及びガス管のコンクリート内への埋め込み無し(コンクリート内埋込み配管)
他住戸等の専用部内設置:
☐ 給水管、排水管、給湯管及びガス管の他住戸等専用部分内への設置無し

地中埋設管
埋設管上のコンクリート打設:
☐ 給水管、排水管、給湯管及びガス管上のコンクリート打設無し

排水管の性状等
内面の仕様:
☐ 排水管内面が平滑である
設置状態:
☐ たわみ、抜け等が生じないよう設置

グループ分類図
全表示

	601	602	603	604	EVホール	605
6F ▽	A	B	BB	C		D
5F ▽	501	502	503	504	EVホール	505
	A	B	BB	C		D
4F ▽	401	402	403	404	EVホール	405
	A	B	BB	C		D
3F ▽	301	302	303	304	EVホール	305
	A	B	BB	C		D
2F ▽	201	202	203	204	EVホール	吹抜け
	A	B	BB	C		
1F ▽	駐車場	駐車場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

グループ 設計内容の要約
設計内容が登録されていません

設計内容を削除... | 設計内容を登録... | キャンセル

入力項目

項目	説明
4-1 維持管理対策等級(専用配管)	
等級	この評価項目の自己評価等級を選択します。
専用配管	
コンクリート内埋込み配管	コンクリート内に埋設した配管が無い場合は選択します。
他住戸等の専用部内設置	他住戸の専用部内に配管が無い場合は選択します。
地中埋設管	
埋設管上のコンクリート打設	地中埋設管上にコンクリートを打設が無い場合は選択します。
排水管の性状等	
内面の仕様	排水管内面が平滑な場合は選択します。
設置状態	排水管にたわみ、抜け等生じない状態の場合は選択します。
専用排水管	
排水管の清掃措置	便所、その他水廻りに清掃措置が確保されている場合は選択します。
配管点検口	

主要接合部等の点検措置	主要接合部等の点検措置が確保されている場合は選択します。
記載図書	<p>提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。</p> <p>その他の記載図書は3つまで入力可能です。</p>

5.4 更新対策(住戸)



住戸の更新対策について、グループごとに設計内容説明書および自己評価書を作成します。

ソフトウェアのスクリーンショット。メインメニューから「新しい設計内容の登録」を選択し、評価項目として「更新への配慮に関すること」を選択。表示事項として「4-4 更新対策(住戸専用部)」を選択。入力ガイドの表示と入力例(PDF)の表示が有効になっている。中央の表には、グループNo、住戸選択、設計タイプ、層No、階高、躯体天井高、低減値、躯体天井高の各項目があり、1行目が「1 入 住戸...」と入力されている。右側のグループ分類図には、6Fから1Fまでのフロアと、各フロアの住戸番号と設備がリストアップされている。右下のグループ設計内容の要約には「設計内容が登録されていません」と表示されている。

グループNo	住戸選択	設計タイプ	層No (メソネット)	階高 (H)	躯体天井高 (a) 対象住戸床レベル差 [mm]	躯体天井高 (b) 上階床レベル差 [mm]	躯体天井高 (c) 上階床厚 [mm]	躯体天井高 (d) 躯体天井高 [mm]
1	入 住戸...							
2	住戸...							
3	住戸...							
4	住戸...							
5	住戸...							
6	住戸...							
7	住戸...							
8	住戸...							
9	住戸...							
10	住戸...							
11	住戸...							
12	住戸...							
13	住戸...							

項目選択メニュー

評価項目
更新への配慮に関すること

表示事項
4-4 更新対策(住戸専用部)

入力ガイドの表示

設計内容説明書の「更新への配慮に関すること」について、必要な入力項目が表示されます。

入力手順

- 1) 「新しい設計内容の登録」を選択
- 2) グループ「入力中」の行で、「住戸...」を選択し入力する住戸を選択
- 3) 階高、躯体天井高を入力
- 4) 設計内容の登録(グループの割り当て)

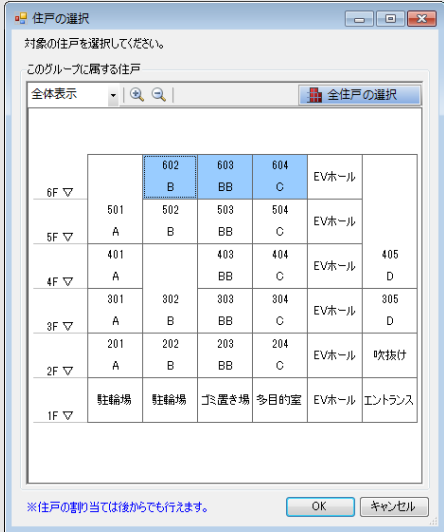
更新対策のグルーピングについて

更新対策では入力した結果、以下の項目が同じ内容だった場合に同じグループとみなします。

- ・ 躯体天井高表示値

- ・ 最も低い部分 内法高さ表示値
- ・ 最も低い部位 梁、傾斜屋根、その他
- ・ 住戸専用部 壁・柱の有無

入力項目

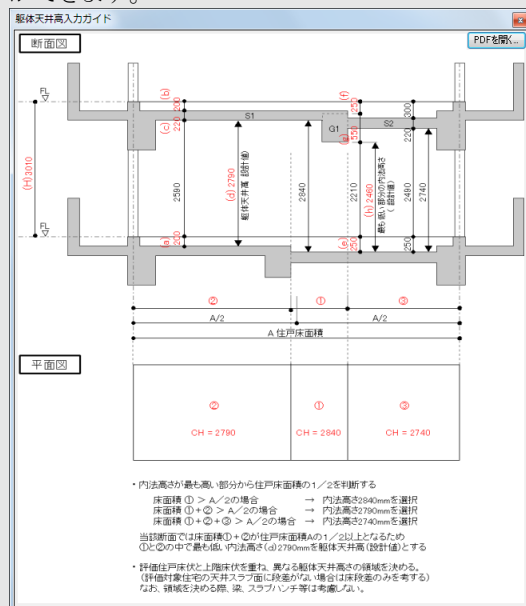
項目	説明																																																																																												
4-4 更新対策(住戸専用部)																																																																																													
躯体天井高 低減値	躯体天井高における設計値と表示値との寸法差(低減値)を入力します。																																																																																												
グループ	<p>割り当てられたグループNoとグループ色が表示されます。</p> <p>「入力中」の行には、新しい設計内容を入力します。</p> <table> <tr> <th rowspan="2">No</th><th rowspan="2">グループ</th><th rowspan="2">住戸選択</th><th rowspan="2">設計タイプ</th><th rowspan="2">層数</th><th rowspan="2">(H) 階高 [mm]</th><th colspan="4">躯体天井高</th></tr> <tr> <th>(a) 対象住戸床レベル差 [mm]</th><th>(b) 上階床レベル差 [mm]</th><th>上階スラブ符号</th><th>(c) 上階床厚 [mm]</th><th>(d) 躯体天井高設計値 [mm]</th></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>住戸...</td><td>A</td><td>1</td><td>2960</td><td></td><td></td><td>SR4</td><td>220</td><td>2740</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>住戸...</td><td>B</td><td>1</td><td>2960</td><td></td><td></td><td>SR4</td><td>220</td><td>2740</td></tr> <tr><td>3</td><td>1</td><td>住戸...</td><td>BB</td><td>1</td><td>2960</td><td></td><td></td><td>SR4</td><td>220</td><td>2740</td></tr> <tr><td>4</td><td>2</td><td>住戸...</td><td>C</td><td>1</td><td>2960</td><td></td><td></td><td>SR3</td><td>180</td><td>2780</td></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td>住戸...</td><td>D</td><td>1</td><td>2960</td><td></td><td></td><td>SR5</td><td>180</td><td>2780</td></tr> <tr><td>6</td><td>入力中</td><td>住戸...</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td>住戸...</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	グループ	住戸選択	設計タイプ	層数	(H) 階高 [mm]	躯体天井高				(a) 対象住戸床レベル差 [mm]	(b) 上階床レベル差 [mm]	上階スラブ符号	(c) 上階床厚 [mm]	(d) 躯体天井高設計値 [mm]	1	1	住戸...	A	1	2960			SR4	220	2740	2	1	住戸...	B	1	2960			SR4	220	2740	3	1	住戸...	BB	1	2960			SR4	220	2740	4	2	住戸...	C	1	2960			SR3	180	2780	5	3	住戸...	D	1	2960			SR5	180	2780	6	入力中	住戸...		1							7		住戸...								
No	グループ							住戸選択	設計タイプ	層数	(H) 階高 [mm]	躯体天井高																																																																																	
		(a) 対象住戸床レベル差 [mm]	(b) 上階床レベル差 [mm]	上階スラブ符号	(c) 上階床厚 [mm]	(d) 躯体天井高設計値 [mm]																																																																																							
1	1	住戸...	A	1	2960			SR4	220	2740																																																																																			
2	1	住戸...	B	1	2960			SR4	220	2740																																																																																			
3	1	住戸...	BB	1	2960			SR4	220	2740																																																																																			
4	2	住戸...	C	1	2960			SR3	180	2780																																																																																			
5	3	住戸...	D	1	2960			SR5	180	2780																																																																																			
6	入力中	住戸...		1																																																																																									
7		住戸...																																																																																											
住戸選択	<p>住戸... ボタンをクリックすると、[住戸の選択]ウィンドウが表示されます。</p>  <p>このウィンドで、住戸を選択し、「OK」をクリックします。</p> <p>※住戸の割り当ては後からでも行えます。</p>																																																																																												
設計タイプ	<p>選択した住戸の設計タイプが表示されます。</p> <table> <tr> <th>No</th><th>グループ</th><th>住戸選択</th><th>設計タイプ</th><th>層数</th><th>(H) 階高 [mm]</th></tr> <tr> <td>1</td><td>入力中</td><td>住戸...</td><td>A,B</td><td>1</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td>住戸...</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	グループ	住戸選択	設計タイプ	層数	(H) 階高 [mm]	1	入力中	住戸...	A,B	1		2		住戸...																																																																													
No	グループ	住戸選択	設計タイプ	層数	(H) 階高 [mm]																																																																																								
1	入力中	住戸...	A,B	1																																																																																									
2		住戸...																																																																																											
層数	層数が表示されます。メゾネットの場合は2層、3層と表示されます。																																																																																												

階高	階高を入力します。[mm]
躯体天井高	
対象住戸床レベル差	対象住戸の床が階床の基準高さと異なる場合に入力します。[mm]
上階床レベル差	上階の床が階床の基準高さと異なる場合に入力します。[mm]
上階スラブ符号	上階の床スラブが躯体天井高の対象になる場合にその符号を入力します。
上階床厚	上階の床スラブが躯体天井高の対象になる場合にその厚さを入力します。[mm]
躯体天井高 設計値	躯体天井高 設計値を入力します。[mm]
低減値	躯体天井高について、設計値と表示値との寸法差を入力します。[mm]
躯体天井高 表示値	「躯体天井 高設計値－低減値」の値が表示されます。[mm]
最も低い部分の室	
(最も低い部分の空間の内法高さ ※躯体天井高より低い部分が無い場合は記入しません。)	
対象住戸床レベル差	対象住戸の床が階床の基準高さと異なる場合に入力します。[mm]
上階床レベル差	上階の床が階床の基準高さと異なる場合に入力します。[mm]
上階梁・スラブ符号	上階の梁やスラブが最も低い部分になる場合にその符号を入力します。
上階梁・床厚	上階の梁やスラブが最も低い部分になる場合にその厚さを入力します。[mm]
内法高さ 設計値	内法高さ 設計値を入力します。[mm]
低減値	内法高さについて、設計値と表示値との寸法差を入力します。[mm]
内法高さ 表示値	「内法高さ 設計値－低減値」の値が表示されます。
最も低い部位	上階スラブがフラットでない場合を選択します。 その部位が梁・傾斜屋根以外(水周りスラブ等)の場合は、「その他」を選択します。
住戸専用部 壁・柱の有無	
壁、柱	専用部にある壁または柱が、間取り変更時の障害になる場合は選択します。
設計内容の要約	グループの設計内容の要約を表示します。

入力ガイドの表示

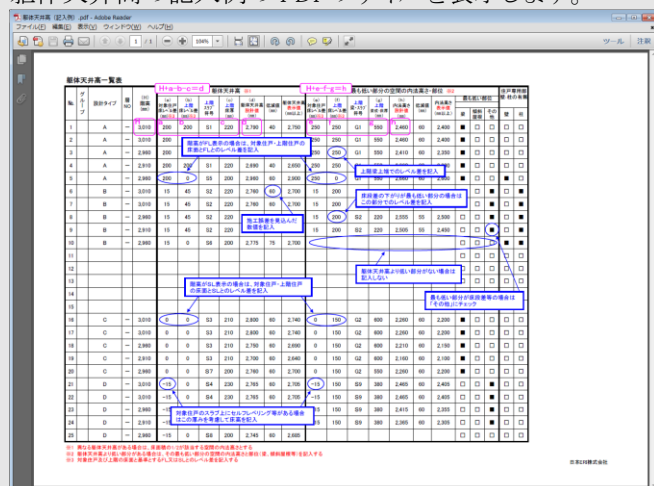
躯体天井高の入力ガイドを表示します。

「PDF を開く...」をクリックすると、入力ガイドの PDF ファイルを開いて印刷することができます。



入力例(PDF)を表示

躯体天井高の記入例の PDF ファイルを表示します。



記載図書

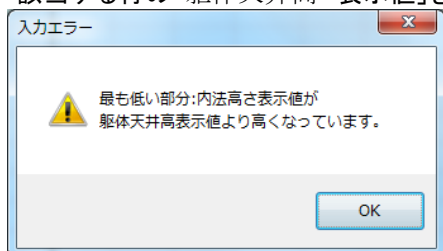
提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。

※計算後の端数処理は全て切り捨てです。

※PDF ファイルを表示するには PDF リーダーが必要です。

※必要事項を入力後、「設計内容を登録...」ボタンをクリックした際

「最も低い部位 内法高さ 表示値」が「躯体天井高 表示値」より大きい場合は入力エラーとなり、該当する行の「躯体天井高 表示値」を選択し登録画面に戻ります。



5.5 温熱環境



温熱環境について、住戸グループごとに設計内容説明書および自己評価書を作成します。

ファイル(F) ヘルプ(H)

メインメニューへ戻る | 新しい設計内容の登録 | 設計内容の確認・変更 | グループ割り当ての変更 | 分類図

評価項目
 温熱環境に関すること
 表示事項
 5-1 断熱等性能等級
 5-2 一次エネルギー消費量等級

5-1 断熱等性能等級
 記載図書(全グループ共通)
☐ 仕上表
☐ 平面図
☐ 立面図
☐ 矩計図
☐ 建具表
☐ 計算書
☐ 温熱係数表
☐ 断熱範囲図
 その他の記載図書
 1.
 2.
 3.

5-1 断熱等性能等級
 新しい設計内容を入力してください。
 認定書等
☐ 認定書等(品確法)の活用(住宅)
☐ 認定書等(品確法)の活用(住宅の部分)
 認定方法: ☐ 製造者認証 ☐ 型式認定 ☐ 特認(年間暖冷房負荷を除く)
 認定番号:
 等級
☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

グループ分類図
 全体表示

2F ▾		201 D	202 D	203 D	
	(注)101	102 C	103 C	104 C	(注)105 B
1F ▾	A				

 グループ 設
 設

設計内容を削除... 設計内容を登録... キャンセル

項目選択メニュー

評価項目
 温熱環境に関すること
 表示事項
 5-1 断熱等性能等級
 5-2 一次エネルギー消費量等級

設計内容説明書の「空気環境に関すること」について、必要な入力項目が表示されます。

※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」で全住戸が未選択の項目はメニューボタンが無効になり、設計内容登録画面は呼び出せません。

表示事項
 5-1 断熱等性能等級
 5-2 一次エネルギー消費量等級

表示事項
 5-1 断熱等性能等級
 5-2 一次エネルギー消費量等級

5.5.1 断熱等性能等級

評価項目	5-1 断熱等性能等級
温熱環境に関すること	グループ: 1 設計内容の要約: 等級4、補強あり
表示事項	<p>認定書等</p> <p><input type="checkbox"/> 認定書等(品確法)の活用(住宅)</p> <p><input type="checkbox"/> 認定書等(品確法)の活用(住宅の部分)</p> <p>認定方法: <input type="checkbox"/> 製造者認証 <input type="checkbox"/> 型式認定 <input type="checkbox"/> 特認</p> <p>認定番号: <input type="text"/></p> <p>等級</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 等級4 <input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1</p> <p>地域:</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="button" value="地域選択..."/></p> <p>※地域選択ボタンによる参照結果は、改正建築物省エネ法の地域の区分となります。</p> <p>適用する基準</p> <p><input type="checkbox"/> 性能基準</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様基準</p> <p>結露防止対策</p> <p>繊維系断熱材: <input type="checkbox"/> 繊維系断熱材等の使用</p> <p>通気層の設置</p> <p><input type="checkbox"/> 通気層の設置(繊維系断熱材を使用する場合は防風層を設置)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 除外規定適用(添付図書に内容を記載)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 認定書(品確法)の活用 <input type="checkbox"/> 型式認定 <input checked="" type="checkbox"/> 特認</p> <p>認定番号: <input type="text" value="1"/></p> <p>断熱材の施工: <input checked="" type="checkbox"/> 躯体面に断熱材を全面密着(内断熱工法の場合のみ)</p>
5-1 断熱等性能等級 記載図書(全グループ共通)	
<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 立面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 計算書	

入力項目

項目	説明
5-1 断熱等性能等級	
認定書等	
認定書等(品確法)の活用(住宅)	住宅全体に対して認定書等(品確法)を活用して申請する場合は選択します。
認定書等(品確法)の活用(住宅の部分)	住宅の部分に対して認定書等(品確法)を活用して申請する場合は選択します。
認定方法	認定書等を活用する場合に、認定方法を選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
認定書等	「型式認定」を選択した場合に表示されます。 型式認定内に、結露対策防止が含まれている場合には選択します。
等級	断熱性能等級を選択します。
地域	<div> <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 </div> から 建設地域を選択します。 「2. 2建築物に関する事項」で地名・地番が入力されている場合は <input type="button" value="地域選択..."/> ボタンが有効になり、地域区分を参照できます。 →5.5.3 参照

適用する基準 ※認定書等の活用(住宅)を選択、または等級1を選択した場合は表示されません。	
適用する基準	建築主判断／簡易計算法／条件付外皮仕様から、申請する基準を選択します。 ※条件付外皮仕様は、等級4でのみ選択可能です。
適用する基準が、「建築主判断基準」または「設計・施工指針の本則(簡易計算法)」の場合	
外皮平均熱貫流率 UA の基準に適合	外皮平均熱貫流率 UA の基準に適合している場合選択します。
UA の値を評価書に表示する	上記を選択した場合に選択できます。 UA の値を入力します。(W/m ² k)
冷房期の平均日射熱取得率 ηA の基準に適合	冷房期の平均日射熱取得率 ηA の基準に適合している場合選択します。
ηA の値を評価書に表示する	上記を選択した場合に選択できます。 ηA の値を入力します。
適用する基準が、「設計・施工指針の附則(条件付外皮仕様)」の場合	
躯体の断熱	断熱性能が適合する基準を「熱貫流率」、「熱抵抗値」から選択します。
開口部比率の区分	区分(い)、(ろ)、(は)から選択します。
結露防止対策 ※等級1を選択した場合は表示されません。	
繊維系断熱材	繊維系断熱材等を使用している場合は選択します。
防湿層の設置	防湿層の設置について、該当する項目を選択します。 “除外規定適用”の場合は、添付図書にその内容を明記する必要があります。 “評定書等の活用”の場合は、認定番号を入力します。
通気層の設置	空気層の設置について、該当する項目を選択します。 “除外規定適用”の場合は、添付図書にその内容を明記する必要があります。 “評定書等の活用”の場合は、認定番号を入力します。 ※繊維系断熱材を使用する場合は、防風層を設置してあることが必要です。
断熱材の施工	躯体面全面に断熱材を密着している場合は選択します。 ※等級1、2を選択した場合は表示されません。
熱橋部対策 ※等級4を選択した場合のみ表示されます。	
熱橋部対策	熱橋部対策について、該当する項目を選択します。 “除外規定適用”の場合は、添付図書にその内容を明記する必要があります。 “評定書等の活用”の場合は、認定番号を入力します。
記載図書	
	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.5.2 一次エネルギー消費量等級

評価項目	5-2 一次エネルギー消費量等級
温熱環境に関すること	新しい設計内容を入力してください。
表示事項	
5-1 断熱性能等級	
5-2 一次エネルギー消費量等級	
5-2 一次エネルギー消費量等級 記載図書（全グループ共通）	<p>認定書等</p> <p><input type="checkbox"/> 認定書等(品確法)の活用(住宅)</p> <p><input type="checkbox"/> 認定書等(品確法)の活用(住宅の部分)</p> <p>認定方法: <input type="checkbox"/> 製造者認証 <input type="checkbox"/> 型式認定 <input type="checkbox"/> 特認</p> <p>認定番号: <input type="text"/></p> <p>等級</p> <p><input type="checkbox"/> 等級5 <input checked="" type="checkbox"/> 等級4 <input type="checkbox"/> 等級1</p> <p>地域:</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="button" value="地域選択..."/></p> <p>※地域選択ボタンによる参照結果は、改正建築物省エネ法の地域の区分となります。</p> <p>基本的事項等</p> <p>適用する基準</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 性能基準</p> <p><input type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量の値を評価書に表示する <input type="text"/> MJ/(㎡・年)</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様基準(等級4のみ)</p> <p>居室および非居室の面積</p> <p>床面積の合計: <input type="checkbox"/> Webプログラム出力票による</p> <p>主居室の面積: <input type="checkbox"/> Webプログラム出力票による</p> <p>その他の居室の面積: <input type="checkbox"/> Webプログラム出力票による</p> <p>外皮</p> <p>適用する基準</p> <p><input type="checkbox"/> 性能基準</p> <p>断熱性能等</p> <p><input type="checkbox"/> Webプログラム出力票による</p>
仕上表	
平面図	
立面図	
矩計図	
設備図	
建具表	
計算書	
断熱範囲図	
その他の記載図書	
1. <input type="text"/>	

入力項目

項目	説明
5-2 一次エネルギー消費量等級	
認定書等	
認定書等(品確法)の活用(住宅)	住宅全体に対して認定書等(品確法)を活用して申請する場合は選択します。
認定書等(品確法)の活用(住宅の部分)	住宅の部分に対して認定書等(品確法)を活用して申請する場合は選択します。
認定方法	認定書等を活用する場合に、認定方法を選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
等級	一次エネルギー消費量等級を選択します。

地域	<div> <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 から </div> <p>建設地域を選択します。</p> <p>「2. 2建築物に関する事項」で地名・地番が入力されている場合は <div>地域選択...</div> ボタンが有効になり、地域区分を参照できます。</p> <p>→5.5.3 参照</p>
基本的事項等 ※認定書等の活用(住宅)を選択、または等級1を選択した場合は表示されません。	
適用する基準	<p>等級5、3、2選択時には</p> <p>「設計一次エネルギー消費量≦基準一次エネルギー消費量」のみ選択可能です。この時、「一次エネルギー消費量の値を評価書に表示する」を選択し、一次エネルギー消費量値を記入する事ができます。</p> <p>等級4選択時には上記に加えて、「設計施工指針の附則6」が選択可能です。</p> <p>外皮等面積/床面積の合計が基準に適合している場合は選択します。</p>
居室および非居室の面積 ※「設計一次エネルギー消費量≦基準一次エネルギー消費量」選択時	
床面積の合計 主居室の面積 その他の居室の面積	<p>Web プログラムから出力した帳票を参照する場合、</p> <p>「Web プログラム出力票による」をチェックします。</p>
外皮 ※「設計一次エネルギー消費量≦基準一次エネルギー消費量」選択時	
適用する基準	建築主判断基準／設計施工指針の本則(簡易計算法)から選択します。
外皮熱損失量	<p>Web プログラムから出力した帳票を参照する場合、</p> <p>「Web プログラム出力票による」をチェックします。</p>
日射熱取得量 冷房期／暖房期	
自然風の検討方法	
冬季における蓄熱を利用したパッシブ手法の採用	
外皮 ※「設計施工指針の附則6」選択時(等級4のみ)	
適用する基準	設計施工指針の附則(条件付き仕様)が選択できます。
基準「設計一次エネルギー消費量≦基準一次エネルギー消費量」を選択時は、 「暖冷房:暖房方式」～「発電:コージェネレーションの種類」まで全ての項目で Web プログラムを参照する 「Web プログラム出力票による」のみ選択可能です。 以下の選択項目は、等級4かつ基準「設計施工指針の附則 6」選択時のみ表示されます。	
暖冷房	
暖房方式	<p>ダクト式セントラル空調機器(ヒートポンプ熱源)／温水暖房用パネルラジエーター(石油熱源)／〃(ガス熱源)／密閉式石油ストーブ／ルームエアコンから、採用する暖房方式を選択します。</p>

冷房方式	ダクト式セントラル空調機器(ヒートポンプ熱源)／ルームエアコンから、採用する冷房方式を選択します。
換気	
換気設備方式	比消費電力が 0.3 以下の場合選択します。
熱交換型換気設備	比消費電力÷有効換気量率が 0.3 以下の場合選択します。
給湯	
給湯器	給湯機の熱源を「石油給湯器」／「ガス給湯器」から選択します。 ※基準「設計一次エネルギー消費量≤基準一次エネルギー消費量」選択時は、給湯機熱源／ふろ機能種類／配管／水栓／浴槽／太陽熱給湯装置 について「Web プログラム出力票による」が選択できます。
照明	
照明設備	非居室に白熱灯を採用していなければチェックします。
発電 ※基準「設計一次エネルギー消費量≤基準一次エネルギー消費量」選択時	
太陽光発電の採用	Web プログラムから出力した帳票を参照する場合、 「Web プログラム出力票による」をチェックします。
コージェネレーションの種類	
記載図書	
	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.5.3 地域区分の参照

地域区分の参照

都道府県: 東京都

市区町村検索: 八王子市 前へ 次へ

市区郡名で検索されない場合、区町村名を入力しての再検索をお試しください。(字名は入力しないでください。)

地域区分:

- 4地域
- 5地域
- 6地域
- 7地域
- 8地域

市区町村:

昭島市、稲城市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、多摩市、調布市、東京都23区、西東京市、八王子市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、府中市、福生市、町田市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

OK キャンセル

「2.2 建築物に関する事項」で選択した都道府県から選択可能な地域区分を参照することができます。

入力項目

項目	説明
都道府県	「2.2 建築物に関する事項」で選択した都道府県が表示されます。
市区町村検索	「2.2 建築物に関する事項」で入力した市区郡名が表示されます。 「前へ」、「次へ」ボタンをクリックすることにより、該当する地域区分を検索することができます。 市区郡名で検索されない場合、町村名等に置き換えて検索もできます
地域区分	選択されている都道府県から選択可能な地域区分が一覧表示されます。 該当する地域区分を選択して「OK」ボタンをクリックすると地域区分が決定されます。
市区町村	選択した地域区分に該当する市区町村名が表示されます。 この内容をヒントに地域区分を決定します。

5.6 空気環境



※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」において[6-1 ホルムアルデヒド対策],[6-2 換気対策]を全住戸で未選択とした場合はボタンが無効になり、本画面が呼び出せません。

空気環境(ホルムアルデヒド対策および換気対策)について、住戸グループごとに設計内容を入力します。

	601	602	603	604	605
6F ▾	C	C	C	C	C
5F ▾	B	B	B	B	B
4F ▾	401	402	403	404	405
3F ▾	B	B	B	B	B
2F ▾	201	202	203	204	205
1F ▾	B	B	B	B	B
01F ▾	101	102	103	104	105
	A	A	A	A	A
01F ▾	駐車場				

項目選択メニュー

設計内容説明書の「空気環境に関すること」について、必要な入力項目が表示されます。

※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」で全住戸が未選択の項目はメニューボタンが無効になり、設計内容登録画面は呼び出せません。

5.6.1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)

入力項目

項目	説明
6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)	
居室の内装の仕上げ材	
使用建材	使用する建材種類を選択します。(複数選択可) ※“特定建材”を選択した場合は、「等級」および「ホルムアルデヒド発散等級」を選択します。
等級	内装仕上げ材の等級を選択します。
ホルムアルデヒド発散等級	ホルムアルデヒド発散等級を選択します。
天井裏等の下地材等	
使用建材	使用する建材種類を選択します。(複数選択可) ※“特定建材”を選択した場合は、「等級」、「ホルムアルデヒド発散等級」および「措置方法」を選択します。
等級	内装仕上げ材の等級を選択します。
ホルムアルデヒド発散等級	ホルムアルデヒド発散等級を選択します。
措置方法	換気または気密措置が確保されている場合は選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.6.2 換気対策

評価項目

空気環境に関すること

表示事項

6-1 ホルムアルデヒド対策

6-2 換気対策

6-2 換気対策
記載図書（全グループ共通）

☐ 平面図
☐ 設備図

6-2 換気対策

新しい設計内容を入力してください。

換気対策

種類:

☐ 機械換気設備
☐ その他 < >

局所換気対策

便所

☐ 該当なし

機械換気設備:

☐ 有り ☐ 無し

換気のできる窓:

☐ 有り ☐ 無し

浴室

☐ 該当なし

機械換気設備:

☐ 有り ☐ 無し

換気のできる窓:

☐ 有り ☐ 無し

台所

☐ 該当なし

機械換気設備:

☐ 有り ☐ 無し

換気のできる窓:

☐ 有り ☐ 無し

入力項目

項目	説明
6-2 換気対策	
換気対策	
種類	換気対策の種類を選択します。 “その他”を選択した場合は、対策内容を入力します。
局所換気対策	
便所	
該当なし	便所が存在しない場合は選択します。
機械換気設備	「有り」「無し」のどちらかを選択します。
換気のできる窓	「有り」「無し」のどちらかを選択します。
浴室	
該当なし	浴室が存在しない場合は選択します。
機械換気設備	「有り」「無し」のどちらかを選択します。
換気のできる窓	「有り」「無し」のどちらかを選択します。
台所	
該当なし	台所が存在しない場合は選択します。

操作マニュアル 106

機械換気設備	「有り」「無し」のどちらかを選択します。
換気のできる窓	「有り」「無し」のどちらかを選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。

5.7 光・視環境



※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」において[7-1、7-2 光視環境]を
全住戸で未選択とした場合はボタンが無効になり、本画面が呼び出せません。

新規物件で光・視環境を初めて設定する場合、まず設計内容入力時に「開口部リスト」を使用するか、使用しないかを選択するウィンドウが表示されます。本項目を選択しないと光・視環境の登録には進めません。

光視環境の設計内容入力方法

開口部
設計内容を入力する際、予め開口部を登録しておいて選択するか、その都度直接入力するかを選択します。

☒ 予め開口部を登録してから選択する
※予め開口符号と寸法を登録しておき、開口符号の一覧から選択します。

☐ 開口部を登録せず直接入力する
※開口部は設計内容ごとにその都度直接入力します。

後から開口部を登録するかどうか選択し直すこともできますが、その場合入力済みの開口部は全てクリアされます。

設定 キャンセル

開口部リストを「使用する」

室開口部の「開口符号」「幅」「高さ」を全てリストに登録し、設計内容の「開口符号」に表示されるプルダウンリストから選択します。「幅」「高さ」は登録した値が自動入力されます。

開口部リストを使用しない

設計内容の「開口符号」「幅」「高さ」を全て任意に手入力します。

いずれかを選択し「設定」ボタンをクリックすると、光・視環境の登録画面が表示されます。

光・視環境（開口率および方位別開口比）について設計内容を入力します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

メインメニューへ戻る ① 新しい設計内容の登録 設計内容の確認・変更 グループ割り当ての変更 分類 操作方法的表示

評価項目
光視環境に関すること

表示事項
7-1 単純開口率、7-2 方位別開口比

開口部の登録...
室名の登録...
低減値の設定...
開口部リストの使用...

7-1 単純開口率、7-2 方位別開口比
記載図書（全グループ共通）
平面図
建具表
計算書
その他の記載図書

7-1 単純開口率、7-2 方位別開口比
新しい設計内容を入力してください。

タイプ名: ② 設計タイプを選択してください。
※他の設計内容からコピー・ペーストが可能です。
※窓数が12を超える場合はまとめて入力してください。
※矩形以外の開口部を入力する際は、幅=面積、高さ=1と入力。

設計内容詳細:

室名	居室面積 (m ²)	方位	開口符号	幅 [m]	高さ [m]	個数	開口面積 (m ²)
1 ③							
2							
3							
4							
合計							

集計結果: ※開口比(表示値)の小数部は切り捨てになります。

	開口面積 (m ²)	計算値 (%)	低減値 (%)	表示値 (%)
方位別	北 0.00	-	2	-
東 0.00	-	2	-	
南 0.00	-	2	-	
西 0.00	-	2	-	
真上 0.00	-	2	-	
単純開口率	0.00	-	2	-

※方位別開口比は、窓が1方位だけにある場合100%となります。

グループ分類図
全体表示

区分	301	302	303	304
3F	A	B	B	C
2F	A	B	B	C
1F	A	B	B	C

グループ 設計内容の要約

グループ	設計内容の要約
1	北2% 東12% 南79% 単純24%
2	北2% 南93% 単純20%
3	北2% 南79% 西12% 単純24%

設計内容を登録... キャンセル グループの並び替え...

項目選択メニュー

評価項目
光視環境に関すること

表示事項
7-1 単純開口率、7-2 方位別開口比

開口部の登録...

室名の登録...

低減値の設定...

開口部リストの使用...

設計内容説明書の「光視環境に関すること」について、必要な入力項目が表示されます。

入力手順

- 1) 「新しい設計内容の登録」を選択
- 2) タイプ名をリストから選択
- 3) 室名および居室面積を入力
- 4) 開口部について(方位、符号、寸法等)入力
※室名との関連性はないので、室名と異なる行に入力しても構いません。
- 5) 設計内容の登録(グループの割り当て)

光・視環境のグルーピングについて

光・視環境では入力した結果、以下の項目が同じ内容だった場合に同じグループとみなします。

- ・ 方位別開口比
- ・ 単純開口率

新しい設計内容の登録 | 設計内容の確認・変更 | グループ割り当ての変更

7-1 単純開口率、7-2 方位別開口比

設計内容: 1 | 設計内容の要約: 北3% 南62% 西27% 単純39%

タイプ名: A | 設計タイプを選択し直す

※他の設計内容からコピー・ペーストが可能です。
※窓数が12を超える場合はまとめて入力してください。
※矩形以外の開口部を入力する際は、幅=面積、高さ=1と入力。

設計内容詳細:

	室名	居室面積 [m²]	方位	開口符号	幅 [m]	高さ [m]	個数	開口面積 [m²]
1	LD	20.00	西	AW-005	2.100	1.200	1	2.52
2	LD		南	AW-001	3.600	2.000	1	7.20
3	台所	6.00	西	AD-001	0.600	2.000	1	1.20
4	洋室1	11.00	西	AW-008	1.400	2.000	1	2.80
5	洋室2	8.00	北	AW-007	1.100	1.200	1	1.32
6	洋室3	8.00	南	AW-001	3.600	2.000	1	7.20
	合計	53.00						22.24

集計結果: ※開口比(表示値)の小数部は切り捨てになります。

	開口面積 (m²)	計算値 (%)	低減値 (%)	表示値 (%)
方位別開口比	北	1.32	5	2
	東	0.00	-	2
	南	14.40	64	2
	西	6.52	29	2
真上	0.00	-	2	-
単純開口率	22.24	41	2	39

グルーピング結果
グループ 1

入力項目

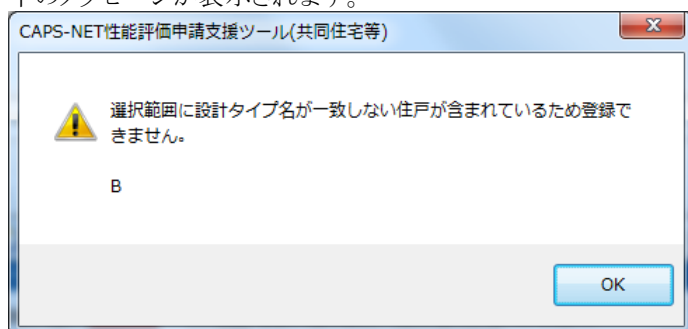
項目	説明
7-1 単純開口率、7-2 方位別開口部比	
設計タイプ名	タイプ名を入力またはリストから選択します。
設計タイプを選択し直す	設計内容の確認・変更時に表示されます。 設計内容に選択済の設計タイプを変更したい場合、ここをチェックしてから設計タイプを選択します。
設計内容	
室名	[室名の登録]で登録済みの室名から選択、もしくは室名を直接入力します。 (「5.7.2 室名の登録」を参照)
居室面積	各居室の床面積を入力します。
方位	4 方位と真上の 5 種類のリストから選択します。
開口符号	<p>「開口部リストを使用する」場合 開口部の符号を[開口部の登録]で登録済みの開口部の符号から選択します。 (「5.7.1 開口部の登録」を参照) ※直接入力も可能ですが、入力した符号がリストにない場合はキャンセルされます</p> <p>「開口部リストを使用しない」場合 開口部の符号を直接入力します。</p> <p>※室名との関連性はないので、室名と異なる行に入力しても構いません。</p>
幅、高さ	<p>「開口部リストを使用する」場合 リストに登録された値が自動で入力されます。編集はできません。</p> <p>「開口部リストを使用しない」場合 開口部の幅と高さを直接入力します。</p> <p>※傾きがある場合は、幅(または、高さ)寸法に、各方位は$\times \cos \theta$ (真上の場合は$\times \sin \theta$)にて補正計算した値を入力します。</p>
個数	開口部の個数を入力します。
開口面積	幅 \times 高さ \times 個数の開口面積が表示されます。
合計	居室面積と開口部面積の合計値が表示されます。
集計結果	
方位別開口面積合計	方位別に開口部面積が集計表示されます。
方位別開口比(計算値)	方位別の開口比(構成比)が表示されます。

低減値	初期値は[低減値の設定]の設定値が表示されますが、変更可能です。 (「 5.7.3 低減値の設定」を参照)
方位別開口比 (表示値)	合計床面積に対する合計開口面積の比が表示されます。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は1つ入力可能です。

※計算後の端数処理は全て切り捨てです。

※設計内容登録時に選択したタイプ名と異なる住戸を選択することはできません。

下のメッセージが表示されます。



5.7.1 開口部の登録

※「開口部リストを使用しない」設定の場合は本画面は呼出できません。

建具をまとめて登録しておき、開口部の入力で呼び出すことができます。200 種類づつ 3 画面分 (600 種類) 登録が可能です。

こちらで寸法を修正すると、同じ名前を入力されている開口部の寸法が一括で更新されます。

呼び出し方法は、設計内容の入力画面で開口符号を直接入力すると、符号が一致する開口部寸法を呼び出して表示します。

室番	方位	開口符号	幅 [m]	高さ [m]	個数	開口面積 [㎡]
.00	西	AW-008	1.400	2.000	1	2.80
.00	北	AW-007	1.100	1.200	1	1.32
.00	南	AW-001	3.600	2.000	1	7.20

※こちらと同じ開口符号名が設計内容側にあると、値が置き換えられます。切り離したい時はこちらと異なる名前を付けて下さい。

入力項目

項目	説明
開口部の登録	
開口符号	開口符号を入力します。 ※同一文字を複数登録した場合は、先頭のデータのみが有効になります。
開口部寸法	幅と高さをm単位で入力します。

5.7.2 室名の登録

室名をまとめて登録しておき、室名の入力で呼び出すことができます。100 個まで登録可能です。
ここで登録した室名は、他の物件データでも使用することができます。

入力項目

項目	説明
室名の登録	
室名	室名を入力します。

5.7.3 低減値の設定

開口率算定に用いる低減率の初期設定をします。
また、設定した低減値を登録済の設計内容に反映することができます。

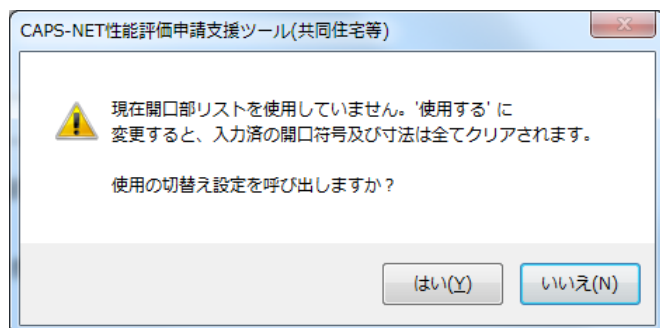
入力項目

項目	説明
低減値初期値入力	
低減値の初期値	開口率を低減する値を%単位で入力します。

5.7.4 開口部リストの使用

物件で光・視環境を初めて設定する際に選択した、「開口部リストを使用する/しない」の設定を変更できます。

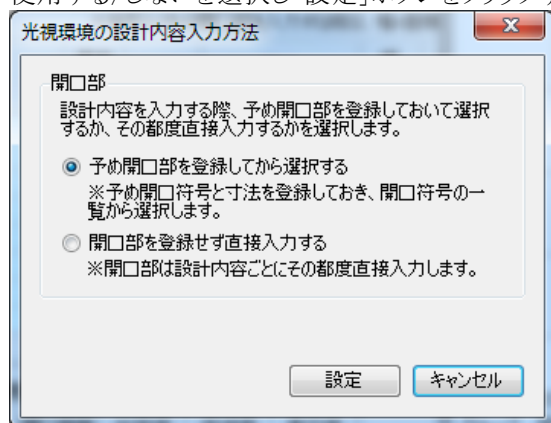
開口部リストの使用... ボタンをクリックすると、以下の問合せが表示されます。



開口部リスト使用の有無を変更する場合**入力済みの開口部は全てクリア**されます。
変更する際には充分ご注意ください。

※光・視環境**設計内容の全てのグループ**が上記の通り処理されます

上記画面で「はい」ボタンをクリックすると、設定変更ウインドウが呼出されますので、使用する/しないを選択し「設定」ボタンをクリックすると変更が反映されます。



5.8 高齢者等への配慮(専用部分)



※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」において[9-1 高齢者等配慮(専用部分)]を
全住戸で未選択とした場合はボタンが無効になり、本画面が呼び出せません。

住戸の専用部における高齢者等への配慮について、住戸グループごとに設計内容を入力します。

ファイル(E) ヘルプ(H)

新しい設計内容の登録 | 設計内容の確認・変更 | グループ割り当ての変更 | 分類図

評価項目
高齢者等への配慮に関すること(専)

表示事項
9-1 高齢者等への配慮(専用部分)

9-1 高齢者等への配慮(専用部分)
記載図書(全グループ共通)

☐ 仕上表
☐ 平面図
☐ 矩計図
☐ 手摺詳細図
☐ UP詳細図

その他の記載図書
1.
2.
3.

9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)
新しい設計内容を入力してください。

等級
☒ 等級5 ☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

部屋の配置等
☐ 玄関・便所・浴室・食事室・脱衣室・洗面所
☐ ホームエレベーター設置、かつ、特定寝室と同一階に便所を設置
ホームエレベーター出入口の幅750mm(通路より直進可能な場合は650mm)

段差
日常生活空間内 ☒ 全ての基準に適合すること
☐ 床は段差のない構造
☐ 適用除外の段差有り
(玄関出入口、玄関上がりかまち、勝手口出入口、タタミコーナー等、パ...

日常生活空間外: ☐ 床は段差のない構造

階段
☐ 階段無し
勾配等
☐ 勾配6/7以下、かつ、550mm≦蹴上×2+踏面≦650mm
☐ ホームエレベーター設置、かつ、等級3の勾配等の基準に適合

グループ分類図
全体表示

6F ▾	601 A	602 B	603 BB	604 C	EVホール	605 D
5F ▾	501 A	502 B	503 BB	504 C	EVホール	505 D
4F ▾	401 A	402 B	403 BB	404 C	EVホール	405 D
3F ▾	301 A	302 B	303 BB	304 C	EVホール	305 D
2F ▾	201 A	202 B	203 BB	204 C	EVホール	吹抜け
1F ▾	駐車場	駐車場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

グループ 設計内容の要約
設計内容が登録されていません

設計内容を削除... | 設計内容を登録... | キャンセル

入力項目

項目	説明
9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)	
等級	高齢者等配慮対策等級(専用部分)を選択します。 ※選択した等級に対応する入力画面に切り替わります。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.8.1 等級5

9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)

新しい設計内容を入力してください。

等級

☒ 等級5
☐ 等級4
☐ 等級3
☐ 等級2
☐ 等級1

部屋配置等

☐ 玄関・便所・浴室・食事室・脱衣室・洗面所
☐ ホームエレベーター設置、かつ、特定寝室と同一階に便所を設置
☐ ホームエレベーター出入口の幅750mm(通路より直進可能な場合は650mm)以上

段差

日常生活空間内

☐ 床は段差のない構造
☐ 適用除外の段差有り
(玄関出入口、玄関上がりかまち、勝手口出入口、タタミコーナー等、バルコニー出入口)

日常生活空間外:
☐ 床は段差のない構造

階段

☐ 階段無し

勾配等

☐ 勾配6/7以下、かつ、550mm≦蹴上×2+踏面≦650mm
☐ ホームエレベーター設置、かつ、等級3の勾配等の基準に適合

蹴込み

☐ 蹴込みが30mm以下、かつ、蹴込み板設置
☐ ホームエレベーター設置、かつ、蹴込みが30mm以下

設計内容を削除...

設計内容を登録...

キャンセル

入力項目

項目	説明
部屋の配置等	
部屋配置等	表示されている室名の全てが特定寝室と同一階にあれば選択します。
	ホームエレベーターがある場合は選択します。
	※表示されている他の条件にも該当している必要があります。
段差	
日常生活空間内	項目を選択します。
	※選択した等級においてはすべての基準に適合する必要があります。
日常生活空間外	項目を選択します。
階段	
階段無し	階段がない場合は選択します。
勾配等	項目を選択します。
蹴込み	項目を選択します。

形式等	項目を選択します。
滑り防止	項目を選択します。
段鼻	項目を選択します。
階段の幅員等	階段の幅員等が基準に適合している場合は選択します。
手摺	
手摺の設置	手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
転落防止手摺の設置	転落防止手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
バルコニー等	バルコニーが基準に適合している場合は選択します。
通路等の幅員(日常生活空間内)	
通路の幅員	通路の幅員が該当する場合は選択します。
出入口の幅員	項目を選択します。(複数選択可)
寝室、便所及び浴室(日常生活空間内)	
浴室の寸法	浴室の寸法が該当する場合は選択します。
便所の寸法等	項目を選択します。(複数選択可)
特定寝室面積	特定寝室面積が該当する場合は選択します。

5.8.2 等級4

9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)

新しい設計内容を入力してください。

等級

☐ 等級5
☒ 等級4
☐ 等級3
☐ 等級2
☐ 等級1

部屋的配置等

☐ 便所・浴室

☐ ホームエレベーター設置、かつ、特定寝室と同一階に便所を設置
ホームエレベーター出入口の幅750mm(通路より直進可能な場合は650mm)以上

段差

日常生活空間内

☐ 床は段差のない構造
☐ 適用除外の段差有り
(玄関出入口、玄関上がりかまち、勝手口出入口、タタミコーナー等、浴室の出入口、...)

日常生活空間外:
☐ 床は段差のない構造

階段

☐ 階段無し

勾配等

☐ 勾配6/7以下、かつ、550mm≦蹴上×2+踏面≦650mm
☐ ホームエレベーター設置、かつ、等級3の勾配等の基準に適合
☐ 日常生活空間外の階段、かつ、等級3の勾配等の基準に適合(複数階段がある場合)

蹴込み

☐ 蹴込みが30mm以下、かつ、蹴込み板設置

設計内容を削除...

設計内容を登録...

キャンセル

入力項目

項目	説明
部屋的配置等	
部屋配置等	表示されている室名の全てが特定寝室と同一階にあれば選択します。 ホームエレベーターがある場合は選択します。 ※表示されているその他の条件にも該当している必要があります。
段差	
日常生活空間内	項目を選択します。 ※選択した等級においてはすべての基準に適合する必要があります。
日常生活空間外	項目を選択します。
階段	
階段無し	階段がない場合は選択します。
勾配等	項目を選択します。

蹴込み	項目を選択します。
形式等	項目を選択します。
階段の幅員等	階段の幅員等が基準に適合している場合は選択します。
手摺	
手摺の設置	手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
転落防止手摺の設置	転落防止手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
バルコニー	バルコニーが基準に適合している場合は選択します。
通路等の幅員(日常生活空間内)	
通路の幅員	通路の幅員が該当する場合は選択します。
出入口の幅員	項目を選択します。(複数選択可)
寝室、便所及び浴室(日常生活空間内)	
浴室の寸法	浴室の寸法が該当する場合は選択します。
便所の寸法等	項目を選択します。(複数選択可)
特定寝室面積	特定寝室面積が該当する場合は選択します。

5.8.3 等級3

9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)

新しい設計内容を入力してください。

等級

☐ 等級5
☐ 等級4
☒ 等級3
☐ 等級2
☐ 等級1

部屋的配置等

☐ 便所

段差

日常生活空間内

☐ 床は段差のない構造
☐ 適用除外の段差有り
(玄関出入口、玄関上がりかまち、勝手口出入口、タタミコーナー等、浴室の出入口、バ...)

日常生活空間外:
☐ 床は段差のない構造

階段

☐ 階段無し

勾配等

☐ 勾配22/21以下、550mm≦蹴上×2+踏面≦650mm、かつ、踏面195mm以上
☐ ホームエレベーター設置

蹴込み

☐ 蹴込みが30mm以下
☐ ホームエレベーター設置

※ホームエレベーターによる緩和を用いる場合は、勾配～蹴込みすべての項目において、「ホームエレベーター+追加要件」を満たす必要があります。

入力項目

項目	説明
部屋的配置等	
部屋配置等	表示されている室名の全てが特定寝室と同一階にあれば選択します。
段差	
日常生活空間内	項目を選択します。 ※選択した等級においてはすべての基準に適合する必要があります。
日常生活空間外	項目を選択します。
階段	
階段無し	階段がない場合は選択します。
勾配等	項目を選択します。
蹴込み	項目を選択します。
階段の幅員等	階段の幅員等が基準に適合している場合は選択します。

手摺	
手摺の設置	手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
転落防止手摺の設置	転落防止手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
バルコニー	バルコニーが基準に適合している場合は選択します。
通路の幅員(日常生活空間内)	
通路の幅員	通路の幅員が該当する場合は選択します。
出入口の幅員	項目を選択します。(複数選択可)
寝室、便所及び浴室(日常生活空間内)	
浴室の寸法	浴室の寸法が該当する場合は選択します。
便所の寸法等	項目を選択します。(複数選択可)
特定寝室面積	特定寝室面積が該当する場合は選択します。

5.8.4 等級2

9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)

新しい設計内容を入力してください。

等級

☐ 等級5
☐ 等級4
☐ 等級3
☒ 等級2
☐ 等級1

部屋的配置等

部屋配置等

☐ 便所

段差

日常生活空間内

☐ 床は段差のない構造
☐ 適用除外の段差有り
(玄関出入口、玄関上がりかまち、勝手口出入口、タタミコーナー等、浴室の出入口、バ...)

日常生活空間外:
☐ 床は段差のない構造

階段

☐ 階段無し

勾配等

☐ 勾配22/21以下、550mm≦蹴上×2+踏面≦650mm、かつ、踏面195mm以上
☐ ホームエレベーター設置

蹴込み

☐ 蹴込みが30mm以下
☐ ホームエレベーター設置

※ホームエレベーターによる緩和を用いる場合は、勾配～蹴込みすべての項目において、「ホームエレベーター+追加要件」を満たす必要があります。

×
設計内容を削除...

設計内容を登録...

キャンセル

入力項目

項目	説明
部屋的配置等	
部屋配置等	表示されている室名の全てが特定寝室と同一階にあれば選択します。
段差	
日常生活空間内	項目を選択します。 ※選択した等級においてはすべての基準に適合する必要があります。
日常生活空間外	項目を選択します。
階段	
階段無し	階段がない場合は選択します。
勾配等	項目を選択します。
蹴込み	項目を選択します。
階段の幅員等	階段の幅員等が基準に適合している場合は選択します。

操作マニュアル 122

手摺	
手摺の設置	手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
転落防止手摺の設置	転落防止手摺の設置が基準に適合している場合は選択します。
バルコニー	バルコニーが基準に適合している場合は選択します。

5.8.5 等級1

9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)

新しい設計内容を入力してください。

等級

☐ 等級5 ☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☒ 等級1

階段

☐ 階段無し

階段の幅員等: ☐ 建築基準法施行令第23条から第27条までの基準に適合

手摺

バルコニー等: ☐ 建築基準法施行令第126条第1項の基準に適合

入力項目

項目	説明
階段	
階段無し	階段がない場合は選択します。
階段の幅員等	階段の幅員等が基準に適合している場合は選択します。
手摺	
バルコニー	バルコニーが基準に適合している場合は選択します。

5.9 高齢者等への配慮(共用部分)



※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」において[9-2 高齢者等配慮(共用部分)]を
全住戸で未選択とした場合はボタンが無効になり、本画面が呼び出せません。

共用部における高齢者等への配慮について、住戸グループごとに設計内容を入力します。

入力項目

項目	説明
9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。 ※共用の廊下も階段も全く利用せずに屋外に出られる場合は選択します。
等級	高齢者等配慮対策等級(共用部分)を選択します。 ※選択した等級に対応する入力画面に切り替わります。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、等級やグループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.9.1 等級5

9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

等級:

☒ 等級5 ☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

共用廊下

☐ 該当なし

床段差等:

☐ 経路上の段差なし

☐ 経路上の高低差なし

☐ 経路上の高低差あり(勾配・段・手すりの基準に適合)

歩行補助手摺: ☐ 手摺設置(高さ700mm～900mm)

開放廊下の転落防止手摺

☐ 開放なし

☐ 転落防止手摺設置(腰壁等の高さによる基準及び手摺子内法寸法の基準に適合)

幅員等 複数選択可

☐ 有効幅員1,400mm以上

☐ 建築基準法施行令第119条及び第126条第1項の基準に適合

共用階段

勾配等

☐ 勾配7/11以下、かつ、550mm ≤ 蹴上×2+踏面 ≤ 650mm

入力項目

項目	説明
共用廊下	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
床段差等	項目を選択します。
歩行補助手摺	歩行補助手摺が該当する場合は選択します。
開放廊下の転落防止手摺	項目を選択します。
幅員等	項目を選択します。(複数選択可)
共用階段	
勾配等	共用階段の勾配等が該当する場合は選択します。
蹴込み	共用階段の踏込みが該当する場合は選択します。
形式等	項目を選択します。(複数選択可)
昇降補助手摺	昇降補助手摺が該当する場合は選択します。
外部開放階段の転落防止手摺等	項目を選択します。

基準法	共用階段が基準に適合している場合は選択します。
エレベーター	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
エレベーター利用	エレベーター利用が該当する場合は選択します。
エレベーター仕様	項目を選択します。(複数選択可)
エレベーターホールの広さ	エレベーターホールの広さが該当する場合は選択します。
経路上の床段差等	項目を選択します。

5.9.2 等級4

9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

等級:

☐ 等級5
☒ 等級4
☐ 等級3
☐ 等級2
☐ 等級1

共用廊下

☐ 該当なし

床段差等:

☐ 経路上の段差なし

☐ 経路上の高低差なし
☐ 経路上の高低差あり(勾配・段の基準に適合)

歩行補助手摺: ☐ 手摺設置(高さ700mm～900mm)

開放廊下の転落防止手摺

☐ 開放なし
☐ 転落防止手摺設置(腰壁等の高さによる基準及び手摺子内法寸法の基準に適合)

基準法

☐ 建築基準法施行令第119条及び第126条第1項の基準に適合

共用階段

勾配等

☐ 踏面240mm以上、かつ、550mm ≤ 蹴上×2+踏面 ≤ 650mm

入力項目

項目	説明
共用廊下	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
床段差等	項目を選択します。
歩行補助手摺	歩行補助手摺が該当する場合は選択します。
開放廊下の転落防止手摺	項目を選択します。
基準法	共用廊下が基準に適合している場合は選択します。
共用階段	
勾配等	共用階段の勾配等が該当する場合は選択します。
蹴込み	共用階段の踏込みが該当する場合は選択します。
形式等	共用階段の型式等みが該当する場合は選択します。
昇降補助手摺	昇降補助手摺が該当する場合は選択します。
外部開放階段の転落防止手摺等	項目を選択します。

基準法	共用階段が基準に適合している場合は選択します。
エレベーター	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
エレベーター利用	エレベーター利用が該当する場合は選択します。
エレベーター仕様	項目を選択します。(複数選択可)
エレベーターホールの広さ	エレベーターホールの広さが該当する場合は選択します。
経路上の床段差等	項目を選択します。

5.9.3 等級3

9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

等級:

☐ 等級5 ☐ 等級4 ☒ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

共用廊下

☐ 該当なし

床段差等:

☐ 経路上の段差なし

☐ 経路上の高低差なし

☐ 経路上の高低差あり(勾配・段の基準に適合)

歩行補助手摺: ☐ 手摺設置(高さ700mm～900mm)

開放廊下の転落防止手摺

☐ 開放なし

☐ 転落防止手摺設置(腰壁等の高さによる基準及び手摺子内法寸法の基準に適合)

基準法

☐ 建築基準法施行令第119条及び第126条第1項の基準に適合

共用階段

勾配等

☐ 踏面240mm以上、かつ、550mm ≤ 蹴上×2+踏面 ≤ 650mm

☐ エレベーター利用可能

入力項目

項目	説明
共用廊下	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
床段差等	項目を選択します。
歩行補助手摺	歩行補助手摺が該当する場合は選択します。
開放廊下の転落防止手摺	項目を選択します。
基準法	共用廊下が基準に適合している場合は選択します。
共用階段	
勾配等	項目を選択します。
蹴込み	項目を選択します。
形式等	共用階段の形式等が該当する場合は選択します。
昇降補助手摺	昇降補助手摺が該当する場合は選択します。
外部開放階段の転落防止手摺等	項目を選択します。

基準法	共用階段が基準に適合している場合は選択します。
幅員(エレベーターを利用できない場合)	共用階段の幅員が該当する場合は選択します。 ※「エレベーターが利用できない場合」の入力項目です
エレベーター	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
エレベーター利用	項目を選択します。
エレベーター仕様	エレベーター仕様が該当する場合は選択します。
エレベーターホールの広さ	エレベーターホールの広さが該当する場合は選択します。
経路上の床段差等	項目を選択します。

5.9.4 等級2

9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

等級:

☐ 等級5 ☐ 等級4 ☐ 等級3 ☒ 等級2 ☐ 等級1

共用廊下

☐ 該当なし

床段差等:

☐ 経路上の段差なし

☐ 経路上の高低差なし

☐ 経路上の高低差あり(勾配・段の基準に適合)

歩行補助手摺: ☐ 手摺設置(高さ700mm～900mm)

開放廊下の転落防止手摺

☐ 開放なし

☐ 転落防止手摺設置(腰壁等の高さによる基準及び手摺子内法寸法の基準に適合)

基準法

☐ 建築基準法施行令第119条及び第126条第1項の基準に適合

共用階段

勾配等

☐ 路面240mm以上、かつ、550mm ≤ 蹴上×2+踏面 ≤ 650mm

☐ エレベーター利用可能

入力項目

項目	説明
共用廊下	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
床段差等	項目を選択します。
歩行補助手摺	歩行補助手摺が該当する場合は選択します。
開放廊下の転落防止手摺	項目を選択します。
基準法	共用廊下が基準に適合している場合は選択します。
共用階段	
勾配等	項目を選択します。
蹴込み	項目を選択します。
形式等	共用階段の形式等が該当する場合は選択します。
昇降補助手摺	昇降補助手摺が該当する場合は選択します。
外部開放階段の転落防止手摺等	項目を選択します。
基準法	共用階段が基準に適合している場合は選択します。

5.9.5 等級1

9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)

新しい設計内容を入力してください。

☐ 該当なし

等級:

☐ 等級5 ☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☒ 等級1

共用廊下

☐ 該当なし

基準法

☐ 建築基準法施行令第119条及び第126条第1項の基準に適合

共用階段

基準法: ☐ 建築基準法施行令第23条から第27条まで及び第126条第1項の基準に適合

入力項目

項目	説明
共用廊下	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
基準法	共用廊下が基準に適合している場合は選択します。
共用階段	
基準法	手摺が基準に適合している場合は選択します。

5.10 防犯



※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」において[10-1 侵入防止対策]を
全住戸で未選択とした場合はボタンが無効になり、本画面が呼び出せません。

防犯対策について、住戸グループごとに設計内容を入力します。

The screenshot shows the '10-1 開口部の侵入防止対策' (10-1 Opening Intrusion Prevention Measures) screen. The sidebar on the left has a '防犯に関すること' (Security-related matters) dropdown and a '表示事項' (Display items) list with '10-1 開口部の侵入防止対策' selected. The main area is titled '10-1 開口部の侵入防止対策' and contains a 'フラット' (Flat) section with checkboxes for '建物出入口の存する階の住戸' (Residents on the floor where the building entrance exists) and '建物出入口の存する階以外の階の住戸' (Residents on floors other than the floor where the building entrance exists). Below this is a '区分及び措置' (Division and Measures) section with checkboxes for '侵入防止対策上有効な措置' (Effective measures for intrusion prevention) and '該当する開口部無し' (No applicable openings). The right-hand panel shows a 'グループ分類図' (Group Classification Diagram) table with columns for floor, unit type, and unit number. The table lists units from 6F to 1F, including various unit types like A, B, BB, C, D, and common areas like EVホール (EV Hall) and エントランス (Entrance).

この画面では、住戸構成図の「建物出入口階」の設定により、「区分 b」の入力範囲が異なります。（「3.1 住戸構成図の作成」を参照）

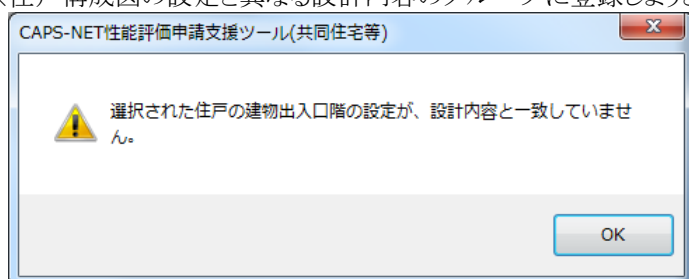
また、メゾネット住戸の場合は、出入口のある階と、その他の階を分けて入力します。

入力項目

項目	説明
10-1 開口部の侵入防止対策	
建物の形状	
<input checked="" type="checkbox"/> メゾネット住戸 <input type="checkbox"/> 2層 <input checked="" type="checkbox"/> 3層 <input type="checkbox"/> 1階 <input type="checkbox"/> 2階 <input type="checkbox"/> 3階	メゾネット住戸について入力する場合、メゾネット住戸を選択し、さらに階層数も選択します。 「1 階、2 階」のように階層ごとに入力します。 ※メゾネット住戸がない場合には表示されません。
<input checked="" type="checkbox"/> フラット	メゾネット以外の場合は、「フラット」の画面で入力します。

評価住戸の階	<p>項目を選択します。</p> <p>“建物出入口口の存する階の住戸”を選択の場合、 区分 a、b、cについて入力します。</p> <p>“建物出入口口の存する階以外の階の住戸”を選択の場合、 区分 a、b(i)、b(ii)、cについて入力します。</p>
区分及び措置	
区分a	<p>住戸の出入口口について、該当する項目を選択します。</p> <p>※侵入防止上有効な措置を選んだ場合は、更に雨戸等による対策かどうかをチェックすることができます。(すべての区分で同様)</p>
区分b	<p>外部からの接近が比較的容易な開口部について、該当する項目を選択します。</p> <p>※建物出入口と同じ階にある住戸の場合に入力します。</p>
区分b(i)	<p>共用廊下または共用階段について、該当する項目を選択します。</p> <p>※建物出入口階以外にある住戸の場合に入力します。</p>
区分b(ii)	<p>バルコニー等について、該当する項目を選択します。</p> <p>※建物出入口階以外にある住戸の場合に入力します。</p>
区分c	<p>その他の開口部について、該当する項目を選択します。</p>
記載図書	<p>提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、階層やグループ分けとは関係ありません。</p> <p>その他の記載図書は3つまで入力可能です。</p>

※住戸構成図の設定と異なる設計内容のグループに登録しようとすると、下のメッセージが表示されます。



5.11 音環境



※「3. 2 住戸ごとの性能表示項目選択」において[8-1 重量床...]～[8-4 透過損失...]全ての項目を全住戸で未選択とした場合はボタンが無効になり、本画面が呼び出せません。

音環境(騒音対策)について、タイプごとまたは住戸グループごとに設計内容を入力します。

	601	602	603	604	EVホール	605
6F ▾	A	B	BB	C		D
	501	502	503	504	EVホール	505
5F ▾	A	B	BB	C		D
	401	402	403	404	EVホール	405
4F ▾	A	B	BB	C		D
	301	302	303	304	EVホール	305
3F ▾	A	B	BB	C		D
	201	202	203	204	EVホール	吹抜け
2F ▾	A	B	BB	C		
1F ▾	駐車場	駐車場	ゴミ置き場	多目的室	EVホール	エントランス

項目選択メニュー

設計内容説明書の「音環境に関すること」について、必要な入力項目が表示されます。

○設計内容の入力単位

「8-1 重量床」、「8-2 軽量床」は設計タイプごとに入力します。

ただし、一つの設計タイプ内に設計内容の異なる住戸がある場合は、住戸グループとして処理することができます。

「8-3 透過損失等級(界壁)」、「8-4 透過損失等級(外壁開口部)」は、住戸グループごとに入力します。

○設計内容の自動グルーピング

「8-1 重量床」、「8-2 軽量床」では、入力された設計内容が複数の住戸グループ同士で同じ場合に自動でグルーピングが行われ、複数の住戸グループを単一のグループとして印刷することができます。

5.11.1 重量床

評価項目

音環境に関すること

表示事項

8-1 重量床

8-2 軽量床

8-3 透過損失等級(界壁)

8-4 透過損失等級(外壁開口部)

8-1 重量床

記載図書 (全グループ共通)

☐ 仕様書

☐ 平面図

☐ 構造図

その他の記載図書

1.

2.

3.

8-1 重量床

新しい設計内容を入力してください。

設計タイプ: A

基準

☐ 重量床衝撃音対策等級

☐ 相当スラブ厚

入力項目

項目	説明
8-1 重量床	
設計タイプ	設計タイプをリストから選択します。 <div><div>A</div><div>A</div><div>B</div><div>BB</div><div>C</div><div>D</div></div>
基準	性能表示事項を選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。
以下は「設計内容の確認・変更」時に表示されます。	
グルーピング結果	設計内容の同じ住戸グループ同士は自動的にグループ化され、共通のグループ番号と色が表示されます。 ※グループ分類図にもグルーピング後の色が表示されます。 <div><div>グルーピング結果</div><div>グループ 1</div></div>
設計タイプを選択し直す	設計タイプを変更する必要がある場合にチェックします。

① 重量床衝撃音対策等級

8-1 重量床

新しい設計内容を入力してください。

設計タイプ: A

基準

☒ 重量床衝撃音対策等級 ☐ 相当スラブ厚

8-1 イ 重量床衝撃音対策等級

☐ 上階界床該当なし ☐ 下階界床該当なし

上階界床 (最高) 上階界床 (最低) 下階界床 (最高) 下階界床 (最低)

上階界床 - 最高

等級

☒ 等級5 ☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

受音室名:

特認

☐ 特別評価方法認定による 認定番号:

床構造

☒ 均質単板スラブ ☐ ボイドスラブ

施工方法

ΔL = +5

☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)㊦㊱(㊱)に適合)の上に施工

☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)㊦㊱(㊱)に適合)の上に施工

ΔL = 0

☐ 直接床構造の上に施工

☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)㊦㊱e(㊱)に適合)の上に施工

☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)㊦㊱e(㊱iii)に適合)の上に施工

☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)㊦㊱e(㊱iv)に適合)の上に施工

☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)㊦㊱e(㊱v)に適合)の上に施工

☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)㊦㊱e(㊱vi)に適合)の上に施工

☐ 発泡プラスチック形床下地構造材の上に施工

ΔL = -5

☐ その他の床下地構造材の上に施工

上階界床 (最高、最低)と下階界床 (最高、最低)のそれぞれで重量床衝撃音対策等級について入力します。

入力項目

項目	説明
8-1 イ重量床衝撃音対策等級	
上階界床該当なし	直上に他住戸等の床がない場合は選択します。
下階界床該当なし	直下に他住戸等の床がない場合は選択します。
等級	衝撃音対策等級を選択します。
受音室名	受音室名を入力します。
特認	
特別評価方法認定による	特別評価方法認定を受けている場合は選択します。
認定番号	認定番号を入力します。
床構造	床構造を選択します。
施工方法	
施工方法	施工方法を選択します。

認定番号	特別評価方法認定を受けている場合は認定番号を入力します。
床仕上げ材	
床仕上げ材	床仕上げ材を選択します。
認定番号	認定番号を入力します。
等価厚さ(以上)	等価厚さを選択します。
受音室面積(以下)	受音室面積を選択します。
端部拘束条件	端部拘束条件を選択します。

② 相当スラブ厚(建物構造が木造以外の場合)

8-1 重量床

新しい設計内容を入力してください。

設計タイプ: A

基準
☐ 重量床衝撃音対策等級 ☒ 相当スラブ厚

8-1 ロ 相当スラブ厚

☐ 上階界床該当なし ☐ 下階界床該当なし

上階界床(最高) 上階界床(最低) 下階界床(最高) 下階界床(最低)

上階界床 - 最高

相当スラブ厚 (cm以上)
☒ 27cm以上 ☐ 20cm以上 ☐ 15cm以上 ☐ 11cm以上 ☐ 他

受音室名:

床構造
☒ 均質単板スラブ ☐ ボイドスラブ ☐ その他の床構造

施工方法
 $\Delta L = +5$
☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)ロ②d(i)に適合)の上に施工
☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)ロ②d(ii)に適合)の上に施工
 $\Delta L = 0$
☐ 直接床構造の上に施工
☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)ロ②e(ii)に適合)の上に施工
☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)ロ②e(iii)に適合)の上に施工
☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)ロ②e(iv)に適合)の上に施工
☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)ロ②e(v)に適合)の上に施工
☐ 乾式二重床下地構造材(8-1(3)ロ②e(vi)に適合)の上に施工
☐ 発泡プラスチック形床下地構造材の上に施工
 $\Delta L = -5$
☐ その他の床下地構造材の上に施工
☐ 特別評価方法認定による施工 認定番号:

上階界床(最高、最低)と下階界床(最高、最低)のそれぞれで相当スラブ厚について入力します。

入力項目

項目	説明
8-1 ロ相当スラブ厚(重量床衝撃音)	
上階界床該当なし	直上に他住戸等の床がない場合は選択します。

下階界床該当なし	直下に他住戸等の床がない場合は選択します。
相当スラブ厚(cm 以上)	相当スラブ厚を選択します。
受音室名	受音室名を入力します。
床構造	床構造を選択します。
施工方法	
施工方法	施工方法を選択します。(複数選択可)
認定番号	特別評価方法認定を受けている場合は認定番号を入力します。
床仕上げ材	
床仕上げ材	床仕上げ材を選択します。(複数選択可)
認定番号	認定番号を入力します。
相当スラブ厚	
重量床衝撃音レベル低減量(ΔL)	施工方法で選択した項目により、+5、0、-5、-のいずれかが表示されます。
床構造の等価厚さ(h1)	床構造の等価厚さを入力します。
相当スラブ厚(hs)	自動計算された相当スラブ厚が表示されます。編集はできません。

③ 相当スラブ厚(建物構造が木造の場合)

8-1 重量床

新しい設計内容を入力してください。

設計タイプ: D

基準

☐ 重量床衝撃音対策等級
☐ 相当スラブ厚
☒ 相当スラブ厚(木造)

8-1 □ 相当スラブ厚

☐ 上階界床該当なし
☐ 下階界床該当なし

上階界床(最高)
上階界床(最低)
下階界床(最高)
下階界床(最低)

上階界床 - 最高

相当スラブ厚 (cm以上)

☒ 11cm以上
☐ 他

受音室名:

床組の種類

☒ 在来軸組木造
☐ 枠組壁工法

床構造等(在来軸組)

☐ 断面寸法105mm×240mm以上の床ばりを、間隔910mm以内で配置
☐ 断面寸法45mm×105mm以上の根太を、間隔310mm以内で配置

☐ 床ばりと根太の上端が同一高さの床組
☐ 厚さ15mm以上の構造用合板をくぎを用いて根太に接合
☐ 厚さ15mm以上の構造用パネルをくぎを用いて根太に接合
☐ 厚さ15mm以上のパーティクルボード2枚以上をくぎを用いて根太に接合
☐ 根太の間に厚さ50mm以上のロックウール(40kg/m以上)

上階界床(最高、最低)と下階界床(最高、最低)のそれぞれで相当スラブ厚(重量床衝撃音)について入力します。

入力項目

項目	説明
8-1 ロ相当スラブ厚(重量床衝撃音)	
上階界床該当なし	直上に他住戸等の床がない場合は選択します。
下階界床該当なし	直下に他住戸等の床がない場合は選択します。
相当スラブ厚(cm 以上)	相当スラブ厚を選択します。
受音室名	受音室名を入力します。
床組の種類	床組の種類を選択します。 床組の種類によって床構造等の選択項目が変化します。
床構造等(在来軸組)	床構造を選択します。
床構造等(枠組)	床構造を選択します。
重量材	重量材を選択します。
床仕上げ材	床仕上げ材を選択します。
天井材	天井材を選択します。

5.11.2 軽量床

評価項目	8-2 軽量床
音環境に関すること	新しい設計内容を入力してください。
表示事項	設計タイプ: A
8-1 重量床	基準
8-2 軽量床	<input type="checkbox"/> 軽量床衝撃音対策等級 <input type="checkbox"/> 軽量床衝撃音レベル低減量
8-3 透過損失等級(界壁)	
8-4 透過損失等級(外壁開口部)	
8-2 軽量床	
記載図書 (全グループ共通)	
<input type="checkbox"/> 仕様書	
<input type="checkbox"/> 平面図	
<input type="checkbox"/> 構造図	
その他の記載図書	
1. <input type="text"/>	
2. <input type="text"/>	
3. <input type="text"/>	
<input type="button" value="X 設計内容を削除..."/> <input type="button" value="設計内容を登録..."/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

入力項目

項目	説明
8-2 軽量床	
設計タイプ	設計タイプをリストから選択します。 <div><div>A</div><div>A</div><div>B</div><div>BB</div><div>C</div><div>D</div></div>
基準	性能表示事項を選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。
以下は「設計内容の確認・変更」時に表示されます。	
グルーピング結果	設計内容の同じ住戸グループ同士は自動的にグループ化され、共通のグループ番号と色が表示されます。 ※グループ分類図にもグルーピング後の色が表示されます。 <div><div>グルーピング結果</div><div>グループ 1</div></div>
設計タイプを選択し直す	設計タイプを変更する必要がある場合にチェックします。

① 軽量床衝撃音対策等級

8-2 軽量床

新しい設計内容を入力してください。

設計タイプ: A

基準

☒ 軽量床衝撃音対策等級 ☐ 軽量床衝撃音レベル低減量

8-2 イ 軽量床衝撃音対策等級

☐ 上階界床該当なし ☐ 下階界床該当なし

上階界床 (最高) 上階界床 (最低) 下階界床 (最高) 下階界床 (最低)

上階界床 - 最高

等級

☒ 等級5 ☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1

受音室名:

特認

☐ 特別評価方法認定による 認定番号:

床構造区分

☒ 床仕上げ区分1 (均質単板:230mm以上、ボイドスラブの等価厚さ:280mm以上)

☐ 床仕上げ区分2 (均質単板:170mm以上、ボイドスラブの等価厚さ:230mm以上)

☐ 床仕上げ区分3 (均質単板:130mm以上、ボイドスラブの等価厚さ:200mm以上)

床仕上げ材

☐ 床仕上構造区分1

☐ 告示 ☐ 試験 ☐ 特認 認定番号:

☐ 床仕上構造区分2

☐ 告示 ☐ 試験 ☐ 特認 認定番号:

設計内容を削除...

設計内容を登録...

キャンセル

上階界床(最高、最低)と下階界床(最高、最低)のそれぞれで軽量床衝撃音対策等級について入力します。

入力項目

項目	説明
8-2 イ 軽量床衝撃音対策等級	
上階界床該当なし	直上に他住戸等の床がない場合は選択します。
下階界床該当なし	直下に他住戸等の床がない場合は選択します。
等級	衝撃音対策等級を選択します。
受音室名	受音室名を入力します。
特認	
特別評価方法認定による	特別評価方法認定を受けている場合は選択します。
認定番号	認定番号を入力します。
床構造区分	床構造区分を選択します。
床仕上げ材	
床仕上げ構造区分	床仕上げ構造区分を選択します。
種類	床仕上げ構造の認定方法を選択します。
認定番号	床仕上げ構造の認定番号を入力します。

② 軽量床衝撃音レベル低減量

8-2 軽量床

新しい設計内容を入力してください。

設計タイプ: B

基準

☐ 軽量床衝撃音対策等級
☒ 軽量床衝撃音レベル低減量

8-2 □ 軽量床衝撃音レベル低減量

☐ 上階界床該当なし
☐ 下階界床該当なし

上階界床(最高)
上階界床(最低)
下階界床(最高)
下階界床(最低)

上階界床 - 最高

レベル低減量(dB以上)

☒ 30dB以上
☐ 25dB以上
☐ 20dB以上
☐ 15dB以上
☐ 他

受音室名:

床仕上げ材

☒ 床仕上構造区分1

☒ 告示
☐ 試験
☐ 特認
認定番号:

☐ 床仕上構造区分2

☐ 告示
☐ 試験
☐ 特認
認定番号:

☐ 床仕上構造区分3

☐ 告示
☐ 試験
☐ 特認
認定番号:

☐ 床仕上構造区分4

☐ 告示
☐ 試験
☐ 特認
認定番号:

設計内容を削除...
設計内容を登録...
キャンセル

上階界床(最高、最低)と下階界床(最高、最低)のそれぞれで軽量床衝撃音レベル低減量について入力します。

入力項目

項目	説明
8-1 □軽量床衝撃音レベル低減量	
上階界床該当なし	直上に他住戸等の床がない場合は選択します。
下階界床該当なし	直下に他住戸等の床がない場合は選択します。
等級	レベル低減量を選択しま
受音室名	受音室名を入力します。
床仕上げ材	
床仕上げ構造区分	床仕上げ構造区分を選択します。
種類	床仕上げ構造の認定方法を選択します。
認定番号	床仕上げ構造の認定番号を入力します。

5.11.3 透過損失等級(界壁)

評価項目

音環境に関すること

表示事項

8-1 重量床

8-2 軽量床

8-3 透過損失等級(界壁)

8-4 透過損失等級(外壁開口部)

8-3 透過損失等級(界壁)

記載図書(全グループ共通)

☐ 仕様書
☐ 平面図
☐ 設備図
 その他の記載図書
 1.
 2.
 3.

8-3 透過損失等級(界壁)

新しい設計内容を入力してください。

界壁の遮音性能

☐ 該当なし
 等級
☐ 等級4 ☐ 等級3 ☐ 等級2 ☐ 等級1
☐ 認定書等(品確法)の活用 認定番号:
 界壁の構造・仕様
☐ 普通コンクリート厚さ26cm以上のRC造又はSRC造
☐ 普通コンクリート厚さ18cm以上のRC造又はSRC造
☐ 普通コンクリート厚さ12cm以上のRC造又はSRC造
☐ その他
 付帯条件 複数選択可
☐ コンセントボックス等が、当該界壁の両面の対面する位置に欠き込んで設け...
☐ GL工法としない
☐ 第30条の規定に適合

透過損失等級(界壁)について、住戸グループごとに設計内容を入力します。

入力項目

項目	説明
8-3 透過損失等級(界壁)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	透過損失等級(界壁)を選択します。
認定書等(品確法)の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
界壁の構造・仕様	界壁の構造・仕様を選択します。
付帯条件	付帯条件を選択します。(複数選択可)
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

5.11.4 透過損失等級(外壁開口部)

透過損失等級(外壁開口部)について、住戸グループごとに設計内容を入力します。

※8-4 透過損失等級(外壁開口部)では、設計内容の登録時に 7-1 光視環境と整合性のチェックを行います。
各方位の開口部の有無が一致していない場合は登録することができません。

入力項目

項目	説明
8-4 透過損失等級(外壁開口部)	
北の方位のサッシ・ドアセット(最低のもの)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	北の方位の透過損失等級(外壁開口部)を選択します。
認定書等(品確法)の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
JIS-A4706(A4702)の試験方法 による透過損失の平均値	透過損失の平均値を選択します。
JIS の遮音等級表示品	遮音等級表示品を選択します。
東の方位のサッシ・ドアセット(最低のもの)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	東の方位の透過損失等級(外壁開口部)を選択します。

認定書等(品確法)の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
JIS-A4706(A4702)の試験方法 による透過損失の平均値	透過損失の平均値を選択します。
JIS の遮音等級表示品	遮音等級表示品を選択します。
南の方位のサッシ・ドアセット(最低のもの)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	南の方位の透過損失等級(外壁開口部)を選択します。
認定書等(品確法)の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
JIS-A4706(A4702)の試験方法 による透過損失の平均値	透過損失の平均値を選択します。
JIS の遮音等級表示品	遮音等級表示品を選択します。
西方位のサッシ・ドアセット(最低のもの)	
該当なし	該当なしの場合は選択します。
等級	西の方位の透過損失等級(外壁開口部)を選択します。
認定書等(品確法)の活用	認定書等を活用して申請する場合は選択します。
認定番号	認定書等を活用する場合に、認定番号を入力します。
JIS-A4706(A4702)の試験方法 による透過損失の平均値	透過損失の平均値を選択します。
JIS の遮音等級表示品	遮音等級表示品を選択します。
記載図書	提出する図面や書類を選択します。全グループの共通事項なので、グループ分けとは関係ありません。 その他の記載図書は3つまで入力可能です。

6 結果確認および印刷

入力した設計内容説明書および自己評価書の概要を確認し、提出物の印刷を行います。

結果確認

印刷

6.1 結果確認



ファイル(E) ヘルプ(H)		操作方法的表示																																																																																											
<div> <div>メインメニューへ戻る</div> <div>処理の選択</div> <div>自己評価一覧表(住棟)</div> <div>自己評価一覧表(住戸)</div> <div>印刷</div> </div>		<table border="1"> <tr> <td colspan="4">1. 構造の安定</td> </tr> <tr> <td>1-1</td> <td>耐震等級(倒壊等防止)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>耐震等級(損傷防止)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>その他</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>1-4</td> <td>耐風等級</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>耐積雪等級</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1-6</td> <td rowspan="5">地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法</td> <td>地盤の許容応力度</td> <td>-</td> <td>kN/m²</td> </tr> <tr> <td>杭状改良地盤の許容支持力</td> <td>-</td> <td>kN/m²</td> </tr> <tr> <td>杭状改良地盤の許容支持力</td> <td>-</td> <td>kN/本</td> </tr> <tr> <td>杭の許容支持力</td> <td>-</td> <td>kN/本</td> </tr> <tr> <td>設定方法(地盤調査方法等)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1-7</td> <td rowspan="5">基礎の構造方法及び形式等</td> <td>直接基礎</td> <td>構造方法</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>形式</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">杭基礎</td> <td>杭種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>杭径</td> <td>-</td> <td>cm</td> </tr> <tr> <td>杭長</td> <td>-</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td colspan="4">2. 火災時の安全</td> </tr> <tr> <td>2-5</td> <td>耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部)]</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>2-6</td> <td>耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部以外)]</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="4">3. 劣化対策</td> </tr> <tr> <td>3-1</td> <td>劣化対策等級(構造躯体等)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="4">4. 維持管理、更新対策</td> </tr> <tr> <td>4-2</td> <td>維持管理対策等級(共用配管)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>更新対策等級</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </table>		1. 構造の安定				1-1	耐震等級(倒壊等防止)	-		1-2	耐震等級(損傷防止)	-		1-3	その他	-		1-4	耐風等級	-		1-5	耐積雪等級	-		1-6	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤の許容応力度	-	kN/m ²	杭状改良地盤の許容支持力	-	kN/m ²	杭状改良地盤の許容支持力	-	kN/本	杭の許容支持力	-	kN/本	設定方法(地盤調査方法等)	-		1-7	基礎の構造方法及び形式等	直接基礎	構造方法	-		形式	-	杭基礎	杭種	-	杭径	-	cm	杭長	-	m	2. 火災時の安全				2-5	耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部)]	-		2-6	耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部以外)]	-		3. 劣化対策				3-1	劣化対策等級(構造躯体等)	-		4. 維持管理、更新対策				4-2	維持管理対策等級(共用配管)	-			更新対策等級	-	
1. 構造の安定																																																																																													
1-1	耐震等級(倒壊等防止)	-																																																																																											
1-2	耐震等級(損傷防止)	-																																																																																											
1-3	その他	-																																																																																											
1-4	耐風等級	-																																																																																											
1-5	耐積雪等級	-																																																																																											
1-6	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤の許容応力度	-	kN/m ²																																																																																									
		杭状改良地盤の許容支持力	-	kN/m ²																																																																																									
		杭状改良地盤の許容支持力	-	kN/本																																																																																									
		杭の許容支持力	-	kN/本																																																																																									
		設定方法(地盤調査方法等)	-																																																																																										
1-7	基礎の構造方法及び形式等	直接基礎	構造方法	-																																																																																									
			形式	-																																																																																									
		杭基礎	杭種	-																																																																																									
			杭径	-	cm																																																																																								
			杭長	-	m																																																																																								
2. 火災時の安全																																																																																													
2-5	耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部)]	-																																																																																											
2-6	耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部以外)]	-																																																																																											
3. 劣化対策																																																																																													
3-1	劣化対策等級(構造躯体等)	-																																																																																											
4. 維持管理、更新対策																																																																																													
4-2	維持管理対策等級(共用配管)	-																																																																																											
	更新対策等級	-																																																																																											

項目選択メニュー

処理の選択
自己評価一覧表(住棟)
自己評価一覧表(住戸)
印刷

入力結果の確認と印刷項目が表示されます。

6.1.1 自己評價一覽(住棟)

ファイル(E) ヘルプ(H)					
メインメニューへ戻る 操作方法の表示					
処理の選択					
自己評価一覧表(住棟)					
自己評価一覧表(住戸)					
印刷					
印刷					
1. 構造の安定					
1-1	耐震等級(倒壊等防止)	3			
1-2	耐震等級(損傷防止)	3			
1-3	その他	その他			
1-4	耐風等級	2			
1-5	耐積雪等級	該当対象区域外			
1-6	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤の許容応力度	1500	kN/m ²	
		杭状改良地盤の許容支持力度	-	kN/m ²	
		杭状改良地盤の許容支持力	-	kN/本	
		杭の許容支持力	1,000 ~ 1,000	kN/本	
		設定方法 (地盤調査方法等)	標準貫入試験、スウェーデン式サウンディング試験 表層改良、涌強土工法		
1-7	基礎の構造方法及び形式等	直接基礎	構造方法	鉄筋コンクリート造	
			形式	べた基礎	
			杭種	支持杭	
		杭基礎	杭径	45-45・45~60・0-60	cm
			杭長	2~4	m
2. 火災時の安全					
2-5	耐火等級【延焼のおそれのある部分(開口部)】	3			
2-6	耐火等級【延焼のおそれのある部分(開口部以外)】	2			
3. 劣化対策					
3-1	劣化対策等級(構造躯体等)	3			
4. 維持管理、更新対策					
4-2	維持管理対策等級(共用配管)	2			
	更新対策等級	3			

住棟に関する自己評価を一覧形式で確認します。

表示項目

項目	説明
自己評価	<p>評価項目ごとに、一覧で設計内容が表示されます。</p> <p>※自己評価一覧表(印刷帳票)の内容を、印刷前に確認することができます。</p>

6.1.2 自己評価一覧(住戸)

ファイル(E) ヘルプ(H)

メインメニューへ戻る | タイプ名順 | 住戸番号順 | 操作方法的表示

処理の選択

- 自己評価一覧表(住棟)
- 自己評価一覧表(住戸)
- 印刷

自己評価一覧表(住戸)		2. 火災時の安全										4. 維持管理・更新				
No	タイプ	住戸番号	2-1		2-2		2-3 避難安全対策		2-4 脱出対策				2-7	4-1	4-4 更新	
			感知警報(住戸火災時)	感知警報(他住戸火災時)	排煙形式	平面形状	耐火等級(隔壁の開口部)	直通階段に通ずるバルコニー	隣戸に通ずるバルコニー	避難器具	その他	耐火等級(界壁及び界床)	維持管理(専用配管)	階(バルコニー)	躯体天井高(mm以上)	最も低い部分
1	A(1)	101	3	該当なし	開放廊下	2方向避難	-	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	-	2	-	2,457	梁
2	B(1)	102	3	該当なし	開放廊下	2方向避難	-	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	-	2	-	2,457	梁
3	B(1)	103	3	該当なし	開放廊下	2方向避難	-	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	-	2	-	2,457	梁
4	C(1)	104	3	該当なし	開放廊下	2方向避難	-	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	-	2	-	2,457	梁
5	A(2)	201	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁
6	B(2)	202	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁
7	B(2)	203	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁
8	C(2)	204	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁
9	A(2)	301	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁
10	B(2)	302	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁
11	B(2)	303	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁
12	C(2)	304	3	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	-	2,457	梁

住戸に関する自己評価を一覧形式で確認します。

表示項目

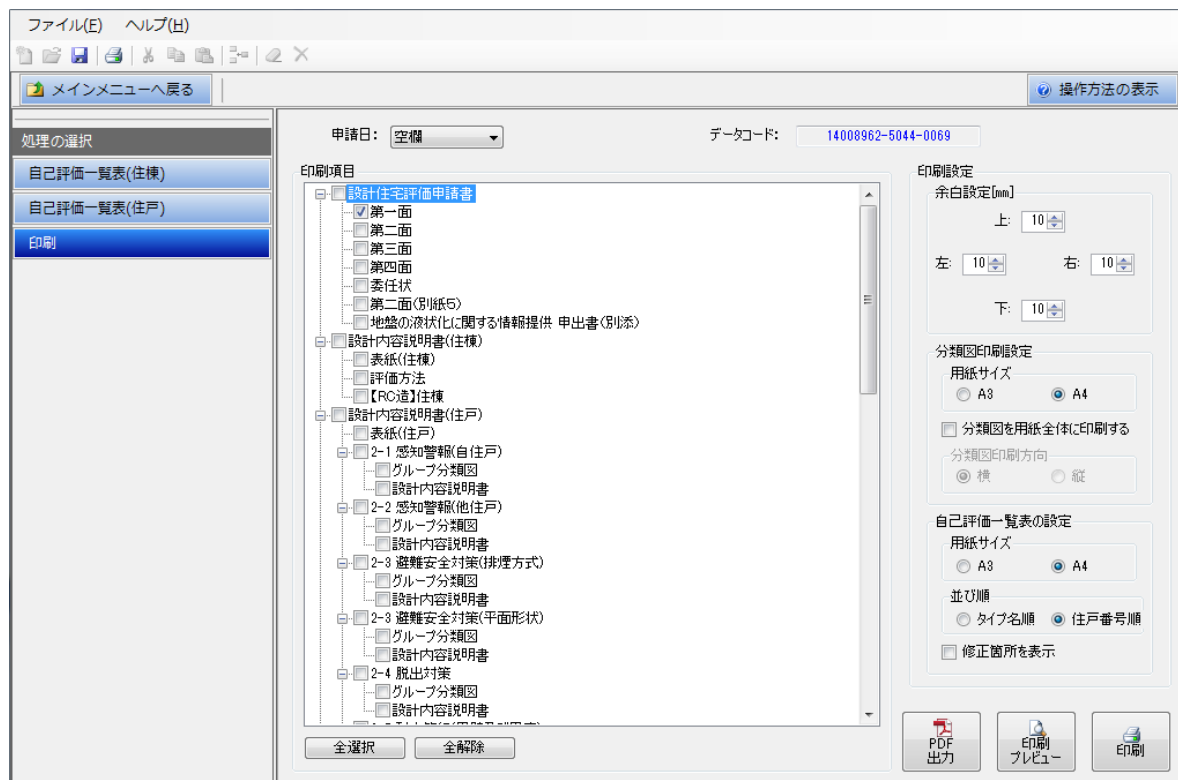
項目	説明
自己評価	評価項目ごとに、一覧で設計内容が表示されます。 ※自己評価一覧表(印刷帳票)の内容を、印刷前に確認することができます。
タイプ名順、住戸番号順	自己評価一覧表の並び順を、「タイプ名順」と「住戸番号順」から選びます。 ※ここで指定した内容は「6.2 印刷」へも引き継がれます。

※各評価事項で設定したすべての内容の重ね合わせによる最終グルーピング(タイプ分類)が自動生成され、その設定内容が各欄に表示されます。

※3. 2 住戸ごとの性能評価項目の選択 で未選択の項目は、 表示となり内容を表示しません。


自己評価一覧表(住戸)																		
住戸			2. 火災時の安全								4. 維持管理・更新							
No	タイプ	住戸番号	2-1		2-2		2-3 避難安全対策		2-4 脱出対策				2-7	4-1	4-4 更新対策			
			感知警報(住戸火災時)	感知警報(他住戸火災時)	排煙形式	平面形状	耐火等級(隔壁の開口部)	直通階段に通ずるバルコニー	隣戸に通ずるバルコニー	避難器具	その他	耐火等級(界壁及び界床)	維持管理(専用配管)	階(バルコニー)	躯体天井高		壁・柱の有無	
														躯体天井高(mm以上)	最も低い部分	内法高さ(mm以上)		
1	A	101		3	機械排煙	2方向避難	-	-	○	-	-	2						
2	A	102		3	機械排煙	2方向避難	-	-	○	-	-	2						
3	A	103		3	機械排煙	2方向避難	-	-	○	-	-	2						
4	B	201	3		機械排煙	その他	3	-	○	ロープはし	-	2						
5	B	202	3		機械排煙	その他	3	-	○	ロープはし	-	2						
6	B	203	3		機械排煙	その他	3	-	○	ロープはし	-	2						
7	C	301	3	3					○	ロープはし	-	2						
8	C	302	3	3					○	ロープはし	-	2						

6.2 印刷



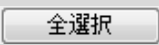
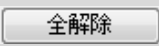



申請書、設計内容説明書およびグループ分類図の印刷を行います。

印刷項目が階層形式で表示されます。印刷の画面は、メインメニューで以下の操作をすると表示されます。

・[ファイル(F)]-[印刷(P)...]メニューを選択、またはツールバー上の  ボタンをクリックした場合に表示

選択項目

項目	説明																																																	
申請日	<p>入力方法をリストから選択します。</p> <div><div>空欄▼</div><div>システム日付 入力 空欄</div></div> <p>入力方法が、システム日付または入力の場合、<div>2012年 4月19日</div><div>▼</div>が表示されますので、直接入力するか、<div>▼</div> ボタンをクリックして申請日を選択します。</p> <div><div>◀ 2012年6月 ▶</div><table><tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr><tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr><tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr><tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr></table><div><input type="checkbox"/> 今日: 2012/04/19</div></div>	日	月	火	水	木	金	土	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7
日	月	火	水	木	金	土																																												
27	28	29	30	31	1	2																																												
3	4	5	6	7	8	9																																												
10	11	12	13	14	15	16																																												
17	18	19	20	21	22	23																																												
24	25	26	27	28	29	30																																												
1	2	3	4	5	6	7																																												
データコード	<p>申請図書とその図書を印刷した物件データファイルが一致することを示すコードです。</p> <p>(「 6.2.1 データコードについて」を参照)</p>																																																	

印刷項目	印刷する帳票名やグループ分類図を選択します。 階層表示になっていますので、より上の階層をチェックすると、配下の項目をまとめてチェックすることができます。
印刷設定	
余白設定	出力帳票の余白(上下左右)を 10mm～ 99mm の範囲で設定します。
分類図印刷設定	
用紙サイズ	印刷するグループ分類図またはタイプ分類図の用紙サイズを選択します。 高層および住戸数の多い大規模マンションの場合などに A3用紙を選択します。
分類図を用紙全体に印刷する	グループ分類図およびタイプ分類図を用紙全体を使って大きく印刷することができます。 ※チェックした場合、グループ番号の凡例および住戸番号一覧は、2 ページ目以降に印刷されます。 ※超高層の物件等で、普通に印刷すると分類図がよく見えない場合にご使用ください。
分類図印刷方向	「分類図を用紙全体に印刷する」をチェックすると選択できます。 分類図の形状に応じて横長で印刷するか縦長で印刷するか選択します。 ※2 ページ目以降は横方向固定です。
自己評価一覧表の設定	
用紙サイズ	印刷する自己評価一覧表の用紙サイズを選択します。
並び順	自己評価一覧表の住戸の並び順を「タイプ名順」と「住戸番号順」から選択します。
修正箇所を表示	チェック完了後から変更があった評価項目を色分けした状態(7.2.1、7.2.2 変更内容確認用自己評価一覧表と同様)で印刷します。
	全てを印刷範囲に指定できます。
	印刷範囲指定をまとめて解除できます。
	選択した項目を PDF ファイルとして出力します。(「6.2.3 PDF出力」を参照) 設計内容に変更があった場合はデータコードを更新します。
	選択した印刷項目をプレビューします。(「6.2.4 印刷プレビュー」を参照) 設計内容に変更があった場合はデータコードを更新します。
	選択した項目を印刷します。(「6.2.8 印刷」を参照) 設計内容に変更があった場合はデータコードを更新します。

※選択した帳票やグループ分類図の Excel ファイルは作成しません。

6.2.1 データコードについて

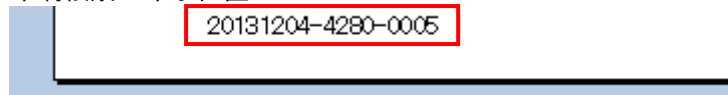
本プログラムで印刷した申請図書の左フッター(左下)には、「データコード」(16桁の英数字)が印字されます。データコードは以下の番号で構成されています。

11019988	—	1101	—	0003
受付番号(8) <固定>		ツール自動発行番号(4) <固定>		保存回数(4) ※ ()内は桁数 <可変>

この番号は、申請図書とその図書を印刷した物件データファイルが一致することを示すものなので、申請図書は、受付番号とツール自動発行番号が同じもので作成してください。

保存回数は申請書、設計内容を変更した後の上書き保存、又は印刷前に更新され、修正履歴に残ります。

印刷帳票の印字位置



物件情報の表示


物件情報	
建築物名称:	Ver1.2マニュアル用-全帳票
受付番号:	20131204
受付日:	2013/12/04
チェック完了日:	2013/12/04
最終データコード:	20131204-4280-0005

印刷画面の表示

0日	データコード:	20131204-4280-0005
----	---------	--------------------

データコードの更新メッセージ

CAPS-NET性能評価申請支援ツール(共同住宅等)

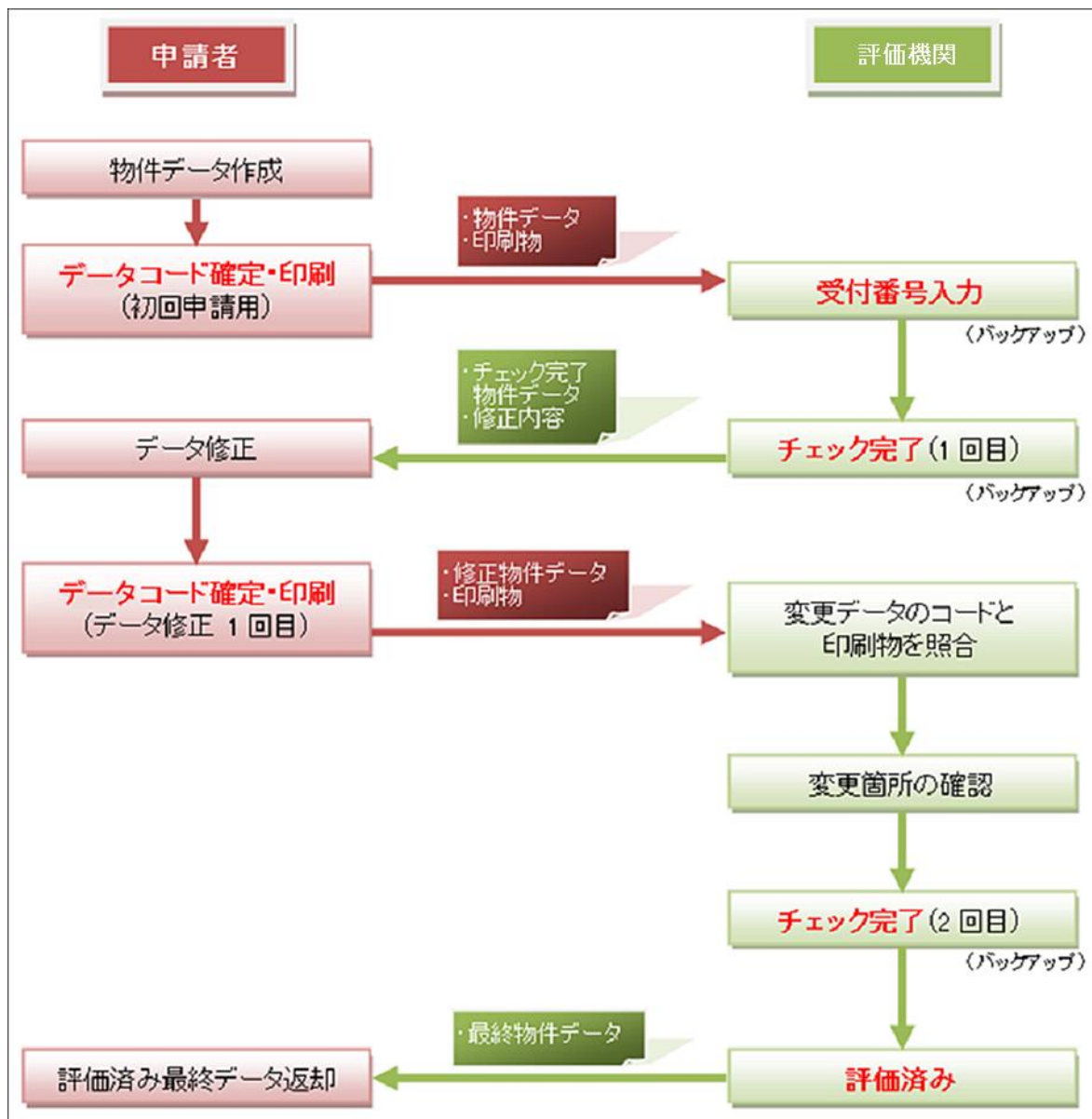
 前回データコードを発行した時点からデータが変更されているため、データコードを更新して物件ファイルを保存します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

6.2.2 申請データの流れ、修正履歴について

申請者と評価機関の間の申請データの流れ図です。以下のようにデータの受け渡し、受付・チェック・評価を行っています。

赤字の処理は修正履歴に記録されます。



※データコードは複数回更新されている場合もあります。

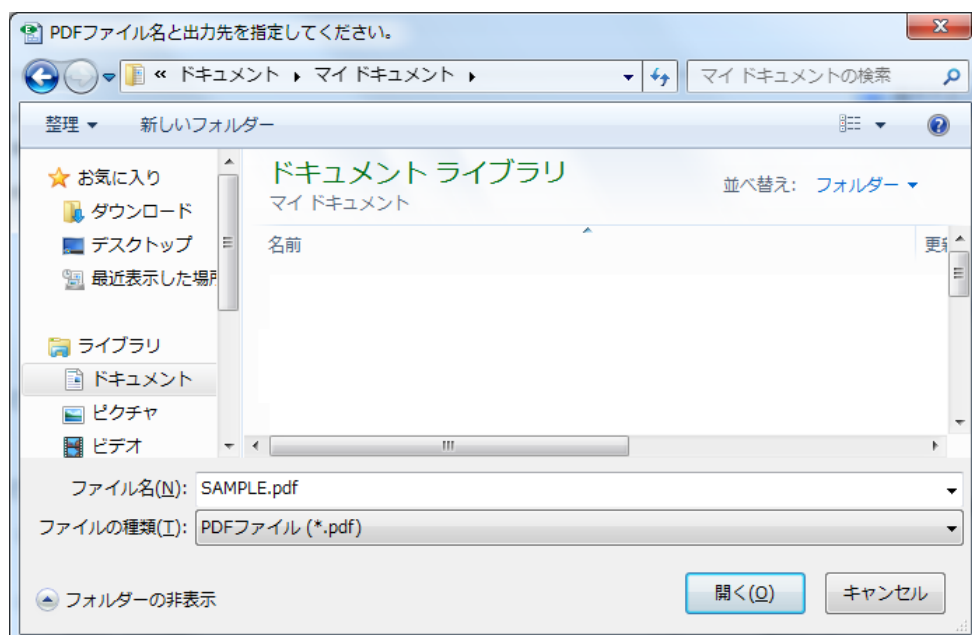
※「(バックアップ)」がある動作を行うとその時点の自己評価一覧表のバックアップを持ちます。

その後の変更により、自己評価一覧表が変わった場合は、バックアップとの比較を行い、変更点を強調表示します。

6.2.3 PDF 出力

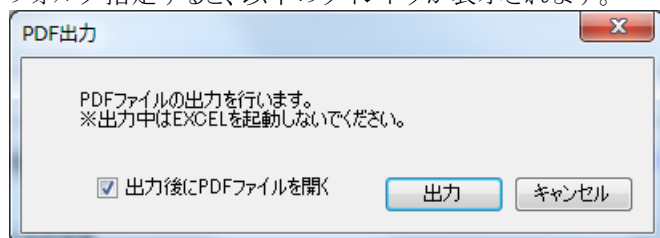


ボタンをクリックすると、PDF ファイルの保存先選択ウインドウが表示されます。



初期値として、「オプション」メニュー「全般」で指定した「カレントフォルダ」を開きますので、必要に応じて変更してください。

フォルダ指定すると、以下のウインドウが表示されます。

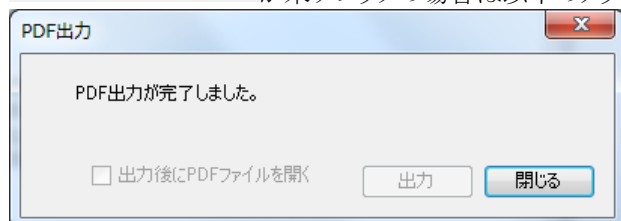


「出力」ボタンをクリックすると出力を開始し、出力が完了すると

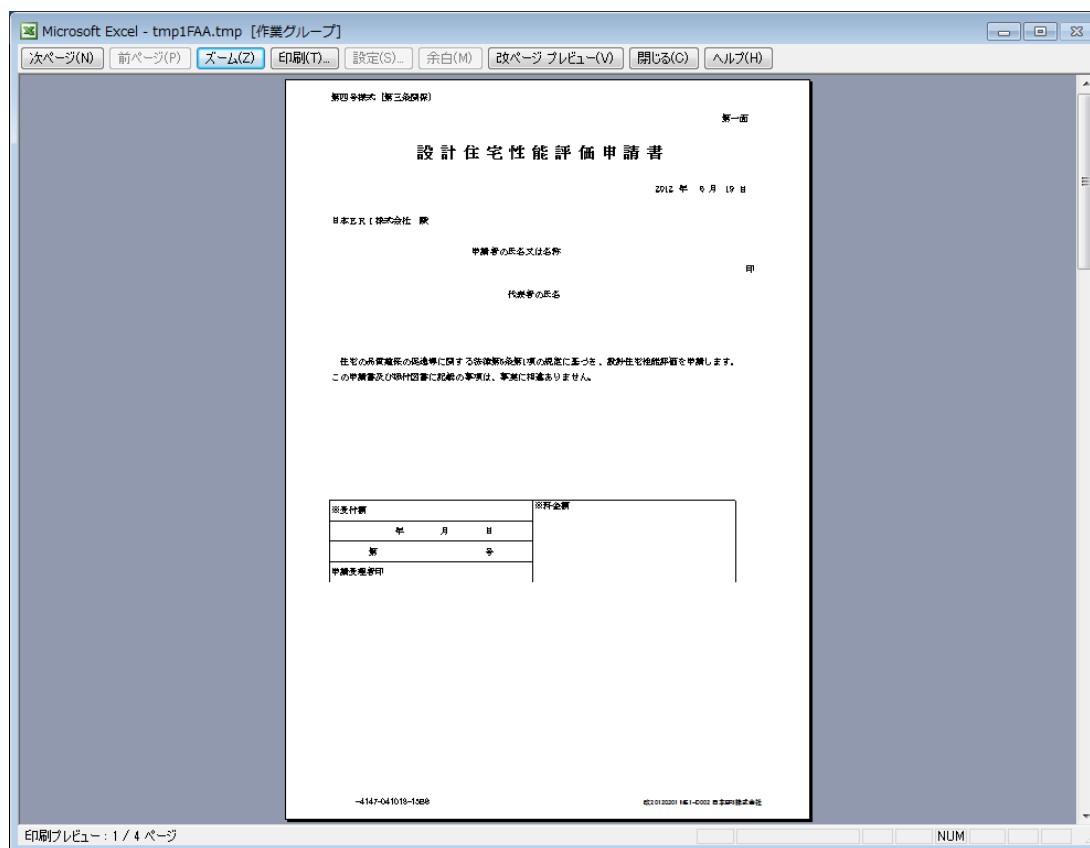
☒ 出力後にPDFファイルを開く がチェックされている場合 PDF ファイルが表示されます。

※Windows8 以降で標準ビューア「リーダー」をご利用の場合、ストアアプリのため画面がリーダーに切り替わりません。スタート画面を呼出し後に切り替える等してください。

☐ 出力後にPDFファイルを開く が未チェックの場合は以下のメッセージを表示します。



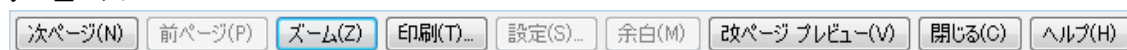
6.2.4 印刷プレビュー



「申請書」や「設計内容説明書」および「グループ分類図」の印刷イメージを画面で確認することができます。

※(グループ分類図は、「6.2.5 印刷プレビュー (グループ分類図)」を参照)

メニューバー



Microsoft-Excel のプレビュー画面が起動します。

操作方法の詳細は Microsoft-Excel のヘルプをご参照下さい。

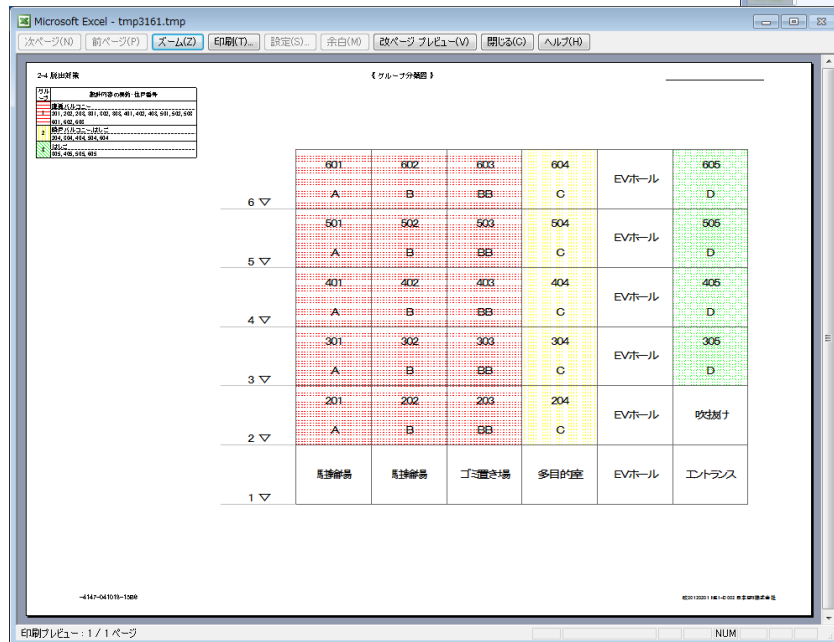
※印刷プレビューのために Excel を動作させていますので、改ページプレビューやヘルプは呼び出せません。

これらのボタンをクリックした場合は、印刷プレビューを終了します。

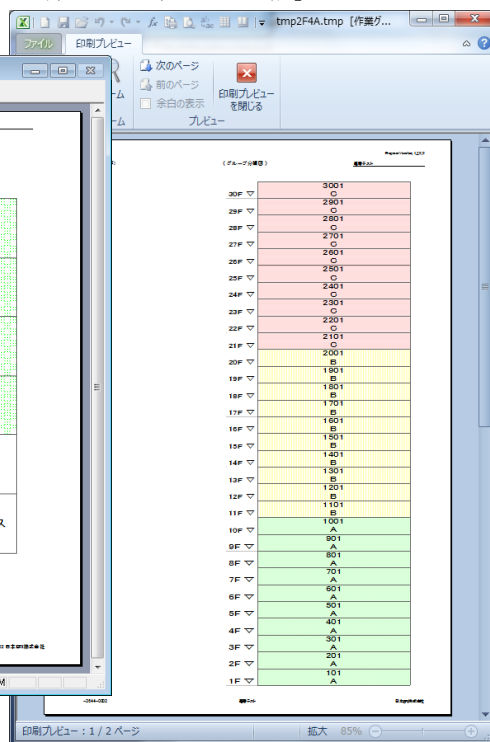
6.2.5 印刷プレビュー(グループ分類図)

「グループ分類図」の印刷イメージです。

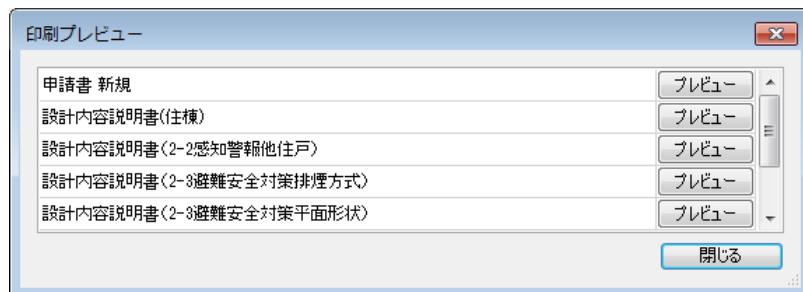
画像ページ印刷方向「横」



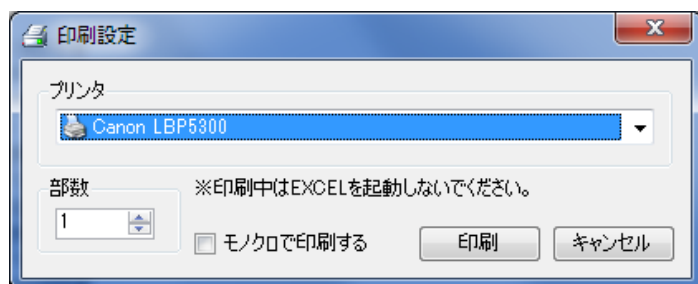
画像ページ印刷方向「縦」



6.2.6 印刷プレビュー(選択画面)



Excel2003 等の旧式の Microsoft-Excel の制限により、全ての印刷帳票を一度にプレビューすることができませんので、個別に帳票を選択してプレビューして下さい。



印刷前に表示されます。

使用するプリンタを指定して、「印刷」ボタンをクリックして下さい。

選択項目

項目	説明
プリンタ名	印刷に使用するプリンタを指定します。
部数	印刷する部数を指定します。
モノクロで印刷する	プリンタの設定に関わらずモノクロで印刷したい場合にチェックします。

7 物件情報

申請物件の申請日や修正内容を確認し、修正履歴などの入力を行います。

物件情報

修正履歴

7.1 物件情報

物件情報

建築物名称：SAMPLE

受付番号：00001234

受付日：2015/04/01

チェック完了日：2015/04/01

最終データコード：-1299-0000

修正履歴...

申請物件の情報確認を行います。

評価機関に申請した後は、修正履歴で申請後の訂正箇所を確認することができます。

項目

項目	説明
建築物名称	建築物の名称が表示されます。(「 2.2 建築物に関する事項」を参照)
受付番号 受付日	初回の申請後に受付番号と受付日を表示します。
チェック完了日	評価機関がチェックを行った直近の日付が表示されます。
最終データコード	最終データコードが表示されます。(「 6.2 印刷」を参照)
修正履歴...	受付番号、チェック完了日、前回から変更のあった自己評価一覧変更点の確認を行います。 (「 7.2 修正履歴」を参照)

7.2 修正履歴

内容	データコード
受付番号入力	-4280-0002
データコード更新	20131204-4280-0003
チェック回目	20131204-4280-0003
データコード更新	20131204-4280-0004
データコード更新	20131204-4280-0005

修正内容:
 以前のデータコード=20131204-4280-0004
 新しいデータコード=20131204-4280-0005
 4-4 更新対象(住戸専用部)
 10-1 開口部の侵入防止対策

自己評価一覧表の表示... チェックした履歴を削除... 閉じる

評価機関で受付番号を設定して返却された物件ファイルでは、修正履歴を表示することができます。

以下の日付と修正内容を記録して表示します。

- ・ (評価機関) 受付番号入力
- ・ (評価機関) チェック完了
- ・ データコードの更新 (内容変更後の上書き保存、または印刷・印刷プレビュー時)
- ・ (評価機関) 評価済み

「自己評価一覧表の表示」を選択すると、申請後の訂正箇所を確認することができます。

項目

項目	説明
日付	登録日、チェック完了日が表示されます。
内容	行った作業内容が表示されます。
データコード	登録日、チェック完了日のデータコードが表示されます。
修正内容	修正内容が表示されます。 新規登録の場合は「受付番号」、チェック完了・中間チェック完了の場合は「変更内容」が表示されます。
自己評価一覧表の表示...	住棟と住戸について、現在の自己評価内容が表示されます。 (「7.2.1 変更内容確認用自己評価一覧表(住棟)」、「7.2.2 変更内容確認用自己評価一覧表(住戸)」を参照)

7.2.1 変更内容確認用自己評価一覧表(住棟)

変更内容確認用自己評価一覧表

住棟 住戸 ☒ 住戸番号順 ☐ タイプ名順

1. 構造の安定			
1-1	耐震等級(倒壊等防止)		評価対象外
1-2	耐震等級(損傷防止)		評価対象外
1-3	その他		免震建築物
1-4	耐風等級		2
1-5	耐積雪等級		該当対象区域外
1-6	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤の許容応力度	1500 kN/m ²
		杭状改良地盤の許容支持力	580 kN/m ²
		杭状改良地盤の許容支持力	- kN/本
		杭の許容支持力	1,000 ~ 1,000 kN/本
		設定方法(地盤調査方法等)	標準貫入試験、スウェーデン式サウンディング試験 表層改良、補強土工法
1-7	基礎の構造方法及び形式等	直接基礎	構造方法 鉄筋コンクリート造
		形式	べた基礎
		杭種	支持杭
		杭基礎	杭径 45-45-45~60-0-60 cm
		杭長	2~4 m
2. 火災時の安全			
2-5	耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部)]		3
2-6	耐火等級[延焼のおそれのある部分(開口部以外)]		2
3. 劣化対策			
3-1	劣化対策等級(構造躯体等)		3
4. 維持管理、更新対策			
4-2	維持管理対策等級(共用配管)		2
	更新対策等級		3

開じる

前回のチェック完了時からの住棟に関する自己評価一覧の変更点が表示されます。

変更箇所は、赤の反転で強調表示されます。

表示項目

項目	説明
自己評価	評価項目ごとに、一覧で設計内容が表示されます。

7.2.2 変更内容確認用自己評価一覧表(住戸)

変更内容確認用自己評価一覧表

住棟 住戸 ● 住戸番号順 ○ タイプ名順

No	住戸	タイプ	住戸番号	2. 火災時の安全										4. 維持管理・更新			
				2-1	2-2	2-3 避難安全対策		2-4 脱出対策				2-7	4-1	4-4 更新			
				感知警報 (自住戸火災時)	感知警報 (他住戸火災時)	排煙 形式	平面 形状	耐火 等級 (隔壁の開口部)	直通 階段に 通ずる バルコニー	隣戸 に通ずる バルコニー	避難 器具	その他	耐火 等級 (界壁及び昇床)	維持 管理 (専用配管)	階 (バルコニー)	躯体天井高 (mm以上)	最も低い部分
1	A(1)	101	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—	2	—	2,454	梁
2	B(1)	102	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—	2	—	2,454	梁
3	B(1)	103	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—	2	—	2,454	梁
4	C(1)	104	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—	2	—	2,454	梁
5	A(2)	201	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁
6	B(2)	202	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁
7	B(2)	203	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁
8	C(2)	204	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁
9	A(2)	301	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁
10	B(2)	302	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁
11	B(2)	303	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁
12	C(2)	304	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	3	2	—	2,454	梁

開じる

前回のチェック完了時からの住戸に関する自己評価一覧の変更点が表示されます。

自己評価が変動した箇所は「赤」の反転で強調表示され、自己評価が変動しない軽度の変更があった箇所は「青」で強調表示されます。強調表示された箇所にマウスを合わせると、変更理由がポップアップ表示されます。

「変更理由」は、変更回数分保持され、評価機関に再送し「チェック完了」されるとクリアされます。

住戸番号	感知警報(自住戸火災時)	感知警報(他住戸火災時)	排煙形式	平面形状	耐火等級(隔壁の開口部)	バルコニー
101	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし
102	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし
103	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし
104	2	2	開放廊下	2方向避難	—	該当なし
201	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし
202	2	2	機械排煙	該当なし	該当なし	該当なし
...

データ変更

1: その他の修正

感知器種類変更

2: その他の修正

感知器種類変更

3: 入力ミスによる修正

データ変更

変更前のデータ= "該当なし"

変更後のデータ= "2"

1: 設計変更による修正

データ変更

変更前のデータ= "該当なし"

変更後のデータ= "機械排煙"

1: 入力ミスによる修正

項目	説明
自己評価	評価項目ごとに、一覧で設計内容が表示されます。

8 変更設計評価

変更設計申請用図書の作成を行います。

変更設計評価申請の流れ

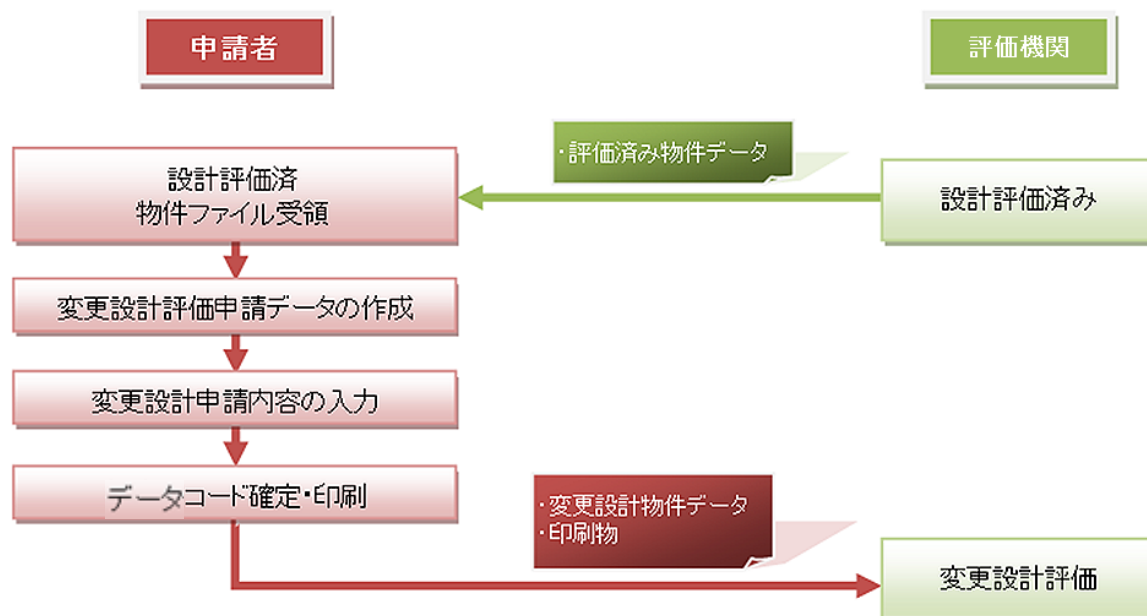
申請書の作成(変更申請)

住戸構成図の作成(変更申請)

変更する表示事項の選択

8.1 変更設計評価申請の流れ

以下の流れで、変更設計評価の申請書類の作成および申請を行います。

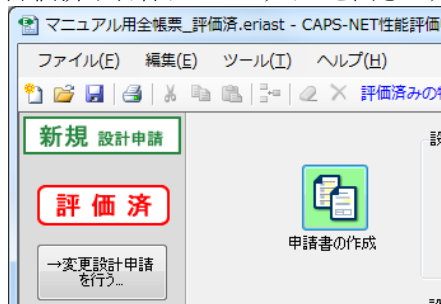


8.2 変更設計評価申請データの作成

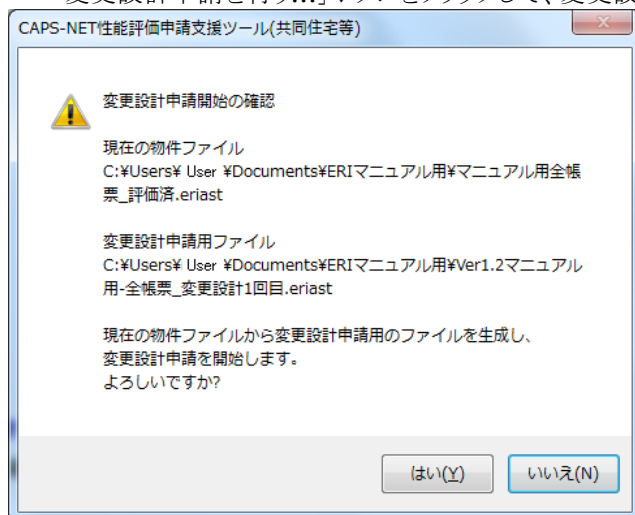
評価機関から返信された評価済み物件ファイルを元に変更設計申請用の図書の作成ができます。

変更設計用は新規用とは別ファイルにする必要がありますので、はじめに申請者は以下の手順で変更設計申請用データの作成を行います。

- 1) 評価済み物件データファイルを開きます。メイン画面に「評価済」と表示されています。



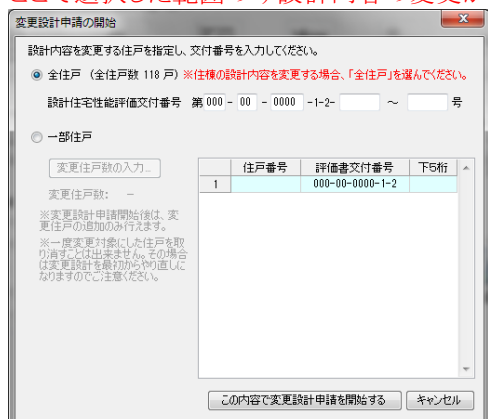
- 2) 「→ 変更設計申請を行う...」ボタンをクリックして、変更設計申請用の物件ファイルを作成します。



- 3) 2)で生成された**変更設計申請用物件ファイル**を自動で開きます。

ファイルを開くと同時に、変更設計申請を行う住戸の選択、交付番号の入力ダイアログが表示されますので、「全住戸」か「一部住戸」かを選択して入力します。

ここで選択した範囲のみ設計内容の変更が可能になります。



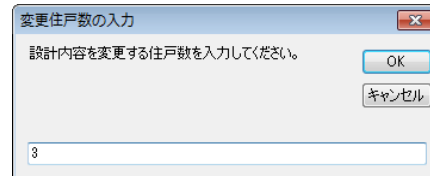
「全住戸」: 住棟の場合は全住戸を選択する必要があります。

交付番号の始まりを入ると住戸数から末番号をプログラムが表示します。

変更が必要な場合は後の「変更表示事項の選択」画面で行います。

「一部住戸」: **変更住戸数の入力...** ボタンをクリックして変更住戸数を入力してから、指定した変更住戸数分の住戸番号と交付番号を入力します。

※交付番号の評価機関番号を変更する場合、「全住戸」を選択した状態で評価機関番号を変更した後、「一部住戸」を選択してください。



変更住戸数の入力

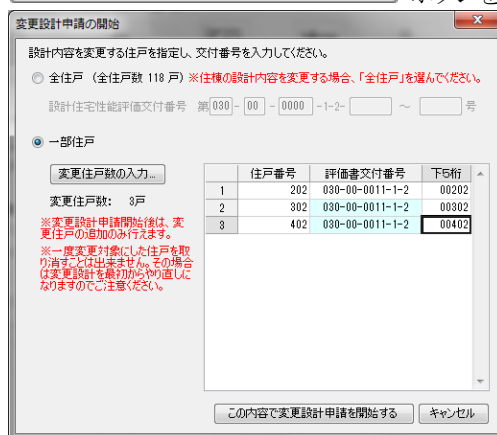
設計内容を変更する住戸数を入力してください。

OK

キャンセル

3

4) **この内容で変更設計申請を開始する** ボタンをクリックして、変更する住戸数を確定します。



変更設計申請の開始

設計内容を変更する住戸を指定し、交付番号を入力してください。

☐ 全住戸 (全住戸数 110 戸) ※住棟の設計内容を変更する場合、「全住戸」を選んでください。

設計住宅性能評価交付番号 第1 030 - 00 - 0000 - 1-2- ~ 号

☒ 一部住戸

変更住戸数の入力...

変更住戸数: 3 戸

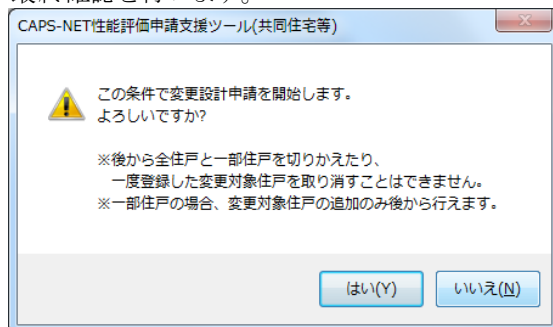
※一度変更対象にした住戸を取り消すことは出来ません。その場合は変更設計を最初からやり直さなければなりませんのでご注意ください。

	住戸番号	評価書交付番号	下5桁
1	202	030-00-0011-1-2	00202
2	302	030-00-0011-1-2	00302
3	402	030-00-0011-1-2	00402

この内容で変更設計申請を開始する

キャンセル

5) 最終確認を行います。



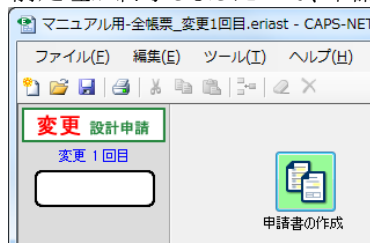
CAPS-NET性能評価申請支援ツール(共同住宅等)

この条件で変更設計申請を開始します。
よろしいですか?

※後から全住戸と一部住戸を切り替えたり、
一度登録した変更対象住戸を取り消すことはできません。
※一部住戸の場合、変更対象住戸の追加のみ後から行えます。

はい(Y) いいえ(N)

6) 前処理が終了しましたので、申請書の作成から変更設計内容の入力を開始します。



マニュアル用-全帳票_変更1回目.eriast - CAPS-NET

ファイル(E) 編集(E) ツール(I) ヘルプ(H)

変更 設計申請

変更 1 回目

申請書の作成

※必ず別ファイルとして保存されますが、変更設計申請用の物件ファイルとして保存すると、新規申請用に戻すことはできません。

8.3 申請書の作成(変更申請)



変更設計住宅性能評価申請書について入力します。

項目選択メニュー

申請情報項目が表示され、それぞれの画面で変更確認ができます。

8.3.1 変更の概要

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ 確認申請ツールのインポート 操作方法の表示

申請情報

変更の概要

申請者等の概要

建築物に関する事項

申請区分: 変更申請11回目

変更設計申請

変更範囲: 全住戸 (全住戸数 12 戸)

設計住宅性能評価交付番号 第 019 - 00 - 0000 - 1-2- 00001 ~ 00012 号 交付番号の更新...

変更の概要:

☒ 表紙 (320文字まで)

1	
2	
3	
4	

☐ 別紙 (4000文字まで) 別紙に入力する...

設計住宅性能評価書交付年月日:

2014年 1月22日

設計住宅性能評価書交付者:

項目

項目	説明
申請区分	変更申請の回数が表示されます。
変更範囲	変更申請の範囲が表示されます。
変更住戸数	変更申請する住戸数が表示されます。 一部住戸の場合は、変更対象住戸の追加が可能です。
変更の概要	変更申請の概要を入力します。
設計住宅性能評価書交付年月日	設計受託性能評価交付年月日を入力します。 受付日の入力方法と同様です。
設計住宅性能評価書交付者	設計住宅性能評価書交付者を入力するか、リストから選択します。
住戸番号および交付番号の確認と追加...	変更する住戸番号および交付番号の確認と追加を行います。

8.3.2 住戸番号、交付番号の入力

住戸番号、交付番号の入力

設計内容を変更する住戸の住戸番号および、設計住宅性能評価交付番号を入力します。

	住戸番号	評価書交付番号	下5桁
1	202	019-00-0000-1-2	00202
2	302	019-00-0000-1-2	00302
3	402	019-00-0000-1-2	00402

変更住戸を追加 保存して閉じる キャンセル

変更する住戸番号および交付番号の確認と変更住戸の追加を行います。

項目

項目	説明
住戸番号	住戸番号が表示されます。
評価書交付番号	評価書交付番号の下5桁を除いた番号が表示されます。 ※1行目のみ、確認および変更ができます。
下5桁 (評価書交付番号)	評価書交付番号の下5桁の確認および変更が行えます。
変更住戸を追加	変更住戸を追加します。
保存して閉じる	変更内容を保存します。

8.3.3 申請書の概要、建築物に関する事項

申請者等の概要、建築部に関する事項について、必要に応じて内容を変更します。

(「2.1 申請者等の概要」を参照)、「2.2 建築物に関する事項」を参照)

変更箇所は赤字で強調表示されます。

ファイル(E) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ | 確認申請ツールのインポート | 操作方法的表示

申請情報

変更の概要

申請者等の概要

建築物に関する事項

建築物名称: マニュアル用-全帳票

1. 地名地番: 都道府県 群馬県 市区郡 高崎市
区町村 新町
番地 1356-1
※住所は都道府県、市区郡、区町村、番地それぞれの欄に入力してください。

〈住居表示〉 都道府県 市区郡
※未決定の場合は空欄とする 区町村
番地
※住所は都道府県、市区郡、区町村、番地それぞれの欄に入力してください。

2. 都市計画区域: ☒ 都市計画区域内
(☒ 市街化区域 ☒ 市街化調整区域 ☐ 区域区分未設定)
☐ 準都市計画区域内
☐ 都市計画区域及び準都市計画区域外

3. 防火地域: ☒ 防火地域 ☐ 準防火地域 ☐ 指定なし
複数選択可

4. 敷地面積: 160.00 m²

5. 建て方: ☒ 共同住宅 ☐ 長屋

6. 建築面積: 120.00 m²

7. 延べ面積: 360.00 m²

8. 住戸の数
建物全体住戸数: 12 戸 評価対象住戸: 12 戸

9. 建築物の高さ等
最高の高さ: 10.000 m 最高の軒の高さ: 9.200 m

※建築物に関する事項の建て方、構造は変更できません。

8.4 住戸構成図の作成(変更申請)



ファイル(E) 編集(E) ツール(T) ヘルプ(H)

保存してメインメニューへ 100% 全住戸の選択 住戸情報... 操作方法的表示

階の設定 セルの結合・分割 メゾネット住戸の設定 住戸以外の選択 設計タイプ名 住戸番号 評価対象外の住戸 住戸に関する事項

階 列数 住戸数 避難階 建物出入口階

↑ 上階

3F	4	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2F	4	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1F	4	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

↓ 下階

合計 12

☐ 右側の階表示

避難階	301	302	303	304
3F ▾	A	B	B	C
2F ▾	A	B	B	C
1F ▾	A	B	B	C

変更住戸の結合・分割、住戸番号の変更がある場合に住戸構成図の変更を行います。

背景色が塗られている変更対象住戸(セル)に対してのみ、以下の処理を行うことが可能です。

- セルの結合・分割
- 住戸番号の変更
- 住戸情報の入力
(住戸番号、設計タイプ名、住戸の床面積、バルコニー等専用部分の床面積、界壁・界床の有無)
- 設計タイプ名の入力 ※結合・分割したセルについてのみ

操作方法は、新規作成時と同じですが、以下の制限があります。

- 階の設定は変更できません。
- セルの結合・分割を行った住戸(セル)は、設計内容(住戸)の分類情報をクリアしますので、グループの再割り当てが必要になります。一度クリアすると元の状態には戻せませんので、やり直したい場合は変更設計申請用ファイルの再作成から行います。
- セルの列幅の調整は自由に行えます。
- 上下セル(メゾネット)の結合はできません。
- 変更設計モードでは「元に戻す」、「やり直し」には対応しません。

8.5 変更する表示事項の選択

8.5.1 設計内容を変更する表示事項を選択する



変更する表示事項の選択

設計内容を変更する表示事項を選択してください。

☐ 性能表示項目の追加・削除を行う

住戸番号	タイプ名	交付番号	住戸													
			1-1～1-7 構造の安定	2-5、2-6 耐火等級	3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	4-2 維持管理対策等級(共用配管)	4-3 更新対策(共用排水管)	2-1 感知警報(自住戸)	2-2 感知警報(他住戸)	2-3 避難安全対策(排煙形式)	2-3 避難安全対策(平面形状)	2-4 脱出対策	2-7 耐火等級(界壁及び界床)	4-1 維持管理(配管)		
変更前	変更後	全ての変更対象住戸	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
101	101	B	019-00-0000-1-2-00001	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
102	102	B	019-00-0000-1-2-00002	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
103	103	B	019-00-0000-1-2-00003	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
104	104	B	019-00-0000-1-2-00004	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201	201	C	019-00-0000-1-2-00005	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
202	202	C	019-00-0000-1-2-00006	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
203	203	C	019-00-0000-1-2-00007	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
204	204	C	019-00-0000-1-2-00008	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
301	301	A	019-00-0000-1-2-00009	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
302	302	A	019-00-0000-1-2-00010	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
303	303	A	019-00-0000-1-2-00011	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
304	304	A	019-00-0000-1-2-00012	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※住戸を結合した場合は、交付番号を入力してください。
 ※住戸を分割した場合の交付番号については、各評価機関へお問い合わせください。

変更する表示事項を確定して閉じる キャンセル

設計内容を変更する表示事項を選択します。ここで選択した表示事項のみ変更が可能になります。

変更対象の表示事項を選択後、「確定して閉じる」ボタンをクリックすると、変更対象の住戸をグルーピングされていない状態にクリアして、変更が可能になります。

※「3.2 住戸ごとの性能評価項目選択」で未選択の項目は ☐ 表示となり、選択できません。

※一度クリアすると元の状態には戻せませんので、やり直したい場合は変更設計申請用ファイルの再作成から行って下さい。

※「確定して閉じる」ボタンを押した後は、住戸構成図で結合・分割処理を行うことはできません。

項目

項目	説明
住戸番号	変更前と変更後の住戸番号が表示されます。
タイプ名	変更住戸の設計タイプ名が表示されます。
交付番号	変更住戸の交付番号が表示されますが、変更することも可能です。

設計内容説明書(住棟)	変更する設計内容説明(住棟)の項目を選択します。 ※変更対象で「全住戸」を指定した場合に表示されます。
設計内容説明書(住戸)	変更する設計内容説明(住戸)の項目を住戸ごとに選択します。
変更する表示事項を確定して閉じる	変更内容を保存する場合はこのボタンをクリックします。

住戸の結合・分割後の表示

変更前	変更後	名	交付番号	2-6 耐火等級(開口部以外)	3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	4-2 維持管理対策等級(共用配管)	4-3 更新対策(共用排水管)	2-1 感知警報(住戸)	2-2 感知警報(他)
全ての変更対象住戸				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201	201	A	019-00-0000-1-2-11111	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
202	-	B	019-00-0000-1-2-11112	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
203	-	BB	019-00-0000-1-2-11113	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
-	202	B	019-00-0000-1-2-11112	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

結合前の住戸

結合後の住戸

住戸構成図で、住戸の結合および分割を行った場合は、上記のように表示されます。

※住戸を結合した場合は、交付番号を確認し必要に応じて変更して下さい。

※住戸を分割した場合の交付番号については、評価機関までお問い合わせ下さい。

※性能表示項目の選択を変更(解除、または新たに選択)する場合は

☐ 性能表示項目の追加・削除を行う チェックボックスをチェックします。(次項 8.5.2 参照)

8.5.2 性能表示項目の追加・削除を行う

☒ 性能表示項目の追加・削除を行う をチェックすると、各項目に対して「選択」、「変更」列が表示されます。

変更する表示事項の選択

性能表示項目の追加・削除および設計内容を変更する項目を選択してください。

☒ 必須項目のため選択は解除できません
☐ 5-1又は5-2のいずれか選択必須項目です
☐ 変更を確定した項目は再編集できません
☒ 性能表示項目の追加・削除を行う

☒ 選択を追加した場合は必ず変更となります
☐ 表示項目未選択のため変更できません

住戸番号	タイプ名	交付番号	2-6 耐火等級(開口部以外)		3-1 劣化対策等級(構造躯体等)		4-2 維持管理対策等級(共用配管)		4-3 更新対策(共用排水管)		2-1 感知警報(住戸)		2-2 感知警報(他)	
			選択	変更	選択	変更	選択	変更	選択	変更	選択	変更	選択	変更
全ての変更対象住戸			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
101	101	B	019-00-0000-1-2-00001	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
102	102	B	019-00-0000-1-2-00002	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
103	103	B	019-00-0000-1-2-00003	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
104	104	B	019-00-0000-1-2-00004	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
201	201	C	019-00-0000-1-2-00005	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
202	202	C	019-00-0000-1-2-00006	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
203	203	C	019-00-0000-1-2-00007	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
204	204	C	019-00-0000-1-2-00008	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
301	301	A	019-00-0000-1-2-00009	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
302	302	A	019-00-0000-1-2-00010	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
303	303	A	019-00-0000-1-2-00011	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
304	304	A	019-00-0000-1-2-00012	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	


※住戸を結合した場合は、交付番号を入力してください。
 ※住戸を分割した場合の交付番号については、各評価機関へお問い合わせください。

変更する表示事項を確定して閉じる キャンセル

※住棟部分は、変更対象で「全住戸」を指定した場合に表示されます。

「選択」列


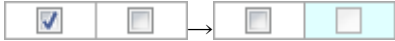
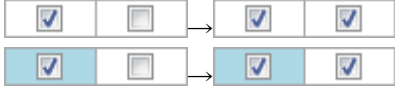
性能表示項目の選択状態が反映されます。

選択必須項目については、 表示となり選択を解除する事はできません。

「変更」列

設計内容を変更する表示事項を選択します。

性能表示項目が未選択の場合、 表示となりチェックはできません。

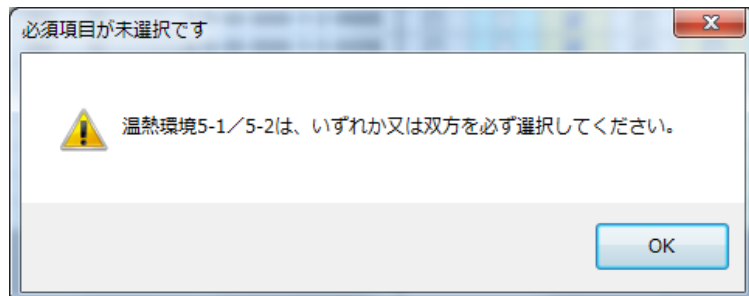
性能表示項目を追加で選択する		新たに設計内容の入力が必要になるため、「変更」が連動してチェックされます。（「変更」のみを解除はできません。）
性能表示項目を選択解除する		確定時に該当の設計内容が削除(住棟)または設計グループから削除(住戸)されますので、「変更」は連動してチェック不可になります。
設計内容を変更する項目をチェックする		住棟の場合、項目の設計内容を編集できます。 住戸の場合、設計グループから削除され、改めて設計内容を適用する事ができます。

温熱環境の項目選択は、5-1 断熱性能等級 / 5-2 一次エネルギー消費量等級 いずれか、

または双方の選択が必須となるため、 表示となっています。 双方未チェックで


変更する表示事項を確定して閉じる

ボタンをクリックした場合、以下のメッセージを表示して選択画面に戻ります。



変更する表示事項を確定して閉じる

をクリックして確定後に再度本画面を開いた場合は、前回で「変更」が確定

した項目は  表示となり、再度編集することはできません。

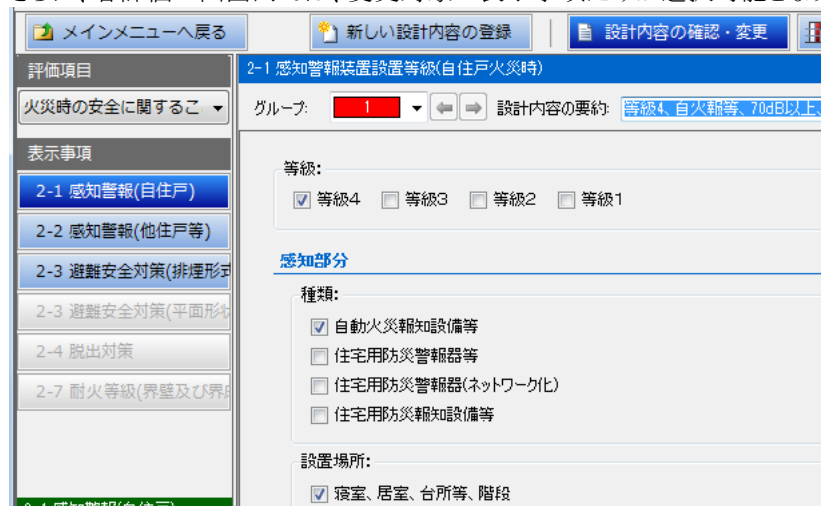
8.6 設計内容説明書の入力、印刷(変更申請)

8.6.1 設計内容説明書の入力(住棟、住戸)

変更する表示事項を選択すると、メインメニューでは変更対象の設計内容説明書の入力ボタンが有効になります。



さらに、各評価の画面内では、変更対象の表示事項だけが選択可能となります。



設計内容説明書(住戸)では、登録済みの設計内容を変更することはできませんので、新しい設計内容を登録して、変更したい内容を入力します。

変更対象の住戸はグルーピングされていない状態になっていますので、以下の操作を行ってグループ分類を行います。

- 新しい設計内容を登録し、変更対象の住戸を割り当てる。
- 既存の設計内容に、変更対象の住戸を割り当てる。

8.6.2 印刷

申請書、変更を行った設計内容説明書のみ印刷可能となります。

- ・ 変更対象の住戸数が5戸以下または全住戸の場合は、変更設計申請書(表紙)に交付番号を出力し、住戸数が6以上の場合は自動で「別紙」として印刷します。
- ・ 変更の概要については、「表紙」の場合は変更設計申請書(表紙)に印刷し、別紙を選択した場合は「別紙」として印刷します。

9 建設評価

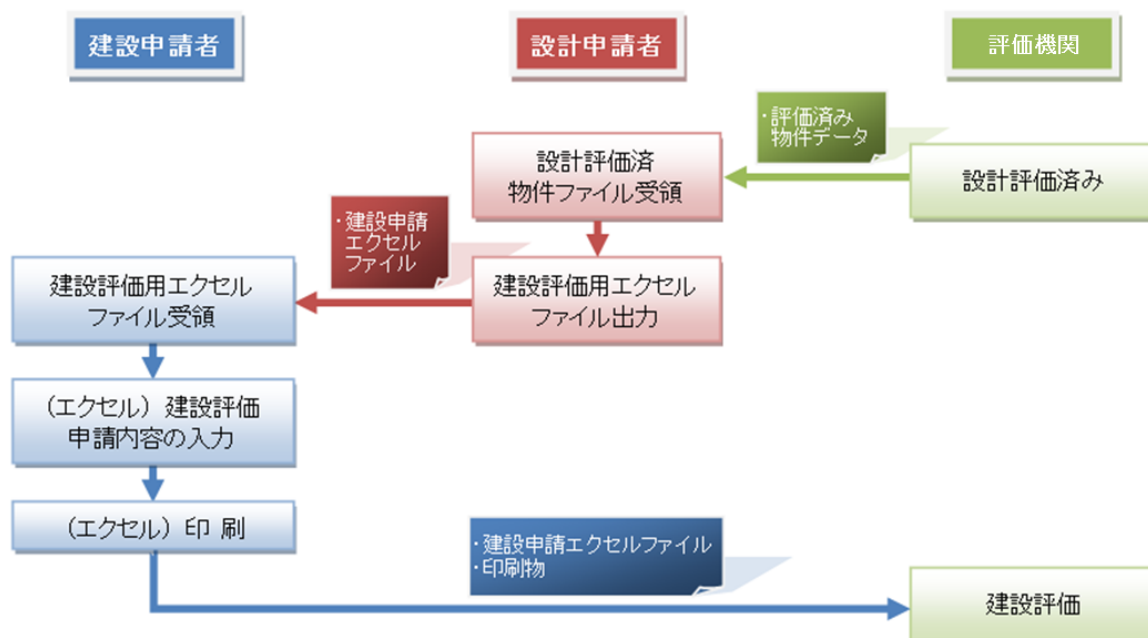
建設評価申請用図書の作成を行います。

建設評価申請の流れ

建設評価申請用Excelデータ出力

9.1 建設評価申請の流れ

評価機関から返信された評価済み物件ファイルから建設・変更建設申請用の Excel ファイルの出力を行います。
以下の流れで、設計者から施工者に申請用の Excel ファイルを送付していただき、**施工者は Excel 上で建設評価の申請書類の作成を行い**、建設評価の申請を行って下さい。

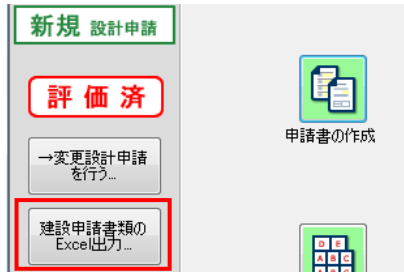


※施工者は本ツールを使わずに申請書類の作成を行います。

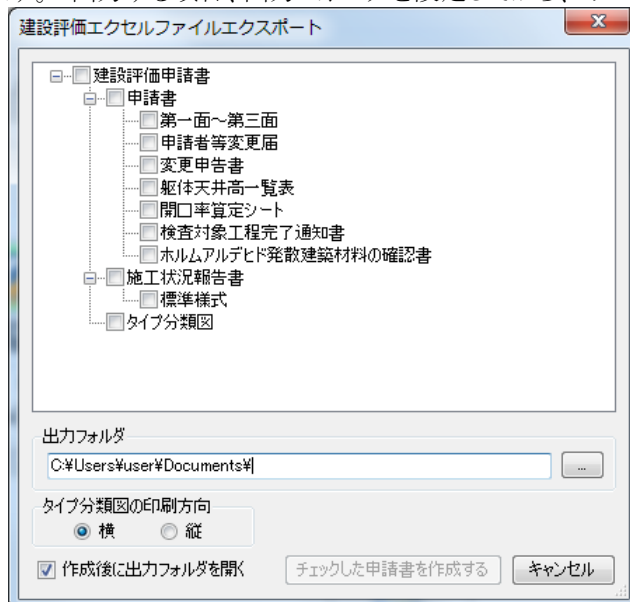
9.2 建設評価申請用 Excel データ出力

評価機関から返信された評価済み物件ファイルから建設・変更建設申請用の図書の出力を行って下さい。
本ツールから出力した建設・変更建設申請用 Excel ファイルには、設計評価の情報の一部が初期値として入った状態で出力されます。

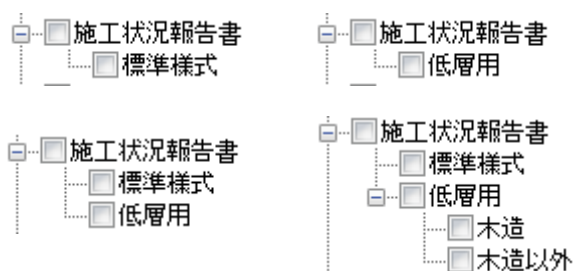
- 1) 評価済み物件データファイルを開きます。メイン画面に「評価済」と表示されています。



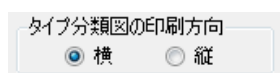
- 2) 「建設申請書類の Excel 出力...」ボタンをクリックすると、建設評価エクセルファイルエクスポート画面が表示されます。出力する項目、出力フォルダを設定してから、「チェックした申請書を作成する」をクリックします。



※施工状況報告書は、建物構造により出力が可能な帳票が変動します。必要な帳票をチェックして出力してください。

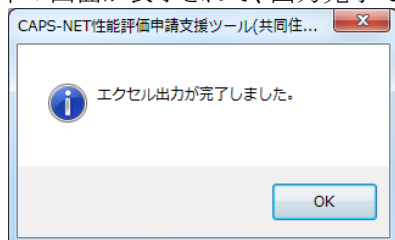


お使いの Excel が 2007 の場合、機能制限により施工状況報告書に条件付き書式が設定されません。条件付き書式を設定する場合は Excel 2010 以降をお使い下さい。



エクセルファイルとして出力する「タイプ分類図」の印刷方向を指定します。
分類図の形状に応じて横長で印刷するか縦長で印刷するか選択します。

3) 下の画面が表示されて、出力完了です。



4) 出力したエクセルファイルは建設評価申請者に渡していただき、エクセルファイルに申請事項を記入したものを
評価機関に提出して下さい。



CAPS-NET 住宅性能評価 申請支援ツール(共同住宅等) 2.0

操作マニュアル

2020 年 5 月作成

制作者 **CAPS-NET**

ホームページ URL <http://www.cbl.or.jp/capsnet/>

Copyright 2014-2020 CAPS-NET All rights reserved

-
- (1) 本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
 - (2) このソフトウェアの仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
 - (3) 製品の内容については万全を期していますが、ご不審な点や誤り、マニュアルの記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡下さい。

MS-Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、会社名、製品名は、一般に各社の登録商標、商標です。